

2026年7月24日修正版

JOSHIBI UNIVERSITY OF ART AND DESIGN

2027年度 女子美術大学 芸術学部 学生募集要項

2027年4月入学者用の募集要項です。ご自身の入学年を必ず確認してください。

総合型選抜
学校推薦型選抜（公募制）
特別選抜（社会人）
特別選抜（帰国子女）
特別選抜（外国人留学生）
一般選抜（A日程）
一般選抜（共通テスト利用Ⅰ方式）
一般選抜（共通テスト利用Ⅱ方式）
一般選抜（B日程）

緊急時の対応について

受験機会確保のため、やむを得ず日程・実施方法等を変更する場合があります。
変更となる場合は本学WEBサイトにてお知らせいたしますので、出願の際は
あらかじめ[最新情報](#)をご確認ください。

なお、出願登録期間開始後に変更が生じた場合は、登録されたメールアドレス
宛にも個別にご連絡いたします。

<https://www.joshibi.ac.jp>



目次

2	アドミッションポリシー（求める学生像）
	入学定員
3	募集人員
4	入学者選抜日程
5	出願手順
7	総合型選抜
21	学校推薦型選抜（公募制）
33	特別選抜（社会人）
45	特別選抜（帰国子女）
57	特別選抜（外国人留学生）
77	一般選抜（A 日程）
87	一般選抜（共通テスト利用Ⅰ方式）
97	一般選抜（共通テスト利用Ⅱ方式）
101	一般選抜（B 日程）
113	合格発表
114	入学手続
	個人成績の開示
115	その他
116	お問い合わせ先



アドミッションポリシー（求める学生像）

美術・デザインに深い興味を持ち、専門家としてそれぞれの分野で活躍することを目指す人、芸術によって社会に貢献し自立したいという意欲ある人材を求めます。

求める資質・能力としては、芸術に対し自由で柔軟な考え方を持っていること、対象をよく観察し理解する眼を持っていること、問題意識を持ち自ら考える姿勢を持っていること、個性を素直にのびのびと表現できることが挙げられます。



入学定員

大学 芸術学部

学科	定員	専攻・領域	入学後のキャンパス
美術学科	190	洋画専攻	相模原（神奈川）
		日本画専攻	
		立体アート専攻	
		美術教育専攻	
		国際芸術文化専攻	
デザイン・工芸学科	220	ヴィジュアルデザイン専攻	相模原（神奈川）
		プロダクトデザイン専攻	
		環境デザイン専攻	
		工芸専攻	
アート・デザイン表現学科	160	メディア表現領域	杉並（東京）
		ヒーリング表現領域	
		ファッション表現領域	
		スペース表現領域	
		クリエイティブ・プロデュース表現領域	
共創デザイン学科	60		杉並（東京）

※アート・デザイン表現学科スペース表現領域は、
杉並キャンパス至近に建設される新校舎へ令和10（2028）年4月に移転いたします（予定）。



募集人員

学科	専攻・領域	総合型選抜	学校推薦型選抜（公募制）	特別選抜			一般選抜			
				（社会人）	（帰国子女）	（外国人留学生）	（A日程）	（共通テスト利用Ⅰ方式）	（共通テスト利用Ⅱ方式）	（B日程）
美術学科	洋画専攻	15	5	若干名	若干名	若干名	20	15	－	11
	日本画専攻	3	5	若干名	若干名	若干名	16	4	－	
	立体アート専攻	2	3	若干名	若干名	若干名	4	2	－	
	美術教育専攻	4	2	若干名	若干名	若干名	3	1	1	
	国際芸術文化専攻	3	2	若干名	若干名	若干名	2	1	2	
デザイン・工芸学科	ヴィジュアルデザイン専攻	20	25	若干名	若干名	若干名	35	5	－	10
	プロダクトデザイン専攻	6	2	若干名	若干名	若干名	6	3	2	
	環境デザイン専攻	2	2	若干名	若干名	若干名	5	3	2	
	工芸専攻	9	2	若干名	若干名	若干名	6	2	1	
アート・デザイン表現学科	メディア表現領域	19	16	若干名	若干名	若干名	11	3	－	6
	ヒーリング表現領域	8	7	若干名	若干名	若干名	5	1	－	
	ファッション表現領域	6	4	若干名	若干名	若干名	4	2	－	
	スペース表現領域	4	3	若干名	若干名	若干名	3	1	－	
	クリエイティブ・プロデュース表現領域	4	3	若干名	若干名	若干名	2	2	－	
共創デザイン学科		15	3	若干名	若干名	若干名	10	5	5	2



入学者選抜日程

	出願登録期間*	書類送付締切日	1次結果発表日	試験日	合格発表日	入学手続締切日
総合型選抜	9月1日(火) ┆ 9月10日(木)	9月11日(金) 必着	10月1日(木)	10月18日(日)	11月2日(月) 13:00	11月12日(木)
学校推薦型選抜 (公募制)	11月1日(日) ┆ 11月9日(月)	11月10日(火) 必着	—	11月22日(日)	12月1日(火) 13:00	12月15日(火)
特別選抜 (社会人)	11月1日(日) ┆ 11月9日(月)	11月10日(火) 必着	—	11月22日(日)	12月1日(火) 13:00	12月15日(火)
特別選抜 (帰国子女)	11月1日(日) ┆ 11月9日(月)	11月10日(火) 必着	—	11月22日(日)	12月1日(火) 13:00	12月15日(火)
特別選抜 (外国人留学生)	9月1日(火) ┆ 9月13日(日)	9月14日(月) 必着	10月22日(木)	11月22日(日)	12月1日(火) 13:00	12月15日(火)
一般選抜 (A日程)	1月5日(火) ┆ 1月15日(金)	1月15日(金) 消印有効※	—	2月1日(月) 2月2日(火)	2月12日(金) 13:00	2月24日(水)
一般選抜 (共通テスト利用Ⅰ方式)	1月5日(火) ┆ 1月15日(金)	1月15日(金) 消印有効※	—	2月1日(月) 2月2日(火)	2月12日(金) 13:00	2月24日(水)
一般選抜 (共通テスト利用Ⅱ方式 第Ⅰ期)	1月5日(火) ┆ 1月15日(金)	1月15日(金) 消印有効※	—	令和9年度 大学入学共通テスト	2月12日(金) 13:00	2月24日(水)
特別選抜 (外国人留学生 2次募集)※	1月25日(月) ┆ 2月3日(水)	2月4日(木) 必着	2月25日(木)	3月15日(月)	3月17日(水) 18:00	3月26日(金)
一般選抜 (B日程)	2月20日(土) ┆ 3月2日(火)	3月3日(水) 17:00必着	—	3月15日(月)	3月17日(水) 18:00	3月26日(金)
一般選抜 (共通テスト利用Ⅱ方式 第Ⅱ期)	2月20日(土) ┆ 3月2日(火)	3月3日(水) 17:00必着	—	令和9年度 大学入学共通テスト	3月17日(水) 18:00	3月26日(金)

*出願登録の時間は初日 10:00～最終日 13:00 までです。

※一般選抜(A日程)・(共通テスト利用Ⅰ方式)・(共通テスト利用Ⅱ方式第Ⅰ期)に日本国外から提出書類を郵送する場合は、締切日必着とします。

※特別選抜(外国人留学生 2次募集)の有無は、2026年12月18日(金)以降に本学WEBサイトで発表します。

出願手順

出願する選抜制度の学生募集要項で選択科目の有無などの内容をよく確認し、登録作業を始めてください。

- ※出願登録にあたってはPCメールアドレス・パソコン(インターネット接続済)・証明写真データが必要です。
- ※登録完了後の変更・取り消し、検定料の返金はできません。STEP 2では入力内容を十分に確認してください。
検定料の支払い前に入力内容の誤りに気付いた場合は、検定料を納入せずに出願情報を再入力してください。
- ※出願登録が完了した時点で出願を受け付け、自動的に受験番号が決定します。
- ※受験番号は出願情報入力完了時の「受付番号(12桁)」とは異なります。

写真は、本人確認を行うためのものです。

また、入学された場合は学生証にも使用しますので、以下の点に注意してください。

- ・無帽、正面、無背景の証明書用写真であること
- ・本人確認が可能な鮮明なものであること
- ・白黒、カラーは問いません
- ・出願写真として適切でないと判断された場合は、再提出となる場合があります。
- ・学生証に使用する上で不適切な写真の場合、入学後に写真を変更して再発行することは可能ですが、再発行の手数料は自己負担となります。



不適切な例

- × アプリ等により加工された画像
- × スナップ写真の一部
- × 前髪等で顔が隠れている
- × 証明写真の再撮影

など

事前準備

STEP 1 出願サイトでマイページ登録

本学WEBサイトから出願サイトへアクセス

「マイページ登録」ボタンよりマイページ登録をしてください。

※既にマイページ登録済みの方はSTEP 2 から始めてください。

出願登録

STEP 2 出願情報の入力

- ① 「ログイン」ボタンよりマイページにログインしてください。
 - ② 画面に従って出願内容の選択、必要事項を入力してください。
 - ③ 入力完了すると、登録したアドレスに「出願サービス支払い手続きのご案内」メールが送信されますので、受付番号(12桁)・検定料のお支払期限を確認してください。
- ※出願登録の時間は初日10:00～最終日13:00までです。

出願情報入力



STEP 3 検定料のお支払い～登録完了

- ① STEP 2 で受信したメールに記載されたURLにアクセスし、検定料のお支払方法を選択してください。 ※お支払いに必要な情報は必ず控えてください。
 - ② 画面に従って、検定料をお支払いください。 ※検定料の他に手数料がかかります。
- 選択できるお支払い方法
- ▶ コンビニエンスストア
 - ▶ ネットバンキング
 - ▶ ペイジー対応銀行ATM
 - ▶ クレジットカード

検定料支払



書類送付

STEP 4 各用紙をA4サイズで印刷

「志願票の印刷」ボタンより志願票などの必要な用紙を印刷してください。

- ※ページの拡大／縮小は「なし」で印刷してください。
- ※「自動回転と中央配置」にチェックを入れてください。
- ※封筒貼付用宛名シートはカラーで印刷してください。

印刷



STEP 5 提出書類の送付

STEP 4 で印刷した用紙と、「調査書」や「証明書」など、定められた提出書類を郵送(簡易書留・速達)で定められた期間内に到着するように送付してください。

- ※定められた期間内に必要書類の提出がない場合は失格となります。
- ※郵送にかかる日数を考慮して、証明書などは早めに準備してください。
- ※提出書類は、印刷した「封筒貼付用宛名シート」を貼り付けた任意の角2封筒に封入してください。

提出



受験票準備

STEP 6 受験票の印刷 ※郵送はしません

書類送付締切日以降、提出書類の確認が取れた方には、登録されたアドレスへ受験票印刷準備完了のご案内を通知します。試験前日までに、出願サイトから受験票をダウンロードし、必ずA4サイズの用紙に印刷して記載内容を確認してください。集合時間や伝達事項なども記載しています。 ※試験当日は必ず持参してください。

- ※試験の7日前までに通知がない場合は、女子美入試センターまでお問い合わせください。
- (短期大学部 学校推薦型選抜、特別選抜(社会人)、特別選抜(帰国子女)については試験の4日前までに、一般選抜(C日程)および専攻科一般選抜については試験前日までに通知します)

日本国外から出願する方へ

<特別選抜（外国人留学生）・総合型選抜>

●出願登録時に入力する住所（合格した場合の通知送付先）について

- ・日本国内に通知の受け取り可能な住所がある方
⇒「出願上の注意」を確認の上、日本の住所を入力してください。
- ・日本国内に通知の受け取り可能な住所が無い方
⇒以下①～③の手順に従ってください。
 - ①都道府県名の欄で「外国」を選択し、住所の欄には**国名のみ**を入力する。
 - ②受験票印刷準備完了の通知メールを受信後、受験票を印刷して受験番号を確認する。
 - ③海外住所入力フォーム（<https://www.joshibi.ac.jp/overseas/webform>）にアクセスし、1次試験合格通知・1次審査通過通知の送付先住所をAlphabet表記で入力する。

※1次試験合格通知・1次審査通過通知の受け取り方法は海外住所への送付のみです。

※2次試験・2次審査の合格通知については受け取り方法を選択できます。次のaまたはbいずれかの方法を選択し、登録してください。

- a. 合格発表日当日 13:00～17:00 に直接大学（相模原キャンパス）にて受け取る
- b. 海外住所に送付する（1次試験合格通知と同じ住所）

なお、「b.海外住所に送付する」を選択した場合、国際郵便の遅配が起こることがありますので、入学手続き締切日を確認して選択してください。

海外住所入力締切日：**受験票に記載**

●提出書類の送付方法について

- ・出願登録時に出力した「封筒貼付用宛名シート」を貼付した任意の角2封筒に入れて、EMS（国際スピード郵便）など、ご自身で配達状況が追跡できるものを利用して、必ず定められた期日までに届くようにしてください。
期日までに届かない場合は失格となります。

<上記以外の選抜制度>

●出願登録時に入力する住所（合格した場合の通知送付先）について

- ・日本国内に通知の受け取り可能な住所がある方
⇒「出願上の注意」を確認の上、日本の住所を入力してください。
- ・日本国内に通知の受け取り可能な住所が無い方
⇒以下①～③の手順に従ってください。
 - ①都道府県名の欄で「外国」を選択し、住所の欄には**国名のみ**を入力する。
 - ②受験票印刷準備完了の通知メールを受信後、受験票を印刷して受験番号を確認する。
 - ③海外住所入力フォーム（<https://www.joshibi.ac.jp/overseas/webform>）にアクセスし、aまたはbいずれかの方法を選択する。
 - a. 合格発表日当日 13:00～17:00 に直接大学（相模原キャンパス）にて受け取る
（合格発表が2027年3月17日（水）の選抜制度については翌3月18日（木）9:30～11:30）
 - b. 海外住所に送付する

「b.海外住所に送付する」を選択した方は合格通知送付先住所をAlphabet表記で入力してください。
なお、海外住所に送付する場合、国際郵便の遅配が起こることがありますので、入学手続き締切日を確認して選択してください。

海外住所入力締切日：**受験票に記載**

●提出書類の送付方法について

- ・出願登録時に出力した「封筒貼付用宛名シート」を貼付した任意の角2封筒に入れて、EMS（国際スピード郵便）など、ご自身で配達状況が追跡できるものを利用して、必ず定められた期日までに届くようにしてください。
期日までに届かない場合は失格となります。

2027 年度 大学 総合型選抜

出願登録期間*	書類送付締切日	1次結果発表日	試験日	合格発表日	入学手続締切日
9月1日(火) ～ 9月10日(木)	9月11日(金) 必着	10月1日(木)	10月18日(日)	11月2日(月) 13:00	11月12日(木)

*出願登録の時間は初日 10:00～最終日 13:00 までです。

※入学手続が完了した方には、入学前課題について通知します。課題内容は専攻等により異なります。

入学者選抜方針

多様な個性を持つ人材を受け入れることを目的として、学力の3要素である「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を重視し、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を含めて総合的に優れた人材を求めます。

選考方法

提出書類により1次審査を行い、2次審査では、体験プログラムと課題等持参による面接を基に総合的に判定します。

評価基準

提出書類では、学業成績に加え、課外活動の状況、文章による表現力などを重視し、体験プログラム・面接では、事前課題に関する理解力や取り組み姿勢、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、修学意欲、目的意識などを重視します。

出願

- 「出願手順」に従って出願登録を完了し、印刷した必要書類とその他の提出書類を定められた期間内に郵送してください。

出願資格

2027年3月31日までに、次の①～⑧のいずれかに該当もしくは該当する見込みで、美術・デザイン等に深い興味を持ち、出願要件を満たす女子に限ります。

- ①学校教育法第1条に定める高等学校（中等教育学校含む）を卒業した方
- ②通常の課程による12年の学校教育（特別支援学校の高等部または高等専門学校の3年次）を修了した方
- ③外国において学校教育における12年の課程を修了した方もしくはこれに準ずる方で文部科学大臣の指定した方
- ④文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した方
- ⑤文部科学大臣が指定した専修学校の高等課程を修了した方
- ⑥高等学校卒業程度認定試験（旧規定による大学入学資格検定含む）に合格した方で、2027年4月1日に満18歳に達している方
- ⑦国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCE Aレベル、国際Aレベル、欧州バカロレア資格のいずれかを保有する方
- ⑧上記①～⑦のいずれにも該当せず、本学において個別の審査により高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方

※出願資格⑧については、事前に審査が必要ですので、8月5日までに女子美入試センターへご相談ください。

出願要件 ① 本学を第1志望として入学を希望する方であること。

<外国人留学生のみ>

② 日本の高等学校卒業見込者を除く外国人留学生は、上記に加え以下 a または b のいずれかに該当すること。

a. 日本学生支援機構が運営する「日本留学試験（EJU）」の「日本語」で、読解（200点）＋ 聴解・聴読解（200点）計400点満点中320点以上、記述（50点）は40点以上を取得していること。

＊2024年11月、2025年6月、11月、2026年6月実施のいずれかの試験を対象とします。

b. 国際交流基金・日本国際教育支援協会が運営する「日本語能力試験（JLPT）」において、N1に合格していること。

＊2024年12月、2025年7月・12月、2026年7月実施のいずれかの試験を対象とします。

出願上の注意

- 出願登録完了後の変更は認められませんので、入力の際は十分に確認してください。
- 一度納入された検定料および受理した提出書類は返還いたしません。
- 登録完了後、定められた期日までに必要書類の提出がなかった場合は失格となります。失格となった場合も検定料の返金はできませんので、書類送付締切日に注意してください。
- 「出入国管理および難民認定法」による「留学」の在留資格にて本学に入学希望の方は、在学期間中に必要となる「学費」「生活費」などの経費支弁能力を有することが入学許可の要件になります。経費支弁能力がないと判断された場合、合格しても入学を許可できません。
 - ＊年間300万円以上の経費支弁能力が確認できること。
 - ＊家計を支えている方（父・母等）が主として使っている銀行口座の残高が100万円程度以上であること。
- 既に「留学」の在留資格で日本国内の日本語教育機関等（日本語学校・専門学校等）に在籍している方は、当該機関での出席率が80%未満で、合理的理由（入院など）がない場合、合格しても入学を許可できない可能性があります。
- 出願資格を取得見込みの方で、2027年4月1日までに取得できなかった場合は、合格しても入学することはできません。
- 外国人留学生は、本学で学ぶために支障のない在留資格を取得することができない場合、合格しても在籍できません。
- 受験番号（8桁）は受験票でお知らせします。受付番号とは異なります。
- 登録時に入力されたアドレスは、以後必要に応じて本学から連絡をする際にも使用しますので、ドメイン（@venus.joshibi.jp）を受信指定してください。
迷惑メール対策等により、通常の受信ボックスから確認ができない場合や、メール自体が届かない場合がありますので注意してください。

検定料 30,000 円

※「[検定料・減額制度](#)」をご参照ください。

提出書類

- *書類を提出する前に「対象者」欄を確認し、左の確認欄で不足書類が無いかをチェックしてください。
- *確認欄がグレーの書類は、該当する方のみが提出する書類です。
- *記入が必要な提出書類には黒のボールペンを使用してください。（消せる筆記具は使用不可）

確認	No.	提出書類	対象者	詳細
☐	1	志願票	全員	登録完了後に印刷できます。 *「出願手順」参照
☐	2	出願資格を証明する書類 および学業成績証明書 ※出願資格により異なります。	出願資格 ①②④ に該当する方 出願資格 ③ に該当する方 (右3種) 出願資格 ⑤ に該当する方 出願資格 ⑥ に該当する方 出願資格 ⑦ に該当する方	調査書（出身学校長作成、開封無効） 被災等の事情により提出が困難な方は、卒業証明書および成績証明書を提出してください。 成績証明書も提出困難な場合は、その事由を記した当該学校からの書類を提出してください。 2つ以上の高校に在籍していた場合、前籍校の調査書を同封もしくは、現在籍校にて前籍校での成績及び出席日数等を転記してください。 出身学校の卒業または修了（見込）証明書（日本語または英語） 日本の高等学校に相当する課程を卒業または修了（見込）であること、およびその在籍期間が確認できる証明書を提出してください。 学業成績証明書（日本語または英語） 日本の高等学校3年間にあたる就学期間と、その期間の成績が記載されているものが必要です。 上記3年間に複数の学校に在学していた場合は、在学した全学校の証明書を提出してください。 飛び級ないし繰り上げ卒業のある方で、上記書類にその事実や理由等の記載がない場合は、そのことを証明する出身学校の書類を添付してください。 学習歴に関する書類 ・帰国子女の方＝「志願者身上書」（本学所定） ・外国人留学生の方＝「外国人留学生入学志願者調査」（本学所定） 調査書に準ずる書類 提出が困難な場合は、修了（見込）証明書および成績証明書を提出してください。 合格（見込）成績証明書 高等学校で修得した単位による免除科目がある場合は、併せて当該学校の成績証明書を提出してください。英検等、技能審査の合格による免除科目がある場合は、併せて技能審査の合格を証明する書類のコピーを提出してください。 ディプロマおよび成績証明書
☐	3	志望理由・活動報告書	全員	本学所定用紙を使用し、定められた枚数で提出してください。
☐	4	キャリアイメージシート	全員	本学所定用紙を使用し、定められた枚数で提出してください。
☐	5	自己アピール資料	全員	以下の条件を確認して作成してください。 ・表紙（本学所定）を付けること ・A4サイズの用紙（片面）1～5枚（表紙は含まない） ・ファイル等には入れないこと ・内容は作品写真、イラスト、文章、賞状のコピー、資格証明など自由
☐	6	誓約書	全員	提出作品等は、全て自身が作成したものであることの誓約書 登録完了後に印刷できます。 *「出願手順」参照 印刷後内容を確認し、受験者氏名（本人署名）を必ず記入してください。
☐	7	受験上の配慮事項確認書	合理的配慮を希望される方	事前相談後に本学よりメール送付した確認書に署名し提出してください。 申込・詳細は「お問い合わせ先」を参照してください。
☐	8	在留資格等確認のための書類	日本国籍を有しない方	パスポート・在留カード コピー貼付用紙 （本学所定） 必要書類のコピーを貼り付けて提出してください。
☐	9	日本語能力を確認する書類	外国人留学生 (日本の高等学校等 卒業見込の方は不要)	日本留学試験(EJU)の場合＝ 成績確認書(用紙：A4 サイズ) *成績が発表されていない場合は受験票のコピー(用紙：A4 サイズ) 日本語能力試験(JLPT)の場合＝ 認定結果及び成績に関する証明書(原本)
☐	10	経費支弁能力を確認する書類	外国人留学生 (「留学」の在留資格 にて入学希望の方)	経費支弁書（本学所定）
☐	11	経費支弁能力を確認する書類	外国人留学生 (「留学」の在留資格 にて入学希望の方)	銀行の残高証明書（日本語または英語） 家計を支えている方（父・母等）が主として使っている銀行のものを提出してください。
☐	12	出席率を確認する書類	外国人留学生 (日本国内の日本語教育機関等に在籍中の方)	日本国内の日本語教育機関等の出席率証明書（要公印） 出席率が80%未満の場合は、合理的理由（入院など）を明記した証明書を提出してください。

提出書類に関する注意

- 証明書類は発行後3ヶ月以内の原本を提出してください。
ただし、提出書類「2」の証明書類については、卒業後に発行された原本であれば3ヶ月以内でなくても構いません。
- 証明書類が日本語または英語以外の言語で作成されている場合は、証明書の原本に大使館または国で認可された公証役場で公証を受けた翻訳文（日本語または英語）を添付してください。
- 誓約書にて、提出する作品、ポートフォリオおよびそこに含まれる作品、自己アピールシート、論文、資料等について、全て自身が作成したものに相違ないこと等を誓約していただきます。
- 提出書類に虚偽の記載があることが判明した時は、入学許可を取り消すことがあります。
- 提出された書類は原則返却いたしません。
- 外国人留学生で、日本語能力を確認する書類として2026年7月実施のJLPTの「認定結果及び成績に関する証明書」を提出予定の方は、発行が書類送付締切日までに間に合わない可能性があります。
必ず8月下旬にJLPTの受験結果を確認の上、速やかに実施機関へ「認定結果及び成績に関する証明書」の発行を申請してください。書類送付締切日までに証明書の原本を提出できない場合は、一時的な代替措置として、2026年7月実施のJLPTを受験したことが確認できる書類を、出願時の提出書類に同封してください。
なお、後日定める期日までに証明書の原本を提出できない場合は、失格となります。詳細は、提出書類受付後に本学より連絡します。

書類送付上の注意

- 提出書類は出願登録時に出力した「封筒貼付用宛名シート」を貼付した任意の角2封筒に入れて、必ず郵便局窓口から簡易書留（速達）で郵送してください。
- 日本国外から提出書類を郵送する場合は、EMS（国際スピード郵便）など、ご自身で配達状況が追跡できるものを利用して、必ず定められた期日までに届くようにしてください。
期日までに届かない場合は失格となります。
- 特別な事情により持参提出を希望する場合は、事前に女子美入試センターまでご相談ください。

書類送付先

〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台1900 女子美入試センター

※アート・デザイン表現学科、共創デザイン学科の試験場とは異なりますので注意してください。



受験

配点 全学科共通

1次審査【提出書類】100点 + 2次審査【体験プログラム・課題等持参による面接】200点 計300点

- 1次審査通過者は2次審査を受験することができます。

■ 1次審査

審査 提出書類により総合的に判定します。

結果発表

- 1次審査通過者全員に1次審査通過通知を郵送します。通過できなかった方への通知はありません。
- 結果発表時間より、インターネットによる「合否案内」システムでの簡易発表を行います。
※後述の「合格発表」を参照してください。
- 結果について本学へ直接の電話によるお問い合わせには、お答えできません。
- 学内の掲示発表は行いません。

■ 2次審査

試験場

学科により異なります

■ 美術学科、デザイン・工芸学科

相模原キャンパス（神奈川）

■ アート・デザイン表現学科、共創デザイン学科

杉並キャンパス（東京）

受験上の注意

- 咳などの症状がある場合、大学構内では常時マスクを着用してください。
- 試験実施の前日はキャンパス内に入ることとはできません。
- 試験当日は、A4サイズの用紙に印刷した受験票を必ず持参してください。
- 本要項に記載している内容以外の伝達事項は、主として受験票と当日の配布プリントに記載します。
- 正門の開門時間は8:30です。
- 大学構内での移動、試験会場への入場・退場は係員の指示に従ってください。
- 試験開始時間の変更となる場合があります。1次審査通過通知の際にお知らせする集合時間を厳守してください。
- 試験開始時刻に間に合わなかった場合や、体験プログラムまたは面接試験のいずれかを受験しなかった場合は失格となります。失格後の受験は一切認めません。
- キャンパス内および周辺には駐車できません。
- 試験当日、学生食堂は営業しておりません。昼食を持参してください。
- 特別な理由がない限り、付き添いの方の学内への立ち入りはできません。
- 出願後に怪我等の理由で、受験の際に何らかの配慮が緊急に必要な場合は、速やかに女子美入試センターまで連絡してください。
- 試験場に向かう途中で事故・事件に巻き込まれた場合など、やむを得ない事由により試験場への到着が遅れる場合は、入試当日の緊急連絡先まで連絡してください。

試験科目 ・ 時間

体験プログラム・課題等持参による面接

10:00（予定）～

※受験者数により試験開始時間を変更する場合があります。1次審査通過通知の際にお知らせする集合時間を厳守してください。

※持参課題、体験プログラム内容、持参物は専攻等により異なりますので、次ページ以降の表で確認してください。

※英語資格・検定試験の結果を提出された場合は、面接試験の評価の一部として判定に利用します。

詳しくは「[英語4技能資格・検定試験の結果利用について](#)」をご確認ください。

■持参課題・体験プログラム内容・試験当日の持参物

美術学科

●洋画専攻	
課題	以下のテーマで作品を1点制作する テーマ：「ひらく」 *サイズはB3（364×515mm） *鉛筆、木炭、ペンなどを使用して白紙に白黒で描くこと
体験プログラム	事前課題の発表及びディスカッション・実技体験（鉛筆デッサン・作文）
持参物	・課題作品 ・日頃制作している作品やデッサンなど（大きさ10～30号程度2点） ・ポートフォリオ（A4ファイル）1冊 *ポートフォリオは、油彩、アクリル、水彩、デッサン、クロッキーなどの作品写真および実物作品10～30枚程度をA4サイズのファイルにまとめたもの

●日本画専攻	
課題	以下A・Bそれぞれの条件で静物画を描く（点数は自由） モチーフ：りんごと金属製の道具（やかん、お玉など） ＜条件＞ A：モチーフを良く観察して着彩する B：モチーフを基に自由な発想で描く *サイズはF8～F10号程度
体験プログラム	実技体験（鉛筆デッサンまたは水彩画）
持参物	・課題作品 ・これまでに制作した作品を5点以上、10点以内 ・水彩画やデッサンなどの作品をまとめた制作ファイル1冊

●立体アート専攻	
課題	以下①・②を制作する ①A3またはF6号以上のサイズの鉛筆または木炭デッサン2点（モチーフは自由） ②手に持てる大きさの立体作品1点（素材自由）
体験プログラム	事前課題の発表およびディスカッション・作文
持参物	・課題作品 ・日頃制作している作品や資料ファイル

●美術教育専攻	
課題	課題①「鉛筆デッサン」3点（B3サイズ、モチーフは静物） 課題②「小論文」 テーマ「めざす美術教師像」 400字詰原稿用紙2枚に800字程度で記述する
体験プログラム	実技体験（水彩画）
持参物	・課題 ・これまでに制作した作品（内容・点数は自由）や資料ファイル ・水彩絵の具用具一式

●国際芸術文化専攻	
課題	あなたの住む地域（市区町村）で、伝統的と思えるモノ（またはコト）と、新しいと思えるモノ（またはコト）をそれぞれ取り上げて、その地域の魅力や特色について発表する準備をする。 発表方法：一人15分程度で、画像および発表資料を使って行う。
体験プログラム	事前課題の発表およびディスカッション
持参物	・発表内容をまとめた要旨 ・発表に必要な資料 [パソコンを使用して発表する場合] 使用する資料はデータにし、USBメモリやDVDなどを持参すること。 *パソコンは大学で用意します。 [印刷した資料を基に発表する場合] A4サイズ以上の紙に印刷して持参すること。 ・その他自分自身の活動を説明できるような資料

デザイン・工芸学科

●ヴィジュアルデザイン専攻	
課題	以下のテーマ・条件で作品を制作する（点数は自由） テーマ：「顔」 〈条件〉 - 画面の中に、タイトルを入れること。 - 用紙サイズ：B3（タテ・ヨコは自由） - 表現方法（具象、抽象、画材、手法等）は自由。
体験プログラム	実技体験（デザイン実習）
持参物	- 課題作品 - これまでに制作した代表作品や作品ファイル（内容・点数は自由）

●プロダクトデザイン専攻	
課題	『夏を快適にする“モノ”』というテーマから、各自が自由に発想し、その『モノ』の「アイデア」や「イメージ」を、スケッチや図、文章などで、以下1～5の条件内で、自由に表現する。 〈条件〉 - 発想する「モノ」はテーマ内で自由に設定する - 表現技法は自由とするが、必ずフリーハンドで、F6サイズのスケッチブックに描く（写真や印刷物の貼付は不可） - 表現画材（鉛筆、マーカー、色材・・・など）は自由とするが、厚みが出るものや、極端に汚れるものは避けること - 各ページの右上部に、作業をおこなった日付を明記する - 必ず、自分だけの発想、表現作業でおこなう
体験プログラム	実技体験（デザイン実習、プレゼンテーション）
持参物	- 課題作品 - 各自の制作した作品や写真ファイル（鉛筆デッサン・平面構成・立体構成など内容・点数は自由） - 鉛筆、消し具、カッター、定規 - その他課題のプレゼンテーションに必要なと思う道具があれば持参する

●環境デザイン専攻	
課題	興味・関心がある建物（例えば住宅・集合住宅や寺社、駅舎、美術館・図書館等の公共建築、あるいは物販店・飲食店などの商業施設など）、空間ディスプレイなどのインテリア、公園や町並みなどの屋外空間などを1か所選択し、レポート（必ず簡単なスケッチもしくは写真を含むこと）を作成する。その空間の概要（名称や所在地、デザイナーなどの基本情報）、その場所を選んだ理由を説明して、その空間の良い点と悪い点などをスケッチや写真を参照しながら具体的に記述し考察すること。 * スケッチの表現は鉛筆または着色等自由。 * サイズはA3で1枚程度とする。
体験プログラム	事前課題の発表およびディスカッション、改善案の制作（ボード上に作画）。
持参物	- 課題の考察レポート - これまでに制作した作品や作品の写真ファイル（内容・点数は自由）

●工芸専攻	
課題	《鉛筆デッサン》 - B3画用紙を縦位置で使用し、ユリの花を1輪描く。（1点） - B3画用紙を横位置で使用し、箱（大きさ・形・色は自由）を1個描く。（1点） 《彩色課題》 B4ケント紙を横位置で使用し、ストライプを描く。（1点） 注意：はじめにB4ケント紙の中央に、縦6cm、横25cmの長方形を配置しなさい。 次に、その長方形の中に「未来」のイメージで、縦の直線ストライプのみを用いて色彩構成しなさい。 また、以下のことを厳守すること 5色以上使用すること - 分割した面は1色で塗ること - 曲線を使用しないこと - 面の中に、絵画的な表現をしないこと - アクリル絵の具を使用すること
体験プログラム	実技体験（鉛筆デッサン、実技課題の発表およびディスカッション）
持参物	- 課題作品 - 鉛筆デッサンを含めた作品ファイル（内容・点数は自由） - 鉛筆（硬軟各種）、消し具、その他必要な用具（パネル、カルトン、フィキサチーフ、クロッキー帳は使用不可）

アート・デザイン表現学科

●メディア表現領域	
課題	「n」をタイトルに含む、異なる表現方法のメディア表現作品2点を制作する。 ・「n」は自由に想像し、あなたの個性を活かした表現を行ってください。 ・1作品につき200文字程度の説明文を別紙(A4)で用意してください。 それぞれの説明文にはタイトルと名前を記入してください。 ・本課題内容についての質問にはお答えできません。
体験プログラム	事前課題の発表およびディスカッションと実技体験
持参物	・課題作品 ・自分自身の活動を説明できる代表作品や作品ファイル（種類・形式・点数は自由）

●ヒーリング表現領域	
課題	現代社会で「人の幸せ」の実現のために活動している人をひとり見つけ、リサーチし、その人を紹介するボードを作成しなさい。B3イラストボードを使用することとし、テキストにイラストなどを交え分かりやすく表現すること。また、参考とした書籍や雑誌などの出版物、ネット上の記事などの資料リストを別にA4用紙1枚にまとめること。
体験プログラム	課題作品を基にした実技体験
持参物	・課題作品（B3イラストボードとA4参考資料リスト） ・筆記用具、色鉛筆12色～24色 ・自分自身の活動を説明できる代表作品や資料ファイル（種類・形式・点数は自由）

●ファッション表現領域	
課題	課題1：「首周りの造形美」をテーマに襟の形を自由に発想し、制作する。 素材 自由 条件 襟単体で首周りに自立し、着装可能なこと 実用的なデザインではない立体造形として独創性のある制作を行う。 課題2：現代の衣服を取り巻く環境は、自然環境への負荷や大量廃棄などさまざまな問題を抱えています。アートやデザインを通してファッション・衣服に関わる私たちに何ができるでしょうか。自身の関心のある問題について調査内容と考察をA4用紙に800字程度にまとめること。また説明に必要なイラストなども含めて構いません。
体験プログラム	実技体験（デザイン実習、プレゼンテーション）および事前課題の発表
持参物	・課題1、2 ・自分自身の活動を説明できる代表作品や作品ファイル（種類・形式・点数は自由）

●スペース表現領域	
課題	自分の好きな「空間」や「場所」の写真を3枚撮影する。 （自分が「空間」だと思うのであれば、被写体はなんでも構いません） それぞれA3サイズの用紙に印刷し、持参すること。
体験プログラム	事前課題の発表およびディスカッション
持参物	・課題作品 ・自分自身の活動を説明できる代表作品や作品ファイル（種類・形式・点数は自由）

●クリエイティブ・プロデュース表現領域	
課題	課題1：これまで最も力を入れて活動してきたこと（学校の授業以外）、最も興味を持っていることについてまとめたA4サイズのポートフォリオを作成し、持参すること。 課題2：セルフプロデュースの視点から、各自で考えた自己紹介のプレゼンテーションを5分以内で行うこと。（表現方法は自由）
体験プログラム	事前課題の発表およびディスカッション
持参物	・課題1：A4サイズにまとめたポートフォリオ ・課題2：各自のプレゼンテーションに必要なもの（CD、DVDを再生できる機材は大学で準備可）

共創デザイン学科

課題	課題1：自分視点のニュースリサーチ 以下の手順に従って作成する。 ・最近気になったニュースを3つ選ぶ。 ・選んだニュースを、それぞれ1枚の紙面に、イラスト、キーワード、文章などを用いて、自分の言葉や表現で自由にまとめる。 *用紙の種類は自由。サイズはA4以上とする。 *1つのニュースについて1枚とし、計3枚を作成。 課題2：ポートフォリオの作成 ・クラブやボランティア活動の記録、留学経験、自身で制作したデザイン・アート作品・デッサンの写真など、自分自身の活動を説明できるようにまとめる。 *A4サイズ以上のファイル1冊
体験プログラム	体験授業（当日与えられた課題をボード（A3）にまとめ、プレゼンテーションする）
持参物	・課題1 および課題2 ・筆記用具（カラーペン、色鉛筆などの使用も可とし、色数は自由とする） ・希望者は実物作品（自身で運べるもの3点以内）の持参も可とする。

キャリアイメージシート

※ A 4 サイズの用紙に片面印刷して使用し、本人の直筆で記入してください。(別紙の添付等は不可)

フリガナ	
氏 名	

1. 入学後に学びたいことを書いてください。

受験番号	※記入しないこと
------	----------

自己アピール資料（表紙）

＊ホチキスなどで固定せず、左上部をゼムクリップ等で留めて提出してください。

フリガナ	
氏 名	

2027 年度 大学 学校推薦型選抜（公募制）

出願登録期間*	書類送付締切日	試験日	合格発表日	入学手続締切日
11月1日(日) ↓ 11月9日(月)	11月10日(火) 必着	11月22日(日)	12月1日(火) 13:00	12月15日(火)

*出願登録の時間は初日 10:00～最終日 13:00 までです。

※入学手続が完了した方には、入学前課題について通知します。課題内容は専攻等により異なります。

入学者選抜方針

高等学校在学中の成績が学力の3要素に照らして総合的に優秀であり、美術・デザイン等に深い興味と優れた資質を持ち、意欲が高く勤勉かつ将来性があり、志望学科・専攻・領域の技能・適性等について出身学校長が責任を持って推薦する方を求めます。

選考方法

専門試験、調査書等の提出書類を参考とした面接により総合的に判定します。

出願

- 「出願手順」に従って出願登録を完了し、印刷した必要書類とその他の提出書類を定められた期間内に郵送してください。

出願資格 学校長が責任を持って推薦する方であり、次の①～④のいずれかに該当し、出願要件を満たす2027年4月1日時点で満18～24歳の女子に限ります。

- ①学校教育法第1条に定める高等学校（中等教育学校含む）を卒業した方または2027年3月卒業見込みの方
- ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した方または2027年3月修了見込みの方
- ③文部科学大臣が指定した専修学校の高等課程を修了した方または2027年3月修了見込みの方
- ④上記①～③のいずれにも該当せず、本学において個別の審査により、高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方

※出願資格④については、事前に審査が必要ですので、8月末日までに女子美入試センターへご相談ください。

出願要件

- ① 本学を第1志望とし、合格した場合は必ず入学すること。
※1校あたりの推薦人数に制限はありません。
- ＜外国人留学生のみ＞
- ② 日本の高等学校卒業見込者を除く外国人留学生は、上記に加え以下aまたはbのいずれかに該当すること。
 - a. 日本学生支援機構が運営する「日本留学試験（EJU）」の「日本語」で、読解（200点）＋聴解・聴読解（200点）計400点満点中320点以上、記述（50点）は40点以上を取得していること。
※2024年11月、2025年6月・11月、2026年6月実施のいずれかの試験を対象とします。
 - b. 国際交流基金・日本国際教育支援協会が運営する「日本語能力試験（JLPT）」において、N1に合格していること。
※2024年12月、2025年7月・12月、2026年7月実施のいずれかの試験を対象とします。

出願上の注意

- 女子美術大学短期大学部「学校推薦型選抜（公募制）」との併願は認めますが、両方に合格した場合は、いずれかに必ず入学手続きをしてください。他大学との併願は認めません。
- 出願登録完了後の変更は認められませんので、入力の際は十分に確認してください。
- 一度納入された検定料および受理した提出書類は返還いたしません。
- 登録完了後、定められた期日までに必要書類の提出がなかった場合は失格となります。
失格となった場合も検定料の返金はできませんので、書類送付締切日に注意してください。
- 「出入国管理および難民認定法」による「留学」の在留資格にて本学に入学希望の方は、在学期間中に必要となる「学費」「生活費」などの経費支弁能力を有することが入学許可の要件になります。
経費支弁能力がないと判断された場合、合格しても入学を許可できません。
※年間300万円以上の経費支弁能力が確認できること。
※家計を支えている方（父・母等）が主として使っている銀行口座の残高が100万円程度以上であること。
- 既に「留学」の在留資格で日本国内の日本語教育機関等（日本語学校・専門学校等）に在籍している方は、当該機関での出席率が80%未満で、合理的理由（入院など）がない場合、合格しても入学を許可できない可能性があります。
- 受験番号（8桁）は受験票でお知らせします。受付番号とは異なります。
- 登録時に入力されたアドレスは、以後必要に応じて本学から連絡をする際にも使用しますので、ドメイン（@venus.joshibi.jp）を受信指定してください。
迷惑メール対策等により、通常の受信ボックスから確認ができない場合や、メール自体が届かない場合がありますので注意してください。

検定料

30,000 円
※「[検定料・減額制度](#)」をご参照ください。

提出書類

- *書類を提出する前に「対象者」欄を確認し、左の確認欄で不足書類が無いかをチェックしてください。
- *確認欄がグレーの書類は、該当する方のみが提出する書類です。
- *記入が必要な提出書類には黒のボールペンを使用してください。(消せる筆記具は使用不可)

確認	No.	提出書類	対象者	詳細
☐	1	志願票	全員	登録完了後に印刷できます。 *「出願手順」参照
☐	2	推薦書	全員	出身学校に本学所定用紙への記載を依頼し、学校が厳封したもの。
☐	3	出願資格を証明する書類 ※出願資格により異なります。	出願資格 ①② に該当する方	調査書（出身学校長作成、開封無効） 被災等の事情により提出が困難な方は、卒業証明書および成績証明書を提出してください。 成績証明書も提出困難な場合は、その事由を記した当該学校からの書類を提出してください。 2つ以上の高校に在籍していた場合、前籍校の調査書を同封もしくは、現在籍校にて前籍校での成績及び出席日数等を転記してください。
			出願資格 ③ に該当する方	調査書に準ずる書類 提出が困難な場合は、修了（見込）証明書および成績証明書を提出してください。
☐	4	志願調書	全員	本学所定用紙を使用し、定められた枠内に記載してください。
☐	5	誓約書	全員	提出作品等は、全て自身が作成したものであることの誓約書 登録完了後に印刷できます。 *「出願手順」参照 印刷後内容を確認し、受験者氏名（本人署名）を必ず記入してください。 *美術教育専攻および国際芸術文化専攻の出願者で、作品を持参しない場合は不要
☐	6	受験上の配慮事項確認書	合理的配慮を 希望される方	事前相談後に本学よりメール送付した確認書に署名し提出してください。 申込・詳細は「お問い合わせ先」を参照してください。
☐	7	在留資格等確認のための書類	日本国籍を 有しない方	パスポート・在留カード コピー貼付用紙（本学所定） 必要書類のコピーを貼り付けて提出してください。
☐	8	日本語能力を確認する書類	外国人留学生 （日本の高等学校等 卒業見込の方は不要）	日本留学試験(EJU)の場合＝ 成績確認書(用紙：A4 サイズ) *成績が発表されていない場合は受験票のコピー 日本語能力試験(JLPT)の場合＝ 認定結果及び成績に関する証明書(原本)
☐	9	経費支弁能力を確認する書類	外国人留学生 （「留学」の在留資格 にて入学希望の方）	経費支弁書（本学所定）
☐	10	経費支弁能力を確認する書類	外国人留学生 （「留学」の在留資格 にて入学希望の方）	銀行の残高証明書（日本語または英語） 家計を支えている方（父・母等）が主として使っている銀行のものを提出してください。

提出書類に関する注意

- 証明書類は発行後3ヶ月以内の原本を提出してください。ただし、提出書類「3」の証明書類については、卒業後に発行された原本であれば3ヶ月以内でなくても構いません。
- 誓約書にて、提出する作品、ポートフォリオおよびそこに含まれる作品、自己アピールシート、論文、資料等について、全て自身が作成したものに相違ないこと等を誓約していただきます。
- 提出書類に虚偽の記載があることが判明した時は、入学許可を取り消すことがあります。
- 提出された書類は原則返却いたしません。

書類送付上の注意

- 提出書類は出願登録時に出力した「封筒貼付用宛名シート」を貼付した任意の角2封筒に入れて、必ず郵便局窓口から簡易書留（速達）で郵送してください。
- 特別な事情により持参提出を希望する場合は、事前に女子美入試センターまでご相談ください。

書類送付先

〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台1900 女子美入試センター
※アート・デザイン表現学科、共創デザイン学科の試験場とは異なりますので注意してください。



受験

試験場 学科により異なります

■美術学科・デザイン・工芸学科

相模原キャンパス（神奈川）

■アート・デザイン表現学科、共創デザイン学科

杉並キャンパス（東京）

配点 全学科共通 【専門試験】100点 + 【面接】100点 + 【調査書審査】50点 計250点

※調査書審査は調査書の全体の学習成績の状況（旧 評定平均値）を50点満点に換算します。

※英語資格・検定試験の結果を提出された場合は、面接試験の評価の一部として判定に利用します。

詳しくは「[英語4技能資格・検定試験の結果利用について](#)」をご確認ください。

受験上の注意

- 咳などの症状がある場合、大学構内では常時マスクを着用してください。
- 試験実施の前日はキャンパス内に入ることはできません。
- 試験当日は、A4サイズ用の紙に印刷した受験票を必ず持参してください。
- 本要項に記載している内容以外の伝達事項は、主として受験票と当日の配布プリントに記載します。
- 正門の開門時間は**8:30**です。遅くとも試験開始の30分前（洋画専攻は8:40）までには来校してください。
- 大学構内での移動、試験会場への入場・退場は係員の指示に従ってください。
- 専門試験は試験開始に遅刻しても入場できますが、所定の試験終了時間を超えて受験することはできません。
- 専門試験を欠席した場合、面接を受験することはできません。
- 専門試験または面接のいずれかを受験しなかった場合、また専門試験の選択科目を届け出た科目で受験しなかった場合は失格となります。
- 失格後の受験は一切認めません。
- 専門試験の用紙、画板、カルトン等は本学で用意したものを使用してください。
- キャンパス内および周辺には駐車できません。
- 試験当日、学生食堂は利用できません。昼食を持参してください。
- 特別な理由がない限り、付き添いの方の学内への立ち入りはできません。
- 出願後に怪我等の理由で、受験の際に何らかの配慮が緊急に必要な場合は、速やかに女子美入試センターまで連絡してください。
- 試験場に向かう途中で事故・事件に巻き込まれた場合など、やむを得ない事由により試験場への到着が遅れる場合は、入試当日の緊急連絡先まで連絡してください。

● 洋画専攻		
専門試験	科目・時間	鉛筆デッサンまたは木炭デッサン 9:30～12:30 (3時間) 与えられた静物を自由に配置し鉛筆または木炭でデッサンする ※試験開始前に持参作品搬入を行うため、8:40までに来校してください。
	持参用具	【鉛筆デッサン】 鉛筆（硬軟各種）、消具、その他必要な用具 ★B3ボード（画用紙）は大学で用意します。 【木炭デッサン】 木炭、消具、その他必要な用具 ★B3木炭紙、木炭用下敷き用紙、フィキサチーフ、カルトン、イーゼルは大学で用意します。
	評価基準	・観察に基づく描写ができているか ・画面内での配置、構図がバランス良く表現できているか ・全体と細部の関係、諧調表現等の描写力に基づく表現ができているか
面接	実施方法	個人面接（作品持参） 13:30～ 1人10分程度
	持参作品	・作品2点 静物画（15号、着彩、油彩またはアクリル）1点 自由なテーマで制作した作品（15号～30号 描画材、支持体は自由）1点 ・ポートフォリオ（A4）1冊 油彩、アクリル、水彩、デッサン、クロッキーなどの作品写真および実物作品10～30枚程度をA4サイズのファイルにまとめたもの
	評価基準	・持参作品と資料を基に、これまでに修学したこと、発想の起点、これからの目的を明確に説明できるか ・学習意欲・創作意欲はあるか ・自分の意思を自分自身の言葉で表現できるか

● 日本画専攻		
専門試験	科目・時間	水彩画 9:30～12:30 (3時間) 個別に与えられたモチーフを自由に構成し水彩画を描く
	持参用具	水彩用具一式、鉛筆、消具（水彩絵の具の透明・不透明は自由 アクリル絵の具も可） ★F10号水彩用紙、画板は大学で用意します。
	評価基準	・水彩画による表現力、描写力があるか ・画面構成、空間表現がバランス良く表現できているか ・モチーフの形態、質感の相違、色彩などを的確に観察し表現できているか
面接	実施方法	個人面接（作品持参） 13:30～ 1人10分程度
	持参作品	・作品3点 10～20号 ・作品資料ファイル（A4）1冊 水彩画、デッサンを中心に、作品写真を20点以上まとめたもの
	評価基準	・志望理由は明確か ・目的意識や学習・創作意欲はあるか ・自分の意思を自分自身の言葉で表現できるか

●立体アート専攻

専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン 9:30~12:30 (3時間) 与えられたモチーフを自由に配置し鉛筆デッサンする
	持参用具	鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具 ★B3ボード(画用紙)、下描き用白色紙、カルトン、イーゼルは大学で用意します。
	評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・ものをよく観察し素直に表現できているか ・形のバランス、構図、質感、量感をとらえて表現できているか
面接	実施方法	個人面接 13:30~ 1人15分程度
	持参作品	作品写真ファイル1冊 (立体作品、スケッチ、クロッキーなどの写真をA4サイズのファイルにまとめたもの) ※上記に加えて、手で持ち運べる程度のサイズの立体作品を持参することも可。
	評価基準	・志望理由は明確か ・目的意識や創作意欲はあるか ・質問を素直に受け止め、自分の意思を自身の言葉で表現できているか

●美術教育専攻

専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン 9:30~12:30 (3時間) 与えられた静物を自由に配置し、鉛筆でデッサンをする
	持参用具	鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具 ★B3ボード(画用紙)は大学で用意します。
	評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・よく観察し、素直に表現できているか ・形のバランス、構図、質感、量感をとらえて表現できているか
面接	実施方法	個人面接 13:30~ 1人20分程度
	持参作品	基本的に持参作品は必要としないが、希望者は作品を持参してもよい
	評価基準	・志望理由は明確か ・創作意欲や学業に対する意欲はあるか ・質問を的確に受け止め、自分の言葉で明確に表現できているか

●国際芸術文化専攻

専門試験	科目・時間	小論文 9:30~11:30 (2時間) 与えられた課題に関して文章で表現する *辞書は使用不可
	持参用具	筆記具 ★原稿用紙、下書き用紙は大学で用意します。
	評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・基礎的な表現技術を持っているか ・論理性を有しているか
面接	実施方法	個人面接 12:30~ 1人20分程度
	持参作品	基本的に持参作品は必要としないが、希望者は作品を持参してもよい
	評価基準	・志望理由が明確であるか ・目的意識、学習意欲があるか ・自分の意志を自分自身の言葉で表現できるか

■デザイン・工芸学科

■全専攻共通		
専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン 9:30～12:00 (2時間30分) 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置し、鉛筆デッサンする
	持参用具	鉛筆デッサン用具一式(パネル、カルトン、フィキサチーフ、クロッキー帳、鏡、音の出るものなど周囲に影響を及ぼすものは使用不可) ★B3ボード(画用紙)、下描き用白色紙1枚は大学で用意します。
	評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・モチーフが空間上効果的に配置されているか ・モチーフの形態、質感、色あいなどを的確に観察し、表現できているか

●ヴィジュアルデザイン専攻		
面接	実施方法	面接(作品持参) 13:00～ 受験生1～3人程度 1組15～20分程度
	持参作品	持参作品は10点程度とし、平面・立体・ポートフォリオなど自由とします。 ・必ず本人が制作した作品であること ・一般選抜の専門試験に準じた作品でなくてもよい ・鉛筆デッサンを数点含めること
	評価基準	・志望理由が明確であるか ・目的意識や学習・創作意欲があるか ・質問を素直に受け止め、自分の意志を自分自身の言葉で表現できているか

●プロダクトデザイン専攻		
面接	実施方法	面接(作品持参) 13:00～ 受験生1～3人程度 1組15～20分程度
	持参作品	持参作品は数点とし、平面・立体など自由とします。 ・必ず本人が制作した作品であること ・一般選抜の専門試験に準じた作品でなくてもよい ・見やすい形式(現物・写真)で持参すること
	評価基準	・志望理由が明確であるか ・目的意識や学習・創作意欲があるか ・質問を素直に受け止め、自分の意志を自分自身の言葉で表現できているか

●環境デザイン専攻		
面接	実施方法	面接(作品持参) 13:00～ 受験生1～3人程度 1組15～20分程度
	持参作品	持参作品は数点とし、平面・立体など自由とします。 ・必ず本人が制作した作品であること ・一般選抜の専門試験に準じた作品でなくてもよい ・見やすい形式(現物・写真)で持参すること
	評価基準	・志望理由が明確であるか ・目的意識や学習・創作意欲があるか ・質問を素直に受け止め、自分の意志を自分自身の言葉で表現できているか

●工芸専攻		
面接	実施方法	面接(作品持参) 13:00～ 1人15～20分程度
	持参作品	鉛筆デッサン(B3サイズ)2点 作品資料(A4クリアファイルに鉛筆デッサン5点以上含め10点) ・必ず本人が制作した作品であること ・一般選抜の専門試験に準じた作品でなくてもよい
	評価基準	・志望理由が明確であるか ・目的意識や学習・創作意欲があるか ・質問を素直に受け止め、自分の意志を自分自身の言葉で表現できているか

■アート・デザイン表現学科

●メディア表現領域		
専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン 9:30～12:00 (2時間30分) 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置、構成して、鉛筆デッサンする
	持参用具	鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具(パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可) ★B3ボード(シリウス紙)、下描き用白色紙1枚は大学で用意します。
	評価基準	・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成等、バランス良く表現できているか
面接	実施方法	面接(作品持参) 13:00～ 受験生1～3人程度 1組15～20分程度
	持参作品	持参作品は数点とし、平面・立体・ポートフォリオなど自由とします。
	評価基準	・目的意識、意欲があるか ・質問に対して、素直に自分自身の言葉で意思を表現できているか

●ヒーリング表現領域		
専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン 9:30～12:00 (2時間30分) 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置、構成して、鉛筆デッサンする
	持参用具	鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具(パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可) ★B3ボード(シリウス紙)、下描き用白色紙1枚は大学で用意します。
	評価基準	・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成等、バランス良く表現できているか
面接	実施方法	面接(作品持参) 13:00～ 受験生1～3人程度 1組15～20分程度
	持参作品	持参作品は数点とし、平面・立体・ポートフォリオなど自由とします。
	評価基準	・目的意識、意欲があるか ・質問に対して、素直に自分自身の言葉で意思を表現できているか

●ファッション表現領域		
専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン 9:30～12:00 (2時間30分) 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置、構成して、鉛筆デッサンする
	持参用具	鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具(パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可) ★B3ボード(シリウス紙)、下描き用白色紙1枚は大学で用意します。
	評価基準	・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成、配置等が、バランス良く表現できているか ・モチーフの置かれた空間(奥行き、高さ、広がり)が感じられる表現となっているか
面接	実施方法	面接(作品持参) 13:00～ 受験生1～3人程度 1組15～20分程度
	持参作品	持参作品は数点とし、平面・立体・ポートフォリオなど自由とします。
	評価基準	・目的意識、意欲があるか ・質問に対して、素直に自分自身の言葉で意思を表現できているか

●スペース表現領域		
専門試験	科目・時間	鉛筆デッサンまたは文章表現 【鉛筆デッサン】 9:30～12:00 (2時間30分) 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置、構成して、鉛筆デッサンする 【文章表現】 9:30～11:30 (2時間) 与えられたモチーフから連想することを文章で表現する
	持参用具	【鉛筆デッサン】 鉛筆（硬軟各種）、消具、その他必要な用具（パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可） ★B3ボード（シリウス紙）、下描き用白色紙1枚は大学で用意します。 【文章表現】 筆記用具 ★原稿用紙、下書き用白色紙は大学で用意します。
	評価基準	【鉛筆デッサン】 ・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成等、バランス良く表現できているか ・モチーフの置かれた空間（奥行き、高さ、広がり）が感じられる表現となっているか 【文章表現】 ・伝えようとしている考えや思いが、読み手に興味をもって読まれるように表現されているか
面接	実施方法	面接（作品持参） 13:00～ 1人10分程度
	持参作品	持参作品は数点とし、平面・立体・ポートフォリオなど自由とします。
	評価基準	・目的意識、意欲があるか ・質問に対して、素直に自分自身の言葉で意思を表現できているか

●クリエイティブ・プロデュース表現領域		
専門試験	科目・時間	鉛筆デッサンまたは文章表現 【鉛筆デッサン】 9:30～12:00 (2時間30分) 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置、構成して、鉛筆デッサンする 【文章表現】 9:30～11:30 (2時間) 与えられたモチーフから連想することを文章で表現する
	持参用具	【鉛筆デッサン】 鉛筆（硬軟各種）、消具、その他必要な用具（パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可） ★B3ボード（シリウス紙）、下描き用白色紙1枚は大学で用意します。 【文章表現】 筆記用具 ★原稿用紙、下書き用白色紙は大学で用意します。
	評価基準	【鉛筆デッサン】 ・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成等、バランス良く表現できているか 【文章表現】 ・伝えようとしている考えや思いが、読み手に興味をもって読まれるように表現されているか
面接	実施方法	個人面接 13:00～ 1人10分程度
	持参作品	ポートフォリオ（A4サイズファイル1冊） 学校の授業以外での活動を説明できる内容をまとめること
	評価基準	・目的意識、意欲があるか ・質問に対して、素直に自分自身の言葉で意思を表現できているか

■ 共創デザイン学科

専門試験	科目・時間	伝達表現 10:00～12:00 (2時間) 与えられた環境課題に対する解決方法のアイデアを所定用紙に可視化する ＊可視化の方法は、図、イラスト、キーワード(簡単な単語)、文章など自由。
	持参用具	筆記用具(カラーペン、色鉛筆などの使用可とし、色数は自由とする) ★所定用紙(A3サイズ)は大学で用意します。
	評価基準	・出題内容の主旨を理解し、複数の事柄を抽出し、分類ができているか ・自分なりの表現手法で、わかりやすく伝えることができているか
面接	実施方法	面接(資料持参) 13:00～ 受験生1～3人程度 1組15～20分程度
	持参資料	ポートフォリオ(A4サイズ以上のファイル1冊) クラブやボランティア活動の記録、留学経験、自身で制作したデザイン・アート作品・デッサンの写真など、自分自身の活動を説明できるようにまとめる ※希望者は実物作品(自身で運べるもの3点以内)の持参も可とする
	評価基準	・志望理由が明確であるか ・質問の意図を理解し、自分の意志を自分自身の言葉で表現できているか ・共創デザイン学科の学びに意欲的か

推 薦 書

女子美術大学

学長 小倉 文子 殿

年 月 日

学 校 名

校 長 名

公印

下記の者は、女子美術大学芸術学部学校推薦型選抜（公募制）の出願要件を満たし、学業成績、人物ともに適格と認めますので、ここに推薦します。

記

（フリガナ）
生 徒 氏 名

生年月日(西暦) 年 月 日生
卒業年月(西暦) 年 月 卒業見込・卒業

志望先	芸術学部	専攻 領域
	学科	

※学力の3要素に関する評価を5段階評価（5～1）でご記入ください。

要 素		評価
知識・技能	基礎的・基本的な知識・技能	
思考力・判断力・表現力	知識・技能を活用して、自ら課題を発見し、その解決に向けて探究し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力	
主体性・多様性への理解・協働性	主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度	
その他特記事項があれば記載してください。		

受験番号	※記入しないこと
------	----------

志 願 調 書

※ A4 サイズの用紙に片面印刷して使用し、本人の直筆で記入してください。

フリガナ		志 願 先	学 科
氏 名			専 攻 ・ 領 域

下記の枠内に簡潔に書いてください。

●本学を志望した理由は何ですか？

●本学科（専攻・領域）を志望した理由は何ですか？

●志願するにあたって、どのような勉強をしましたか？

●入学後、学びたい専門分野（専攻・領域等）は何ですか？

●卒業後に就きたいと思う職業、したいと思う活動等は何ですか？

2027 年度 大学 特別選抜（社会人）

出願登録期間*	書類送付締切日	試験日	合格発表日	入学手続締切日
11月1日(日) 11月9日(月)	11月10日(火) 必着	11月22日(日)	12月1日(火) 13:00	12月15日(火)

*出願登録の時間は初日 10:00～最終日 13:00 までです。

入学者選抜方針

社会経験に基づく高い目的意識と意欲を持ち、美術・デザインを基礎から学びたいという社会人を求めます。

選考方法

専門試験、面接および提出書類により総合的に判定します。

出願

- 「出願手順」に従って出願登録を完了し、印刷した必要書類とその他の提出書類を定められた期間内に郵送してください。

出願資格 2027年3月31日までに、次の①～⑧のいずれかに該当もしくは該当する見込みの女子で、2027年4月1日に満25歳に達している方

- ①学校教育法第1条に定める高等学校（中等教育学校含む）を卒業した方
- ②通常の課程による12年の学校教育（特別支援学校の高等部または高等専門学校の3年次）を修了した方
- ③外国において学校教育における12年の課程を修了した方もしくはこれに準ずる方で文部科学大臣の指定した方
- ④文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した方
- ⑤文部科学大臣が指定した専修学校の高等課程を修了した方
- ⑥高等学校卒業程度認定試験（旧規定による大学入学資格検定含む）に合格した方
- ⑦国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GC E Aレベル、国際Aレベル、欧州バカロレア資格のいずれかを保有する方
- ⑧上記①～⑦のいずれにも該当せず、本学において個別の審査により、高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方

※出願資格⑧については、事前に審査が必要ですので、8月末日までに女子美入試センターへご相談ください。

出願要件 (外国人留学生)

- 日本の高等学校卒業見込者を除く外国人留学生は、以下の①または②のいずれかに該当すること。
- ①日本学生支援機構が運営する「日本留学試験（EJU）」の「日本語」で、読解（200点）＋ 聴解・聴読解（200点）計400点満点中320点以上、記述（50点）は40点以上を取得していること。
＊2024年11月、2025年6月・11月、2026年6月実施のいずれかの試験を対象とします。
 - ②国際交流基金・日本国際教育支援協会が運営する「日本語能力試験（JLPT）」において、N1に合格していること。
＊2024年12月、2025年7月・12月、2026年7月実施のいずれかの試験を対象とします。

出願上の注意

- 出願登録完了後の変更は認められませんので、入力の際は十分に確認してください。
- 一度納入された検定料および受理した提出書類は返還いたしません。
- 登録完了後、定められた期日までに必要書類の提出がなかった場合は失格となります。
失格となった場合も検定料の返金はできませんので、書類送付締切日に注意してください。
- 美術学科に出願する場合は、同学科内で第2志望の専攻を申請することができます。
第2志望を申請する方は出願登録時に申請してください。（登録完了後の申請は受け付けません）
- 第2志望の可否は、第1志望先の試験結果により判定します。第2志望を申請した方は第1志望が不合格でも、第2志望で合格する場合があります。
- 「出入国管理および難民認定法」による「留学」の在留資格にて本学に入学希望の方は、在学期間中に必要となる「学費」「生活費」などの経費支弁能力を有することが入学許可の要件になります。
経費支弁能力がないと判断された場合、合格しても入学を許可できません。
＊年間300万円以上の経費支弁能力が確認できること。
＊家計を支えている方（父・母等）が主として使っている銀行口座の残高が100万円程度以上であること。
- 既に「留学」の在留資格で日本国内の日本語教育機関等（日本語学校・専門学校等）に在籍している方は、当該機関での出席率が80%未満で、合理的理由（入院など）がない場合、合格しても入学を許可できない可能性があります。
- 出願資格を取得見込みの方で、2027年4月1日までに取得できなかった場合は、合格しても入学することはできません。
- 外国人留学生は、2027年4月1日までに本学で学ぶために支障のない在留資格を取得することができない場合、合格しても在籍できません。
- 受験番号（8桁）は受験票でお知らせします。受付番号とは異なります。
- 登録時に入力されたアドレスは、以後必要に応じて本学から連絡をする際にも使用しますので、ドメイン（@venus.joshibi.jp）を受信指定してください。
迷惑メール対策等により、通常の受信ボックスから確認ができない場合や、メール自体が届かない場合がありますので注意してください。

検定料

30,000 円
※「[検定料・減額制度](#)」をご参照ください。

提出書類

*書類を提出する前に「対象者」欄を確認し、左の確認欄で不足書類が無いかをチェックしてください。

*確認欄がグレーの書類は、該当する方のみが提出する書類です。

*記入が必要な提出書類には黒のボールペンを使用してください。（消せる筆記具は使用不可）

確認	No.	提出書類	対象者	詳細
☐	1	志願票	全員	登録完了後に印刷できます。 *「出願手順」参照
☐	2	出願資格を証明する書類 および学業成績証明書 ※出願資格により異なります。	出願資格 ①②④⑤ に該当する方 出願資格 ③ に該当する方 (右3種) 出願資格 ⑥ に該当する方 出願資格 ⑦ に該当する方	出身学校の卒業（見込）証明書および成績証明書 出身学校とは高等学校などを指し、大学・短大などは含みません。 成績証明書は高等学校に相当する課程3年間の成績が必要です。 被災等の事情により成績証明書の提出が困難な場合は、その事由を記した当該学校からの書類を提出してください。 2つ以上の高校に在籍していた場合、前籍校の調査書を同封もしくは現在籍校にて前籍校での成績及び出席日数等を転記してください。
				出身学校の卒業または修了（見込）証明書（日本語または英語） 日本の高等学校に相当する課程を卒業または修了（見込）であること、およびその在籍期間が確認できる証明書を提出してください。
				学業成績証明書（日本語または英語） 日本の高等学校3年間にあたる就学期間と、その期間の成績が記載されているものが必須です。 上記3年間に複数の学校に在学していた場合は、在学した全学校の証明書を提出してください。 飛び級ないし繰り上げ卒業のある方で、上記書類にその事実や理由等の記載がない場合は、そのことを証明する出身学校の書類を添付してください。
				学習歴に関する書類 帰国子女の方＝「 志願者身上書 」（本学所定） 外国人留学生の方＝「 外国人留学生入学志願者調査書 」（本学所定）
				合格（見込）成績証明書 高等学校で修得した単位による免除科目がある場合は、併せて当該学校の成績証明書を提出してください。英検等、技能審査の合格による免除科目がある場合は、併せて技能審査の合格を証明する書類のコピーを提出してください。
				ディプロマおよび成績証明書
☐	3	経歴書	全員	本学所定用紙を使用し、必要事項を記入してください。
☐	4	志願調査書	全員	本学所定用紙を使用し、定められた枠内に記載してください。
☐	5	誓約書	全員	提出作品等は、全て自身が作成したものであることの誓約書 登録完了後に印刷できます。 *「出願手順」参照 印刷後内容を確認し、受験者氏名（本人署名）を必ず記入してください。 *美術教育専攻および国際芸術文化専攻の出願者で、作品を持参しない場合は不要
☐	6	受験上の配慮事項確認書	合理的配慮を希望される方	事前相談後に本学よりメール送付した確認書に署名し提出してください。申込・詳細は「お問い合わせ先」を参照してください。
☐	7	在留資格等確認のための書類	日本国籍を有しない方	<u>パスポート・在留カード コピー貼付用紙</u> （本学所定） 必要書類のコピーを貼り付けて提出してください。
☐	8	日本語能力を確認する書類	外国人留学生 （日本の高等学校等 卒業見込の方は不要）	日本留学試験(EJU)の場合＝ 成績確認書(用紙：A4 サイズ) *成績が発表されていない場合は受験票のコピー(用紙：A4 サイズ) 日本語能力試験(JLPT)の場合＝ 認定結果及び成績に関する証明書(原本)
☐	9	経費支弁能力を確認する書類	外国人留学生 （「留学」の在留資格 にて入学希望の方）	<u>経費支弁書</u> （本学所定）
☐	10	経費支弁能力を確認する書類	外国人留学生 （「留学」の在留資格 にて入学希望の方）	銀行の残高証明書（日本語または英語） 家計を支えている方（父・母等）が主として使っている銀行のものを提出してください。
☐	11	出席率を確認する書類	外国人留学生 （日本国内の日本語教育 機関等に在籍の方）	日本国内の日本語教育機関等の出席率証明書（要公印） 出席率が80%未満の場合は、合理的理由（入院など）を明記した証明書を提出してください。

提出書類に関する注意

- 証明書類は発行後3ヶ月以内の原本を提出してください。原本が1部しかない場合は、出身学校による原本証明済みのコピーを提出することも可能です。
ただし、提出書類「2」の証明書類については、卒業後に発行された原本であれば3ヶ月以内でなくても構いません。
- 証明書類が日本語または英語以外の言語で作成されている場合は、証明書の原本に大使館または国で認可された公証役場で公証を受けた翻訳文（日本語または英語）を添付してください。
- 誓約書にて、提出する作品、ポートフォリオおよびそこに含まれる作品、自己アピールシート、論文、資料等について、全て自身が作成したものに相違ないこと等を誓約していただきます。
- 提出書類に虚偽の記載があることが判明した時は、入学許可を取り消すことがあります。
- 提出された書類は原則返却いたしません。

書類送付上の注意

- 提出書類は出願登録時に出力した「封筒貼付用宛名シート」を貼付した任意の角2封筒に入れて、必ず郵便局窓口から簡易書留（速達）で郵送してください。
- 日本国外から提出書類を郵送する場合は、EMS（国際スピード郵便）など、ご自身で配達状況が追跡できるものを利用して、必ず定められた期日までに届くようにしてください。
期日までに届かない場合は失格となります。
- 特別な事情により持参提出を希望する場合は、事前に女子美入試センターまでご相談ください。

書類送付先

〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台1900 女子美入試センター
※アート・デザイン表現学科、共創デザイン学科の試験場とは異なりますので注意してください。



受験

試験場

学科により異なります

■ 美術学科、デザイン・工芸学科

相模原キャンパス（神奈川）

■ アート・デザイン表現学科、共創デザイン学科

杉並キャンパス（東京）

配点

全学科共通 【専門試験】100点 + 【面接】100点 計200点

受験上の注意

- 咳などの症状がある場合、大学構内では常時マスクを着用してください。
- 試験実施の前日はキャンパス内に入ることはできません。
- 試験当日は、A4サイズの用紙に印刷した受験票を必ず持参してください。
- 本要項に記載している内容以外の伝達事項は、主として受験票と当日の配布プリントに記載します。
- 正門の開門時間は**8:30**です。遅くとも試験開始の30分前（洋画専攻は8:40）までには来校してください。
- 大学構内での移動、試験会場への入場・退場は係員の指示に従ってください。
- 専門試験は試験開始に遅刻しても入場できますが、所定の試験終了時間を超えて受験することはできません。
- 専門試験を欠席した場合、面接を受験することはできません。
- 専門試験または面接のいずれかを受験しなかった場合、また専門試験の選択科目を届け出た科目で受験しなかった場合は失格となります。
- 失格後の受験は一切認めません。
- 専門試験の用紙、画板、カルトン等は本学で用意したものを使用してください。
- キャンパス内および周辺には駐車できません。
- 試験当日、学生食堂は利用できません。昼食を持参してください。
- 特別な理由がない限り、付き添いの方の学内への立ち入りはできません。
- 出願後に怪我等の理由で、受験の際に何らかの配慮が緊急に必要な場合は、速やかに女子美入試センターまで連絡してください。
- 試験場に向かう途中で事故・事件に巻き込まれた場合など、やむを得ない事由により試験場への到着が遅れる場合は、入試当日の緊急連絡先まで連絡してください。

● 洋画専攻		
専門試験	科目・時間	鉛筆デッサンまたは木炭デッサン 9:30～12:30 (3時間) 与えられた静物を自由に配置し鉛筆または木炭デッサンする ※試験開始前に持参作品搬入を行うため遅くとも8:40までには来校してください。
	持参用具	【鉛筆デッサン】 鉛筆（硬軟各種）、消具、その他必要な用具 ★B3ボード（画用紙）は大学で用意します。 【木炭デッサン】 木炭、消具、その他必要な用具 ★B3木炭紙、木炭用下敷き用紙、フィキサチーフ、カルトン、イーゼルは大学で用意します。
	評価基準	・観察に基づく描写ができているか ・画面内での配置、構図がバランス良く表現できているか ・全体と細部の関係、諧調表現等の描写力に基づく表現ができているか
面接	実施方法	個人面接（作品持参） 13:30～ 1人10分程度
	持参作品	・作品2点 静物画（15号、着色、油彩またはアクリル）1点 自由なテーマで制作した作品（15号～30号 描画材、支持体は自由）1点 ・ポートフォリオ（A4）1冊 油彩、アクリル、水彩、デッサン、クロッキーなどの作品写真および実物作品10～30枚程度をA4サイズのファイルにまとめたもの
	評価基準	・持参作品と資料を基に、これまでに修学したこと、発想の起点、これからの目的を明確に説明できるか ・学習意欲・創作意欲はあるか ・自分の意思を自分自身の言葉で表現できるか

● 日本画専攻		
専門試験	科目・時間	水彩画 9:30～12:30 (3時間) 個別に与えられたモチーフを自由に構成し水彩画を描く
	持参用具	水彩用具一式、鉛筆、消具（水彩絵の具の透明・不透明は自由 アクリル絵の具も可） ★F10号水彩用紙、画板は大学で用意します。
	評価基準	・水彩画による表現力、描写力があるか ・画面構成、空間表現がバランス良く表現できているか ・モチーフの形態、質感の相違、色彩などを的確に観察し表現できているか
面接	実施方法	個人面接（作品持参） 13:30～ 1人10分程度
	持参作品	作品3点（10～20号）、作品資料ファイル1冊
	評価基準	・志望理由は明確か ・目的意識や学習・創作意欲はあるか ・自分の意思を自分自身の言葉で表現できるか

●立体アート専攻

専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン 9:30～12:30 (3時間) 与えられたモチーフを自由に配置し鉛筆デッサンする
	持参用具	鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具 ★B3ボード(画用紙)、下書き用白色紙、カルトン、イーゼルは大学で用意します。
	評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・ものをよく観察し素直に表現できているか ・形のバランス、構図、質感、量感をとらえて表現できているか
面接	実施方法	個人面接 13:30～ 1人15分程度
	持参作品	作品写真ファイル1冊 (立体作品、スケッチ、クロッキーなどの写真をA4サイズのファイルにまとめたもの) ※上記に加えて、手で持ち運べる程度のサイズの立体作品を持参することも可。
	評価基準	・志望理由は明確か ・目的意識や創作意欲はあるか ・質問を素直に受け止め、自分の意思を自身の言葉で表現できているか

●美術教育専攻

専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン 9:30～12:30 (3時間) 与えられた静物を自由に配置し、鉛筆でデッサンをする
	持参用具	鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具 ★B3ボード(シリウス紙)は大学で用意します。
	評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・よく観察し、素直に表現できているか ・形のバランス、構図、質感、量感をとらえて表現できているか
面接	実施方法	個人面接 13:30～ 1人15分程度
	持参作品	基本的に持参作品は必要としないが、希望者は作品を持参してもよい
	評価基準	・志望理由は明確か ・創作意欲や学業に対する意欲はあるか ・質問を的確に受け止め、自分の言葉で明確に表現できているか

●国際芸術文化専攻

専門試験	科目・時間	小論文 9:30～11:30 (2時間) 与えられた課題に関して文章で表現する *辞書の使用不可
	持参用具	筆記具 ★原稿用紙、下書き用紙は大学で用意します。
	評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・基礎的な表現技術を持っているか ・論理性を有しているか
面接	実施方法	個人面接 12:30～ 1人20分程度
	持参作品	基本的に持参作品は必要としないが、希望者は作品を持参してもよい
	評価基準	・志望理由が明確であるか ・目的意識、学習意欲があるか ・自分の意志を自分自身の言葉で表現できるか

■デザイン・工芸学科

- ヴィジュアルデザイン専攻
- プロダクトデザイン専攻
- 環境デザイン専攻

専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン 9:30~12:00 (2時間30分) 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置し、鉛筆デッサンする
	持参用具	鉛筆デッサン用具一式(パネル、カルトン、フィキサチーフ、クロッキー帳、鏡、音の出るものなど周囲に影響を及ぼすものは使用不可) ★B3ボード(画用紙)、下描き用白色紙1枚は大学で用意します。
	評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・ものをよく観察して理解し、表現できているか ・構図等、バランス良く表現できているか
面接	実施方法	面接(作品持参) 13:00~ 受験生1~3人程度 1組15~20分程度
	持参作品	持参作品は数点とし、平面・立体など自由とします。 ・必ず本人が制作した作品であること ・一般選抜の専門試験に準じた作品でなくてもよい ・見やすい形式(現物・写真)で持参すること
	評価基準	・志望理由が明確であるか ・目的意識や学習・創作意欲があるか ・質問を素直に受け止め、自分の意志を自分自身の言葉で表現できているか

●工芸専攻

専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン 9:30~12:00 (2時間30分) 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置し、鉛筆デッサンする
	持参用具	鉛筆デッサン用具一式(パネル、カルトン、フィキサチーフ、クロッキー帳、鏡、音の出るものなど周囲に影響を及ぼすものは使用不可) ★B3ボード(画用紙)、下描き用白色紙1枚は大学で用意します。
	評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・ものをよく観察して理解し、表現できているか ・構図等、バランス良く表現できているか
面接	実施方法	面接(作品持参) 13:00~ 1人15~30分程度
	持参作品	静物デッサン(B3サイズ)2点 作品資料(A4クリアファイルに鉛筆デッサン5点以上含め10点) ・必ず本人が制作した作品であること ・一般選抜の専門試験に準じた作品でなくてもよい
	評価基準	・志望理由が明確であるか ・目的意識や学習・創作意欲があるか ・質問を素直に受け止め、自分の意志を自分自身の言葉で表現できているか

■アート・デザイン表現学科

●メディア表現領域

専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン 9:30~12:00 (2時間30分) 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置、構成して、鉛筆デッサンする
	持参用具	鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具(パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可) ★B3ボード(シリウス紙)、下描き用白色紙1枚は大学で用意します。
	評価基準	・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成等、バランス良く表現できているか
面接	実施方法	面接(作品持参) 13:00~ 受験生1~3人程度 1組15~20分程度
	持参作品	持参作品は数点とし、平面・立体・ポートフォリオなど自由とします。
	評価基準	・目的意識、意欲があるか ・質問に対して、素直に自分自身の言葉で意思を表現できているか

●ヒーリング表現領域

専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン 9:30~12:00 (2時間30分) 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置、構成して、鉛筆デッサンする
	持参用具	鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具(パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可) ★B3ボード(シリウス紙)、下描き用白色紙1枚は大学で用意します。
	評価基準	・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成等、バランス良く表現できているか
面接	実施方法	個人面接(作品持参) 13:00~ 1人10分程度
	持参作品	持参作品は数点とし、平面・立体・ポートフォリオなど自由とします。
	評価基準	・目的意識、意欲があるか ・質問に対して、素直に自分自身の言葉で意思を表現できているか

●ファッション表現領域

専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン 9:30~12:00 (2時間30分) 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置、構成して、鉛筆デッサンする
	持参用具	鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具(パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可) ★B3ボード(シリウス紙)、下描き用白色紙1枚は大学で用意します。
	評価基準	・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成、配置等が、バランス良く表現できているか ・モチーフの置かれた空間(奥行き、高さ、広がり)が感じられる表現となっているか
面接	実施方法	個人面接(作品持参) 13:00~ 1人10分程度
	持参作品	持参作品は数点とし、平面・立体・ポートフォリオなど自由とします。
	評価基準	・志望理由、将来の目標が明確か ・目的意識、創作意欲を持っているか

●スペース表現領域		
専門試験	科目・時間	鉛筆デッサンまたは文章表現 [鉛筆デッサン] 9:30～12:00 (2時間30分) 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置、構成して、鉛筆デッサンする [文章表現] 9:30～11:30 (2時間) 与えられたモチーフから連想することを文章で表現する
	持参用具	[鉛筆デッサン] 鉛筆（硬軟各種）、消具、その他必要な用具（パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可） ★B3ボード（シリウス紙）、下書き用白色紙1枚は大学で用意します。 [文章表現] 筆記用具 ★原稿用紙、下書き用白色紙は大学で用意します。
	評価基準	[鉛筆デッサン] ・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成等、バランス良く表現できているか ・モチーフの置かれた空間（奥行き、高さ、広がり）が感じられる表現となっているか [文章表現] ・伝えようとしている考えや思いが、読み手に興味をもって読まれるように表現されているか
面接	実施方法	面接（作品持参） 13:00～ 1人10分程度
	持参作品	持参作品は数点とし、平面・立体・ポートフォリオなど自由とします。
	評価基準	・目的意識、意欲があるか ・質問に対して、素直に自分自身の言葉で意思を表現できているか

●クリエイティブ・プロデュース表現領域		
専門試験	科目・時間	鉛筆デッサンまたは文章表現 [鉛筆デッサン] 9:30～12:00 (2時間30分) 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置、構成して、鉛筆デッサンする [文章表現] 9:30～11:30 (2時間) 与えられたモチーフから連想することを文章で表現する
	持参用具	[鉛筆デッサン] 鉛筆（硬軟各種）、消具、その他必要な用具（パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可） ★B3ボード（シリウス紙）、下書き用白色紙1枚は大学で用意します。 [文章表現] 筆記用具 ★下書き用白色紙は大学で用意します。
	評価基準	[鉛筆デッサン] ・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成等、バランス良く表現できているか [文章表現] ・伝えようとしている考えや思いが、読み手に興味をもって読まれるように表現されているか
面接	実施方法	個人面接 13:00～ 1人10分程度
	持参作品	ポートフォリオ（A4サイズファイル1冊） 自分自身の活動（在学時の授業課題で制作した作品以外のもの）や興味を説明できる内容にまとめること
	評価基準	・目的意識、意欲があるか ・質問に対して、素直に自分自身の言葉で意思を表現できているか

■ 共創デザイン学科

専門試験	科目・時間	伝達表現 10:00～12:00 (2時間) 与えられた環境課題に対する解決方法のアイデアを所定用紙に可視化する ＊可視化の方法は、図、イラスト、キーワード（簡単な単語）、文章など自由。
	持参用具	筆記用具（カラーペン、色鉛筆などの使用可とし、色数は自由とする） ★所定用紙（A3サイズ）は大学で用意します。
	評価基準	・出題内容の主旨を理解し、複数の事柄を抽出し、分類ができているか ・自分なりの表現手法で、わかりやすく伝えることができているか
面接	実施方法	面接（資料持参） 13:00～ 受験生1～3人程度 1組15～20分程度
	持参資料	ポートフォリオ（A4サイズ以上のファイル1冊） クラブやボランティア活動の記録、留学経験、自身で制作したデザイン・アート作品・デッサンの写真など、自分自身の活動を説明できるようにまとめる ※希望者は実物作品（自身で運べるもの3点以内）の持参も可とする
	評価基準	・志望理由が明確であるか ・これまでの社会経験を踏まえ、共創デザイン学科の学びを得ることで実現できる自分の将来像をイメージできているか ・現在あるいは、将来の社会のあり方について問題意識を持っているか ・共創デザイン学科の学びに意欲的か

受験番号	※記入しないこと
------	----------

経 歴 書

フリガナ		生 年 月 日 (西暦)	
氏 名		年 月 日 (歳)	
出身高校等		高等学校・中等教育学校 卒業 認定試験(検定)合格	
学 歴	在学期間 (西暦)	高等学校卒業以降の学歴 (卒業・修了・見込・中退を記入)	
	年 月 ~ 年 月		
	年 月 ~ 年 月		
	年 月 ~ 年 月		
	年 月 ~ 年 月		
	年 月 ~ 年 月		
職 歴	在職期間 (西暦)	勤務先名称	仕事内容 (アルバイトは職歴に含みません)
	年 月 ~ 年 月		
	年 月 ~ 年 月		
	年 月 ~ 年 月		
	年 月 ~ 年 月		
	年 月 ~ 年 月		
制 作 歴 ・ 受 賞 歴	年 月 (西暦)	受 賞 名 等	
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		

受験番号	※記入しないこと
------	----------

志 願 調 書

※ A 4 サイズの用紙に片面印刷して使用し、本人の直筆で記入してください。

フリガナ		志 願 先	学科
氏 名			専攻・領域

下記の枠内に簡潔に書いてください。

●本学を志望した理由は何ですか？

--

●本学科（専攻・領域）を志望した理由は何ですか？

--

●志願するにあたって、どのような勉強をしましたか？

--

●入学後、学びたい専門分野（専攻・領域等）は何ですか？

--

●卒業後に就きたいと思う職業、したいと思う活動等は何ですか？

--

2027 年度 大学 特別選抜（帰国子女）

出願登録期間*	書類送付締切日	試験日	合格発表日	入学手続締切日
11月1日(日) ↓ 11月9日(月)	11月10日(火) 必着	11月22日(日)	12月1日(火) 13:00	12月15日(火)

*出願登録の時間は初日 10:00～最終日 13:00 までです。

入学者選抜方針

外国で受けた教育を活かして、異文化や多様な価値観、広い視野と柔軟な思考を持ち、美術・デザインを基礎から学びたいと希望する人材を求めます。

選考方法

専門試験、面接および提出書類により総合的に判定します。

出願

- 「出願手順」に従って出願登録を完了し、印刷した必要書類とその他の提出書類を定められた期間内に郵送してください。

出願資格 外国において教育を受け、帰国後の期間が入学時の2027年4月までに2年未満の日本国籍を有する女子（日本国の永住許可を得ている方を含む）で、次の①～④のいずれかに該当する方に限ります。

- ①外国において正規の教育制度に基づく高等学校に最終学年を含めて2年以上継続して在学し、2025年4月1日から2027年3月31日までに学校教育12年の課程を修了または修了見込みの方
- ②外国において正規の教育制度に基づく中学・高等学校を通じて2年以上継続して教育を受け、2025年4月1日から2027年3月31日までに日本の高等学校を卒業または卒業見込みの方
- ③国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCE Aレベル、国際Aレベル、欧州バカロレア資格のいずれかを保有し、取得後2年以内の方
- ④上記①～③のいずれにも該当せず、本学において個別の審査により、高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方

注1）外国に設置された学校であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校に在学した方については、その期間は外国において学校教育を受けた期間とはみなしません。

注2）出願資格④については、事前に審査が必要です。8月末日までに女子美入試センターへご相談ください。

出願上の注意

- 出願登録完了後の変更は認められませんので、入力の際は十分に確認してください。
- 一度納入された検定料および受理した提出書類は返還いたしません。
- 登録完了後、定められた期日までに必要書類の提出がなかった場合は失格となります。
失格となった場合も検定料の返金はありませんので、書類送付締切日に注意してください。
- 美術学科に出願する場合は、同学科内で第2志望の専攻を申請することができます。
第2志望を申請する方は出願登録時に申請してください。（登録完了後の申請は受け付けません）
- 第2志望の可否は、第1志望先の試験結果により判定します。第2志望を申請した方は第1志望が不合格でも、第2志望で合格する場合があります。
- 出願資格を取得見込みの方で、2027年4月1日までに取得できなかった場合は、合格しても入学することはできません。
- 受験番号（8桁）は受験票でお知らせします。受付番号とは異なります。
- 登録時に入力されたアドレスは、以後必要に応じて本学から連絡をする際にも使用しますので、ドメイン（@venus.joshibi.jp）を受信指定してください。
迷惑メール対策等により、通常の受信ボックスから確認ができない場合や、メール自体が届かない場合がありますので注意してください。

検定料

30,000 円

※「[検定料・減額制度](#)」をご参照ください。

※日本国外から出願する方は「出願手順」に従い、クレジットカードでお支払いください。

提出書類

- * 書類を提出する前に「対象者」欄を確認し、左の確認欄で不足書類が無いかをチェックしてください。
- * 確認欄がグレーの書類は、該当する方のみが提出する書類です。
- * 記入が必要な提出書類には黒のボールペンを使用してください。（消せる筆記具は使用不可）

確認	No.	提出書類	対象者	詳細
☐	1	志願票	全員	登録完了後に印刷できます。 *「出願手順」参照
☐	2	出願資格および修学履修を証明する書類 ※出願資格により異なります。	出願資格 ① に該当する方 （右2種）	出身学校の卒業または修了（見込）証明書（日本語または英語） 日本の高等学校に相当する課程を卒業または修了（見込）であること、およびその在籍期間が確認できる証明書を提出してください。 * 志願者の氏名、生年月日、学校名、卒業または修了（見込）年月日、発行日が確認できる原本を提出してください。
				学業成績証明書（日本語または英語） 日本の高等学校3年間にあたる就学期間と、その期間の成績が記載されているものが必要です。 上記3年間に複数の学校に在学していた場合は、在学した全学校の証明書を提出してください。（日本の高等学校の証明書は「調査書」が望ましい） 飛び級ないし繰り上げ卒業のある方で、上記書類にその事実や理由等の記載がない場合は、そのことを証明する出身学校の書類を添付してください。 * 志願者の氏名、生年月日、学校名、在籍期間、発行日が確認できる原本を提出してください。
			出願資格 ② に該当する方 （右2種）	卒業（見込）の高等学校の調査書 調査書の提出が困難な場合は、卒業（見込）証明書と成績証明書を提出してください。
				前在高校の学業成績証明書（日本語または英語） 日本の高等学校に転入する前の、高等学校にあたる期間の成績証明書で、在籍期間が明記されたものが必要です。
☐	3	志願者身上書	全員	提出作品等は、全て自身が作成したものであることの誓約書
☐	4	志願調査書	全員	登録完了後に印刷できます。 *「出願手順」参照 印刷後内容を確認し、受験者氏名（本人署名）を必ず記入してください。 * 美術教育専攻および国際芸術文化専攻の出願者で、作品を持参しない場合は不要
☐	5	誓約書	全員	提出作品等は、全て自身が作成したものであることの誓約書
☐	6	日本国籍を証明する書類	二つの国籍を持っている方	提出作品等は、全て自身が作成したものであることの誓約書
☐	7	受験上の配慮事項確認書	合理的配慮を希望される方	パスポートのコピーなど
☐	7	受験上の配慮事項確認書	合理的配慮を希望される方	事前相談後に本学よりメール送付した確認書に署名し提出してください。 申込・詳細は「お問い合わせ先」を参照してください。

提出書類に関する注意

- 証明書類は発行後3ヶ月以内の原本を提出してください。原本が1部しかない場合は、出身学校による原本証明済みのコピーを提出することも可能です。
ただし、提出書類「2」の証明書類については、卒業後に発行された原本であれば3ヶ月以内でなくても構いません。
- 証明書類が日本語または英語以外の言語で作成されている場合は、証明書の原本に大使館または国で認可された公証役場で公証を受けた翻訳文（日本語または英語）を添付してください。
- 誓約書にて、提出する作品、ポートフォリオおよびそこに含まれる作品、自己アピールシート、論文、資料等について、全て自身が作成したものに相違ないこと等を誓約していただきます。
- 提出書類に虚偽の記載があることが判明した時は、入学許可を取り消すことがあります。
- 提出された書類は原則返却いたしません。

書類送付上の注意

- 提出書類は出願登録時に出力した「封筒貼付用宛名シート」を貼付した任意の角2封筒に入れて、必ず郵便局窓口から簡易書留（速達）で郵送してください。
- 日本国外から提出書類を郵送する場合は、EMS（国際スピード郵便）など、ご自身で配達状況が追跡できるものを利用して、必ず定められた期日までに届くようにしてください。
期日までに届かない場合は失格となります。
- 特別な事情により持参提出を希望する場合は、事前に女子美入試センターまでご相談ください。

書類送付先

〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台1900 女子美入試センター
※アート・デザイン表現学科、共創デザイン学科の試験場とは異なりますので注意してください。

受験

試験場

学科により異なります

- 美術学科、デザイン・工芸学科 相模原キャンパス（神奈川）
- アート・デザイン表現学科、共創デザイン学科 杉並キャンパス（東京）

配点

全学科共通 【専門試験】100点 + 【面接】100点 計200点

受験上の注意

- 咳などの症状がある場合、大学構内では常時マスクを着用してください。
- 試験実施の前日はキャンパス内に入ることはできません。
- 試験当日は、A4サイズの用紙に印刷した受験票を必ず持参してください。
- 本要項に記載している内容以外の伝達事項は、主として受験票と当日の配布プリントに記載します。
- 正門の開門時間は**8:30**です。遅くとも試験開始の30分前（洋画専攻は8:40）までには来校してください。
- 大学構内での移動、試験会場への入場・退場は係員の指示に従ってください。
- 専門試験は試験開始に遅刻しても入場できますが、所定の試験終了時間を超えて受験することはできません。
- 専門試験を欠席した場合、面接を受験することはできません。
- 専門試験または面接のいずれかを受験しなかった場合、また専門試験の選択科目を届け出た科目で受験しなかった場合は失格となります。
- 失格後の受験は一切認めません。
- 専門試験の用紙、画板、カルトン等は本学で用意したものを使用してください。
- キャンパス内および周辺には駐車できません。
- 試験当日、学生食堂は利用できません。昼食を持参してください。
- 特別な理由がない限り、付き添いの方の学内への立ち入りはできません。
- 出願後に怪我等の理由で、受験の際に何らかの配慮が緊急に必要な場合は、速やかに女子美入試センターまで連絡してください。
- 試験場に向かう途中で事故・事件に巻き込まれた場合など、やむを得ない事由により試験場への到着が遅れる場合は、入試当日の緊急連絡先まで連絡してください。

● 洋画専攻		
専門試験	科目・時間	鉛筆デッサンまたは木炭デッサン 9:30～12:30 (3時間) 与えられた静物を自由に配置し鉛筆または木炭でデッサンする ※試験開始前に持参作品搬入を行うため遅くとも8:40までには来校してください。
	持参用具	[鉛筆デッサン] 鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具 ★B3ボード(画用紙)は大学で用意します。 [木炭デッサン] 木炭、消具、その他必要な用具 ★B3木炭紙、木炭用下敷き用紙、フィキサチーフ、カルトン、イーゼルは大学で用意します。
	評価基準	・観察に基づく描写ができていないか ・画面内での配置、構図がバランス良く表現できているか ・全体と細部の関係、諧調表現等の描写力に基づく表現ができていないか
面接	実施方法	個人面接(作品持参) 13:30～ 1人10分程度
	持参作品	・作品2点 静物画(15号、着彩、油彩またはアクリル)1点 自由なテーマで制作した作品(15号～30号 描画材、支持体は自由)1点 ・ポートフォリオ(A4)1冊 油彩、アクリル、水彩、デッサン、クロッキーなどの作品写真および実物作品10～30枚程度をA4サイズのファイルにまとめたもの
	評価基準	・持参作品と資料を基に、これまでに修学したこと、発想の起点、これからの目的を明確に説明できるか ・学習意欲・創作意欲はあるか ・自分の意思を自分自身の言葉で表現できるか

● 日本画専攻		
専門試験	科目・時間	水彩画 9:30～12:30 (3時間) 個別に与えられたモチーフを自由に構成し水彩画を描く
	持参用具	水彩用具一式、鉛筆、消具(水彩絵の具の透明・不透明は自由 アクリル絵の具も可) ★F10号水彩用紙、画板は大学で用意します。
	評価基準	・水彩画による表現力、描写力があるか ・画面構成、空間表現がバランス良く表現できているか ・モチーフの形態、質感の相違、色彩などを的確に観察し表現できているか
面接	実施方法	個人面接(作品持参) 13:30～ 1人10分程度
	持参作品	作品3点(10～20号)、作品資料ファイル1冊
	評価基準	・志望理由は明確か ・目的意識や学習・創作意欲はあるか ・自分の意思を自分自身の言葉で表現できるか

●立体アート専攻		
専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン 9:30～12:30 (3時間) 与えられたモチーフを自由に配置し鉛筆デッサンする
	持参用具	鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具 ★B3ボード(画用紙)、下描き用白色紙、カルトン、イーゼルは大学で用意します。
	評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・ものをよく観察し素直に表現できているか ・形のバランス、構図、質感、量感をとらえて表現できているか
面接	実施方法	個人面接 13:30～ 1人15分程度
	持参作品	作品写真ファイル1冊 (立体作品、スケッチ、クロッキーなどの写真をA4サイズのファイルにまとめたもの) ※上記に加えて、手で持ち運べる程度のサイズの立体作品を持参することも可。
	評価基準	・志望理由は明確か ・目的意識や創作意欲はあるか ・質問を素直に受け止め、自分の意思を自身の言葉で表現できているか

●美術教育専攻		
専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン 9:30～12:30 (3時間) 与えられた静物を自由に配置し、鉛筆でデッサンをする
	持参用具	鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具 ★B3ボード(シリウス紙)は大学で用意します。
	評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・よく観察し、素直に表現できているか ・形のバランス、構図、質感、量感をとらえて表現できているか
面接	実施方法	個人面接 13:30～ 1人15分程度
	持参作品	基本的に持参作品は必要としないが、希望者は作品を持参してもよい
	評価基準	・志望理由は明確か ・創作意欲や学業に対する意欲はあるか ・質問を的確に受け止め、自分の言葉で明確に表現できているか

●国際芸術文化専攻		
専門試験	科目・時間	小論文 9:30～11:30 (2時間) 与えられた課題に関して文章で表現する *辞書の使用不可
	持参用具	筆記具 ★原稿用紙、下書き用紙は大学で用意します。
	評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・基礎的な表現技術を持っているか ・論理性を有しているか
面接	実施方法	個人面接 12:30～ 1人20分程度
	持参作品	基本的に持参作品は必要としないが、希望者は作品を持参してもよい
	評価基準	・志望理由が明確であるか ・目的意識、学習意欲があるか ・自分の意志を自分自身の言葉で表現できるか

■デザイン・工芸学科

- ヴィジュアルデザイン専攻
- プロダクトデザイン専攻
- 環境デザイン専攻

専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン 9:30~12:00 (2時間30分) 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置し、鉛筆デッサンする
	持参用具	鉛筆デッサン用具一式(パネル、カルトン、フィキサチーフ、クロッキー帳、鏡、音の出るものなど周囲に影響を及ぼすものは使用不可) ★B3ボード(画用紙)、下描き用白色紙1枚は大学で用意します。
	評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・ものをよく観察して理解し、表現できているか ・構図等、バランス良く表現できているか
面接	実施方法	面接(作品持参) 13:00~ 受験生1~3人程度 1組15~20分程度
	持参作品	持参作品は数点とし、平面・立体など自由とします。 ・必ず本人が制作した作品であること ・一般選抜の専門試験に準じた作品でなくてもよい ・見やすい形式(現物・写真)で持参すること
	評価基準	・志望理由が明確であるか ・目的意識や学習・創作意欲があるか ・質問を素直に受け止め、自分の意志を自分自身の言葉で表現できているか

●工芸専攻

専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン 9:30~12:00 (2時間30分) 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置し、鉛筆デッサンする
	持参用具	鉛筆デッサン用具一式(パネル、カルトン、フィキサチーフ、クロッキー帳、鏡、音の出るものなど周囲に影響を及ぼすものは使用不可) ★B3ボード(画用紙)、下描き用白色紙1枚は大学で用意します。
	評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・ものをよく観察して理解し、表現できているか ・構図等、バランス良く表現できているか
面接	実施方法	面接(作品持参) 13:00~ 1人15~30分程度
	持参作品	静物デッサン(B3サイズ)2点 作品資料(A4クリアファイルに鉛筆デッサン5点以上含め10点) ・必ず本人が制作した作品であること ・一般選抜の専門試験に準じた作品でなくてもよい
	評価基準	・志望理由が明確であるか ・目的意識や学習・創作意欲があるか ・質問を素直に受け止め、自分の意志を自分自身の言葉で表現できているか

■アート・デザイン表現学科

●メディア表現領域

専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン 9:30～12:00 (2時間30分) 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置、構成して、鉛筆デッサンする
	持参用具	鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具(パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可) ★B3ボード(シリウス紙)、下描き用白色紙1枚は大学で用意します。
	評価基準	・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成等、バランス良く表現できているか
面接	実施方法	面接(作品持参) 13:00～ 受験生1～3人程度 1組15～20分程度
	持参作品	持参作品は数点とし、平面・立体・ポートフォリオなど自由とします。
	評価基準	・目的意識、意欲があるか ・質問に対して、素直に自分自身の言葉で意思を表現できているか

●ヒーリング表現領域

専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン 9:30～12:00 (2時間30分) 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置、構成して、鉛筆デッサンする
	持参用具	鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具(パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可) ★B3ボード(シリウス紙)、下描き用白色紙1枚は大学で用意します。
	評価基準	・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成等、バランス良く表現できているか
面接	実施方法	個人面接(作品持参) 13:00～ 1人10分程度
	持参作品	持参作品は数点とし、平面・立体・ポートフォリオなど自由とします。
	評価基準	・目的意識、意欲があるか ・質問に対して、素直に自分自身の言葉で意思を表現できているか

●ファッション表現領域

専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン 9:30～12:00 (2時間30分) 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置、構成して、鉛筆デッサンする
	持参用具	鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具(パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可) ★B3ボード(シリウス紙)、下描き用白色紙1枚は大学で用意します。
	評価基準	・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成、配置等が、バランス良く表現できているか ・モチーフの置かれた空間(奥行き、高さ、広がり)が感じられる表現となっているか
面接	実施方法	個人面接(作品持参) 13:00～ 1人10分程度
	持参作品	持参作品は数点とし、平面・立体・ポートフォリオなど自由とします。
	評価基準	・目的意識、意欲があるか ・質問に対して、素直に自分自身の言葉で意思を表現できているか

●スペース表現領域

専門試験	科目・時間	鉛筆デッサンまたは文章表現 [鉛筆デッサン] 9:30~12:00 (2時間30分) 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置、構成して、鉛筆デッサンする [文章表現] 9:30~11:30 (2時間) 与えられたモチーフから連想することを文章で表現する
	持参用具	[鉛筆デッサン] 鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具(パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可) ★B3ボード(シリウス紙)、下書き用白色紙1枚は大学で用意します。 [文章表現] 筆記用具 ★原稿用紙、下書き用白色紙は大学で用意します。
	評価基準	[鉛筆デッサン] ・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成等、バランス良く表現できているか ・モチーフの置かれた空間(奥行き、高さ、広がり)が感じられる表現となっているか [文章表現] ・伝えようとしている考えや思いが、読み手に興味をもって読まれるように表現されているか
面接	実施方法	面接(作品持参) 13:00~ 1人10分程度
	持参作品	持参作品は数点とし、平面・立体・ポートフォリオなど自由とします。
	評価基準	・目的意識、意欲があるか ・質問に対して、素直に自分自身の言葉で意思を表現できているか ・日本語でのコミュニケーション能力が充分か

●クリエイティブ・プロデュース表現領域

専門試験	科目・時間	鉛筆デッサンまたは文章表現 [鉛筆デッサン] 9:30~12:00 (2時間30分) 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置、構成して、鉛筆デッサンする [文章表現] 9:30~11:30 (2時間) 与えられたモチーフから連想することを文章で表現する
	持参用具	[鉛筆デッサン] 鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具(パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可) ★B3ボード(シリウス紙)、下書き用白色紙1枚は大学で用意します。 [文章表現] 筆記用具 ★下書き用白色紙は大学で用意します。
	評価基準	[鉛筆デッサン] ・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成等、バランス良く表現できているか [文章表現] ・伝えようとしている考えや思いが、読み手に興味をもって読まれるように表現されているか
面接	実施方法	個人面接 13:00~ 1人10分程度
	持参作品	ポートフォリオ(A4サイズファイル1冊) 自分自身の活動(学校の授業課題で制作した作品以外のもの)や興味を説明できる内容をまとめること
	評価基準	・目的意識、意欲があるか ・質問に対して、素直に自分自身の言葉で意思を表現できているか

■ 共創デザイン学科

専 門 試 験	科目・時間	伝達表現 10:00~12:00 (2時間) 与えられた環境課題に対する解決方法のアイデアを所定用紙に可視化する *可視化の方法は、図、イラスト、キーワード（簡単な単語）、文章など自由。
	持参用具	筆記用具（カラーペン、色鉛筆などの使用も可とし、色数は自由とする） ★所定用紙（A3サイズ）は大学で用意します。
	評価基準	・出題内容の主旨を理解し、複数の事柄を抽出し、分類ができているか ・自分なりの表現手法で、わかりやすく伝えることができているか
面 接	実施方法	面接（資料持参） 13:00~ 受験生1~3人程度 1組15~20分程度
	持参資料	ポートフォリオ（A4サイズ以上のファイル1冊） クラブやボランティア活動の記録、留学経験、自身で制作したデザイン・アート作品・デッサンの写真など、自分自身の活動を説明できるようにまとめる ※希望者は実物作品（自身で運べるもの3点以内）の持参も可とする
	評価基準	・志望理由が明確であるか ・質問の主旨を理解し、自分の考えを的確な言葉で伝えることができているか ・外国での経験を踏まえ、自分にしかできないこと、自分の得意とすることを伝えることができているか ・共創デザイン学科の学びに意欲的か

受験番号	※記入しないこと
------	----------

志願者身上書

志 願 先		学 科		専 攻 ・ 領 域		
フリガナ				生 年 月 日	年 月 日	
氏 名				(西暦)	(歳)	
本人現住所 (国内連絡先)		〒				
		TEL				
		E-mail				
学 歴	学 校 名		国 名	在 学 状 況		修業期間
	国立・公立・市立・私立			(西 暦)		
	小学校			年 月	卒業	年
	国立・公立・市立・私立			年 月	入学・転入学・編入学	年
				年 月	転出・中退・卒業・見込	ヵ月
	国立・公立・市立・私立			年 月	入学・転入学・編入学	年
				年 月	転出・中退・卒業・見込	ヵ月
	国立・公立・市立・私立			年 月	入学・転入学・編入学	年
				年 月	転出・中退・卒業・見込	ヵ月
	国立・公立・市立・私立			年 月	入学・転入学・編入学	年
				年 月	転出・中退・卒業・見込	ヵ月
	保証人 (保護者等)	氏 名				本人との続柄
現住所						
		TEL				
渡 航 理 由						

受験番号	※記入しないこと
------	----------

志 願 調 書

※ A 4 サイズの用紙に片面印刷して使用し、本人の直筆で記入してください。

フリガナ		志 願 先	学科
氏 名			専攻・領域

下記の枠内に簡潔に書いてください。

●本学を志望した理由は何ですか？

--

●本学科（専攻・領域）を志望した理由は何ですか？

--

●志願するにあたって、どのような勉強をしましたか？

--

●入学後、学びたい専門分野（専攻・領域等）は何ですか？

--

●卒業後に就きたいと思う職業、したいと思う活動等は何ですか？

--

2027 年度 大学 特別選抜（外国人留学生）

出願登録期間*	書類送付締切日	1次結果発表日	試験日	合格発表日	入学手続締切日
9月1日(火) 9月13日(日)	9月14日(月) 必着	10月22日(木)	11月22日(日)	12月1日(火) 13:00	12月15日(火)

*出願登録の時間は初日 10:00～最終日 13:00 までです。

入学者選抜方針

美術・デザイン等に深い興味を持ち、日本の文化に触れ、日本で学ぶ事を強く希望する、コミュニケーション力の高い人材を求めます。

選考方法

1次試験においては提出書類を基に総合判定します。1次試験合格者は2次試験において、芸術学部で求められる「専門的基礎技能」「意欲・目的意識」「日本語力」をみるため、専門試験、面接を実施し、それらの審査結果および1次試験結果により総合的に判定します。

出願

- 「出願手順」に従って出願登録を完了し、印刷した必要書類とその他の提出書類を定められた期間内に郵送してください。

出願資格

日本国籍を有しない（日本国の永住許可を得ていない）方で、次の①または②に該当し、入学後、授業を受けるのに支障のない日本語能力を有する、2027年4月1日に満18歳に達している女子に限ります。

- ①外国において正規の教育制度に基づく学校教育12年の課程を修了または2027年3月31日までに修了見込みの方で、自国において大学入学資格を取得または取得見込みの方
※12年の課程のうち「日本国内外にある日本の教育制度に基づく学校」に通っていた期間があり、提出する「出身学校の卒業または修了（見込）証明書」および「学業成績証明書」が当該学校発行である場合、出願資格はありません。
- ②外国において国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCE Aレベル、国際Aレベル、欧州バカロレア資格のいずれかを取得した方

※外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格し、2027年4月1日に満18歳に達している方を含みます。

※国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した方を含みます。

※出願資格に不明な点があるときは、8月5日までに女子美入試センターに確認してください。

※2027年4月1日までに本学で学ぶために支障のない在留資格を取得することができない場合、合格しても在籍できません。

出願要件

日本語能力が以下の①または②のいずれかに該当すること。

- ①日本学生支援機構が運営する「日本留学試験（EJU）」の「日本語」で、読解（200点）＋ 聴解・聴読解（200点）計400点満点中200点以上を取得していること。
*2024年11月、2025年6月、11月、2026年6月実施のいずれかの試験を対象とします。
- ②国際交流基金・日本国際教育支援協会が運営する「日本語能力試験（JLPT）」において、N2以上に合格していること。
*2024年12月、2025年7月・12月、2026年7月実施のいずれかの試験を対象とします。

<参考>

授業を受けるのに支障のない日本語能力とは、国際交流基金・日本国際教育支援協会が運営する「日本語能力試験（JLPT）」N1合格程度、日本学生支援機構が運営する「日本留学試験（EJU）」の「日本語」科目の得点が「読解・聴解・聴読解」400点満点中320点以上「記述」50点満点中40点以上（レベルA）程度です。

出願上の注意

- 出願登録完了後の変更は認められませんので、入力の際は十分に確認してください。
- 一度納入された検定料および受理した提出書類は返還いたしません。
- 登録完了後、定められた期日までに必要書類の提出がなかった場合は失格となります。
失格となった場合も検定料の返金はできませんので、書類送付締切日に注意してください。
- 美術学科に出願する場合は、同学科内で第2志望の専攻を申請することができます。
第2志望を申請する方は出願登録時に申請してください。（登録完了後の申請は受付けません）
- 第2志望の可否は、2次試験において第1志望先の試験結果により判定します。第2志望を申請した方は第1志望が不合格でも、第2志望で合格する場合があります。
- 「出入国管理および難民認定法」による「留学」の在留資格にて本学に入学希望の方は、在学期間中に必要となる「学費」「生活費」などの経費支弁能力を有することが入学許可の要件になります。
経費支弁能力がないと判断された場合、合格しても入学を許可できません。
*年間300万円以上の経費支弁能力が確認できること。
*家計を支えている方（父・母等）が主として使っている銀行口座の残高が100万円程度以上であること。
- 既に「留学」の在留資格で日本国内の日本語教育機関等（日本語学校・専門学校等）に在籍している方は、当該機関での出席率が80%未満で、合理的理由（入院など）がない場合、合格しても入学を許可できない可能性があります。
- 出願資格を取得見込みの方で、2027年4月1日までに取得できなかった場合は、合格しても入学することはできません。
- 受験番号（8桁）は受験票でお知らせします。受付番号とは異なります。
- 登録時に入力されたアドレスは、以後必要に応じて本学から連絡をする際にも使用しますので、ドメイン（@venus.joshibi.jp）を受信指定してください。
迷惑メール対策等により、通常の受信ボックスから確認ができない場合や、メール自体が届かない場合がありますので注意してください。
- 「一般社団法人 日中亜細亜教育医療文化交流機構」が主催する JPUE（日本大学連合学力試験）一次通過者は、指定の留学前準備講座を受講し事前課題を達成することで、事前に申請した専攻・領域の特別選抜（外国人留学生）試験当日に実施する専門試験・面接試験を免除します。
なお、第2志望を申請することはできません。
- 登録時に入力された住所は、合格した場合の通知送付に使用します。入力内容に誤りがある場合は通知が届きませんので、入力の際は十分に確認してください。
住所は日本語表記で入力し、マンション名や部屋番号がある場合は必ず記入してください。また、友人や親戚の家を住所とする場合、必ず住所の後ろに「〇〇様方」と入力してください。（〇〇＝友人や親戚の方の氏名）
- 日本国外から出願する方は「出願手順」の次ページ「日本国外から出願する方へ」を参照してください。

検定料

50,000 円

※「[検定料・減額制度](#)」をご参照ください。

※日本国外から出願する方は「出願手順」に従い、クレジットカードでお支払いください。

提出書類

*書類を提出する前に「対象者」欄を確認し、左の確認欄で不足書類が無いかをチェックしてください。

*確認欄がグレーの書類は、該当する方のみが提出する書類です。

*記入が必要な提出書類には黒のボールペンを使用してください。(消せる筆記具は使用不可)

[illegible]

■美術学科

●洋画専攻
A4サイズ of 用紙 (片面) 10 枚で、表紙 (本学所定) を付けてください (表紙は指定枚数に含まない)。 * ファイルには入れないこと。 * 用紙 1 枚につき作品写真は 1 点とすること。複数の作品写真を 1 枚にまとめないこと * 以下の作品写真を含めて作成してください デッサン 2 点以上、着彩 (油彩、アクリル、水彩など) 3 点以上、その他これまでの活動内容が分かる写真などを含めてください。
●日本画専攻
A4サイズ of 用紙 (片面) 10 枚で、表紙 (本学所定) を付けてください (表紙は指定枚数に含まない)。 * ファイルには入れないこと。 * 着彩作品写真 (専門試験に準ずる作品) 3 点以上、自由に制作した作品写真 (作品サイズを記入すること) 2 点以上、鉛筆デッサン作品写真 2 点以上、その他これまでの活動内容が分かる写真などを含めてください。
●立体アート専攻
A4サイズ of 用紙 (片面) 10 枚程度で、表紙 (本学所定) を付けてください (表紙は指定枚数に含まない)。 * ファイルには入れないこと。 * 立体作品写真 3 点以上、デッサン作品写真 3 点以上、その他これまでの活動内容が分かる写真などを含めてください。
●美術教育専攻
A4サイズ of 用紙 (片面) 10 枚で、表紙 (本学所定) を付けてください (表紙は指定枚数に含まない)。 * ファイルには入れないこと。 * これまでに制作した作品 (油彩、アクリル、水彩、デッサン、クロッキーなど) の写真で構成してください。
●国際芸術文化専攻
以下の課題で A4 サイズ of 用紙 に日本語 (手書き) で 600 字程度のレポートを作成し、表紙 (本学所定) を付けてください。 課題: 「なぜ留学先に日本を選んだのか。」

■デザイン・工芸学科

●全専攻
A4サイズ of 用紙 (片面) 10 枚で、表紙 (本学所定) を付けてください (表紙は指定枚数に含まない)。 * ファイルには入れないこと。 * 作品のなかに必ず鉛筆デッサン 3 点を含めてください。

■アート・デザイン表現学科

- メディア表現領域
- ヒーリング表現領域
- ファッション表現領域

A4サイズ用の紙（片面）10枚で、表紙（本学所定）を付けてください（表紙は指定枚数に含まない）。
 ＊ファイルには入れないこと。
 ＊作品のなかに必ず鉛筆デッサン3点を含めてください。

- スペース表現領域
- クリエイティブ・プロデュース表現領域

A4サイズ用の紙（片面）3～10枚で、表紙（本学所定）を付けてください（表紙は指定枚数に含まない）。
 ＊ファイルには入れないこと。
 ＊専門試験について鉛筆デッサン選択者は、鉛筆デッサン3点を含む作品の写真を入れて作成してください。
 文章表現選択者は、志望理由を400字程度で記載し、加えて学内外でのこれまでの活動について文章や写真等で紹介する内容で作成し提出してください。

■共創デザイン学科

A4サイズ用の紙（片面）5～10枚で、表紙（本学所定）を付けてください（表紙は指定枚数に含まない）。
 ＊ファイルには入れないこと。
 ＊自分自身の活動を説明できる内容をまとめた資料
 （デッサンやイラスト、アート作品、写真のほか、部活動、ボランティア活動、留学など自分が経験したことをまとめる）

提出書類に関する注意

- 証明書類は発行後3ヶ月以内の原本を提出してください。原本が1部しかない場合は、出身学校による原本証明済みのコピーを提出することも可能です。（日本語学校による原本証明は認めません。）
 ただし、提出書類「2」の証明書類については、卒業後に発行された原本であれば3ヶ月以内でなくても構いません。
- 証明書類が日本語または英語以外の言語で作成されている場合は、証明書の原本に大使館または国で認可された公証役場で公証を受けた翻訳文（日本語または英語）を添付してください。
- 誓約書にて、提出する作品、ポートフォリオおよびそこに含まれる作品、自己アピールシート、論文、資料等について、全て自身が作成したものに相違ないことを誓約していただきます。
- 提出書類に虚偽の記載があることが判明した時は、入学許可を取り消すことがあります。
- 提出された書類は原則返却いたしません。
- 日本語能力を確認する書類として2026年7月実施のJLPTの「認定結果及び成績に関する証明書」を提出予定の方は、発行が書類送付締切日までに間に合わない可能性があります。
 必ず8月下旬にJLPTの受験結果を確認の上、速やかに実施機関へ「認定結果及び成績に関する証明書」の発行を申請してください。書類送付締切日までに証明書の原本を提出できない場合は、一時的な代替措置として、2026年7月実施のJLPTを受験したことが確認できる書類を、出願時の提出書類に同封してください。
 なお、後日定める期日までに証明書の原本を提出できない場合は、失格となります。詳細は、提出書類受付後に本学より連絡します。

書類送付上の注意

- 提出書類は出願登録時に出力した「封筒貼付用宛名シート」を貼付した任意の角2封筒に入れて、必ず郵便局窓口から簡易書留（速達）で郵送してください。
- 日本国外から提出書類を郵送する場合は、EMS（国際スピード郵便）など、ご自身で配達状況が追跡できるものを利用して、必ず定められた期日までに届くようにしてください。
- 期日までに届かない場合は失格となります。
- 特別な事情により持参提出を希望する場合は、事前に女子美入試センターまでご相談ください。

書類送付先

〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台1900 女子美入試センター

※アート・デザイン表現学科、共創デザイン学科の試験場とは異なりますので注意してください。



受験

配点 全学科共通 1次試験【提出書類】100点 + 2次試験【専門試験】100点・【面接】100点 計300点

- 1次試験合格者は2次試験を受験することができます。

■ 1次試験

審査 提出書類により総合的に判定します。

評価基準

- ・入学に際して必要な基礎学力を備えているか
- ・専門的基礎技能を有しているか
- ・修学意欲、目的意識について、適切な日本語で表現できているか

結果発表

- ・1次試験合格者全員に1次試験合格通知を郵送します。合格できなかった方への通知はありません。
- ・結果発表時間より、インターネットによる「合否案内」システムでの簡易発表を行います。
※後述の「合格発表」を参照してください。
- ・結果について本学へ直接の電話によるお問い合わせには、お答えできません。
- ・学内の掲示発表は行いません。

■ 2次試験

試験場 学科により異なります

■ 美術学科、デザイン・工芸学科	相模原キャンパス（神奈川）
■ アート・デザイン表現学科、共創デザイン学科	杉並キャンパス（東京）

受験上の注意

- 咳などの症状がある場合、大学構内では常時マスクを着用してください。
- 試験実施の前日はキャンパス内に入ることできません。
- 試験当日は、A4サイズの用紙に印刷した受験票を必ず持参してください。
- 日本国外から出願された方は、入国査証・証印をコピーした紙に受験番号と氏名を記入し、試験当日の朝、受付に必ず提出してください。
- 本要項に記載している内容以外の伝達事項は、主として受験票と当日の配布プリントに記載します。
- 正門の開門時間は**8:30**です。遅くとも試験開始30分前（洋画専攻は8:40）には来校してください。
- 専門試験は、試験開始に遅刻しても入場できますが、所定の試験終了時間を超えて受験することはできません。
- 大学構内での移動、試験会場への入場・退場は係員の指示に従ってください。
- 専門試験または面接のいずれかを受験しなかった場合、また専門試験の選択科目を届け出た科目で受験しなかった場合は失格となります。
- 失格後の受験は一切認めません。
- 専門試験の用紙、画板、カルトン等は本学で用意したものを使用してください。
- キャンパス内および周辺には駐車できません。
- 試験当日、学生食堂は営業していません。昼食を持参してください。
- 特別な理由がない限り、付き添いの方の学内への立ち入りはできません。
- 出願後に怪我等の理由で、受験の際に何らかの配慮が緊急に必要となった場合は、速やかに女子美入試センターまで連絡してください。
- 試験場に向かう途中で事故・事件に巻き込まれた場合など、やむを得ない事由により試験場への到着が遅れる場合は、入試当日の緊急連絡先まで連絡してください。

● 洋画専攻		
専門試験	科目・時間	鉛筆デッサンまたは木炭デッサン 9:30～12:30 (3時間) 与えられた静物を自由に配置し鉛筆または木炭でデッサンする ※試験開始前に持参作品搬入を行うため遅くとも8:40までには来校してください。
	持参用具	[鉛筆デッサン] 鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具 ★B3ボード(画用紙)は大学で用意します。 [木炭デッサン] 木炭、消具、その他必要な用具 ★B3木炭紙、木炭用下敷き用紙、フィキサチーフ、カルトン、イーゼルは大学で用意します。
	評価基準	・観察に基づく描写ができているか ・画面内での配置、構図がバランス良く表現できているか ・全体と細部の関係、諧調表現等の描写力に基づく表現ができているか
面接	実施方法	面接(作品持参) 13:30～ 1～3人 1組15～20分程度
	持参作品	・作品2点 静物画(15号、着彩、油彩またはアクリル)1点 自由なテーマで制作した作品(15号～30号 描画材、支持体は自由)1点 ・ポートフォリオ(A4)1冊 油彩、アクリル、水彩、デッサン、クロッキーなどの作品写真および実物作品10～30枚程度をA4サイズのファイルにまとめたもの
	評価基準	・持参作品と資料を基に、これまでに修学したこと、発想の起点、これからの目的を明確に説明できるか ・学習意欲・創作意欲はあるか ・自分の意思を自分自身の言葉で表現できるか

● 日本画専攻		
専門試験	科目・時間	水彩画 9:30～12:30 (3時間) 個別に与えられたモチーフを自由に構成し水彩画を描く
	持参用具	水彩用具一式、鉛筆、消具(水彩絵の具の透明・不透明は自由 アクリル絵の具も可) ★F10号水彩用紙、画板は大学で用意します。
	評価基準	・水彩画による表現力、描写力があるか ・画面構成、空間表現がバランス良く表現できているか ・モチーフの形態、質感の相違、色彩などを的確に観察し表現できているか
面接	実施方法	面接(作品持参) 13:30～ 1～3人 1組10～20分程度
	持参作品	作品3点(10～20号)、作品資料ファイル1冊
	評価基準	・志望理由は明確か ・目的意識や学習・創作意欲はあるか ・自分の意思を自分自身の言葉で表現できるか

●立体アート専攻

専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン 9:30~12:30 (3時間) 与えられたモチーフを自由に配置し鉛筆デッサンする
	持参用具	鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具 ★B3ボード(画用紙)、下書き用白色紙、カルトン、イーゼルは大学で用意します。
	評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・ものをよく観察し素直に表現できているか ・形のバランス、構図、質感、量感をとらえて表現できているか
面接	実施方法	面接 1~3人 13:30~ 1組15~20分程度
	持参作品	作品写真ファイル1冊 (立体作品、スケッチ、クロッキーなどの写真をA4サイズのファイルにまとめたもの) ※上記に加えて、手で持ち運べる程度のサイズの立体作品を持参することも可。
	評価基準	・志望理由は明確か ・目的意識や創作意欲はあるか ・質問を素直に受け止め、自分の意思を自身の言葉で表現できているか

●美術教育専攻

専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン 9:30~12:30 (3時間) 与えられた静物を自由に配置し、鉛筆でデッサンをする
	持参用具	鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具 ★B3ボード(シリウス紙)は大学で用意します。
	評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・よく観察し、素直に表現できているか ・形のバランス、構図、質感、量感をとらえて表現できているか
面接	実施方法	面接 1~3人 13:30~ 1組15~20分程度
	持参作品	基本的に持参作品は必要としないが、希望者は作品を持参してもよい
	評価基準	・志望理由は明確か ・創作意欲や学業に対する意欲はあるか ・質問を的確に受け止め、自分の言葉で明確に表現できているか

●国際芸術文化専攻

専門試験	科目・時間	小論文 9:30~11:30 (2時間) 与えられた課題に関して文章で表現する *辞書の使用不可
	持参用具	筆記具 ★原稿用紙、下書き用紙は大学で用意します。
	評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・基礎的な表現技術を持っているか ・論理性を有しているか
面接	実施方法	面接 1~3人 12:30~ 1組15~20分程度
	持参作品	基本的に持参作品は必要としないが、希望者は作品を持参してもよい
	評価基準	・志望理由が明確であるか ・目的意識、学習意欲があるか ・自分の意志を自分自身の言葉で表現できるか

■デザイン・工芸学科

- ヴィジュアルデザイン専攻
- プロダクトデザイン専攻
- 環境デザイン専攻

専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン 9:30~12:00 (2時間30分) 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置し、鉛筆デッサンする
	持参用具	鉛筆デッサン用具一式(パネル、カルトン、フィキサチーフ、クロッキー帳、鏡、音の出るものなど周囲に影響を及ぼすものは使用不可) ★B3ボード(画用紙)、下描き用白色紙1枚は大学で用意します。
	評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・ものをよく観察して理解し、表現できているか ・構図等、バランス良く表現できているか
面接	実施方法	面接(作品持参) 13:00~ 1~3人 1組15~20分程度
	持参作品	持参作品は数点とし、平面・立体など自由とします。 ・必ず本人が制作した作品であること ・一般選抜の専門試験に準じた作品でなくてもよい ・見やすい形式(現物・写真)で持参すること
	評価基準	・志望理由が明確であるか ・目的意識や学習・創作意欲があるか ・質問を素直に受け止め、自分の意志を自分自身の言葉で表現できているか

●工芸専攻

専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン 9:30~12:00 (2時間30分) 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置し、鉛筆デッサンする
	持参用具	鉛筆デッサン用具一式(パネル、カルトン、フィキサチーフ、クロッキー帳、鏡、音の出るものなど周囲に影響を及ぼすものは使用不可) ★B3ボード(画用紙)、下描き用白色紙1枚は大学で用意します。
	評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・ものをよく観察して理解し、表現できているか ・構図等、バランス良く表現できているか
面接	実施方法	面接(作品持参) 13:00~ 1~4人 1組15~30分程度
	持参作品	静物デッサン(B3サイズ)2点 作品資料(A4クリアファイルに鉛筆デッサン5点以上含め10点) ・必ず本人が制作した作品であること ・一般選抜の専門試験に準じた作品でなくてもよい
	評価基準	・志望理由が明確であるか ・目的意識や学習・創作意欲があるか ・質問を素直に受け止め、自分の意志を自分自身の言葉で表現できているか

■アート・デザイン表現学科

●メディア表現領域		
専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン 9:30～12:00 (2時間30分) 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置、構成して、鉛筆デッサンする
	持参用具	鉛筆（硬軟各種）、消具、その他必要な用具（パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可） ★B3ボード（シリウス紙）、下描き用白色紙1枚は大学で用意します。
	評価基準	・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成等、バランス良く表現できているか
面接	実施方法	面接（作品持参） 13:00～ 1～3人 1組15～20分程度
	持参作品	持参作品は数点とし、平面・立体・ポートフォリオなど自由とします。
	評価基準	・目的意識、意欲があるか ・質問に対して、素直に自分自身の言葉で意思を表現できているか

●ヒーリング表現領域		
専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン 9:30～12:00 (2時間30分) 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置、構成して、鉛筆デッサンする
	持参用具	鉛筆（硬軟各種）、消具、その他必要な用具（パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可） ★B3ボード（シリウス紙）、下描き用白色紙1枚は大学で用意します。
	評価基準	・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成等、バランス良く表現できているか
面接	実施方法	面接（作品持参） 13:00～ 1～3人 1組15～20分程度
	持参作品	持参作品は数点とし、平面・立体・ポートフォリオなど自由とします。
	評価基準	・目的意識、意欲があるか ・質問に対して、素直に自分自身の言葉で意思を表現できているか

●ファッション表現領域		
専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン 9:30～12:00 (2時間30分) 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置、構成して、鉛筆デッサンする
	持参用具	鉛筆（硬軟各種）、消具、その他必要な用具（パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可） ★B3ボード（シリウス紙）、下描き用白色紙1枚は大学で用意します。
	評価基準	・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成、配置等が、バランス良く表現できているか ・モチーフの置かれた空間（奥行き、高さ、広がり）が感じられる表現となっているか
面接	実施方法	面接（作品持参） 13:00～ 1～3人 1組15～20分程度
	持参作品	持参作品は数点とし、平面・立体・ポートフォリオなど自由とします。
	評価基準	・目的意識、意欲があるか ・質問に対して、素直に自分自身の言葉で意思を表現できているか ・日本語でのコミュニケーション能力が充分か

●スペース表現領域		
専門試験	科目・時間	鉛筆デッサンまたは文章表現 【鉛筆デッサン】 9:30～12:00 (2時間30分) 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置、構成して、鉛筆デッサンする 【文章表現】 9:30～11:30 (2時間) 与えられたモチーフから連想することを文章で表現する
	持参用具	【鉛筆デッサン】 鉛筆（硬軟各種）、消具、その他必要な用具（パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可） ★B3ボード（シリウス紙）、下書き用白色紙1枚は大学で用意します。 【文章表現】 筆記用具 ★原稿用紙、下書き用白色紙は大学で用意します。
	評価基準	【鉛筆デッサン】 ・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成等、バランス良く表現できているか ・モチーフの置かれた空間（奥行き、高さ、広がり）が感じられる表現となっているか 【文章表現】 ・伝えようとしている考えや思いが、読み手に興味をもって読まれるように表現されているか
面接	実施方法	面接 13:00～ 1～3人 1組15～20分程度
	持参作品	持参作品は数点とし、平面・立体・ポートフォリオなど自由とします。
	評価基準	・目的意識、意欲があるか ・質問に対して、素直に自分自身の言葉で意思を表現できているか ・日本語でのコミュニケーション能力が充分か

●クリエイティブ・プロデュース表現領域		
専門試験	科目・時間	鉛筆デッサンまたは文章表現 【鉛筆デッサン】 9:30～12:00 (2時間30分) 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置、構成して、鉛筆デッサンする 【文章表現】 9:30～11:30 (2時間) 与えられたモチーフから連想することを文章で表現する
	持参用具	【鉛筆デッサン】 鉛筆（硬軟各種）、消具、その他必要な用具（パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可） ★B3ボード（シリウス紙）、下書き用白色紙1枚は大学で用意します。 【文章表現】 筆記用具 ★下書き用白色紙は大学で用意します。
	評価基準	【鉛筆デッサン】 ・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成等、バランス良く表現できているか 【文章表現】 ・伝えようとしている考えや思いが、読み手に興味をもって読まれるように表現されているか
面接	実施方法	個人面接 13:00～ 1人10分程度
	持参作品	ポートフォリオ（A4サイズファイル1冊） 自分自身の活動（学校の授業課題で制作した作品以外のもの）や興味を説明できる内容をまとめること
	評価基準	・目的意識、意欲があるか ・質問に対して、素直に自分自身の言葉で意思を表現できているか

■ 共創デザイン学科

専門試験	科目・時間	伝達表現 10:00～12:00 (2時間) 与えられた環境課題に対する解決方法のアイデアを所定用紙に可視化する ＊可視化の方法は、図、イラスト、キーワード（簡単な単語）、文章など自由。
	持参用具	筆記用具（カラーペン、色鉛筆などの使用も可とし、色数は自由とする） ★所定用紙（A3サイズ）は大学で用意します。
	評価基準	・出題内容の主旨を理解し、複数の事柄を抽出し、分類ができているか ・自分なりの表現手法で、わかりやすく伝えることができているか
面接	実施方法	面接（資料持参） 13:00～ 1～3人 1組15～20分程度
	持参資料	ポートフォリオ（A4サイズ以上のファイル1冊） クラブやボランティア活動の記録、留学経験、自身で制作したデザイン・アート作品、デッサンの写真など、自分自身の活動を説明できるようにまとめる ※希望者は実物作品（自身で運べるもの3点以内）の持参も可とする
	評価基準	・志望理由が明確であるか ・質問の主旨を理解し、自分の考えを的確な言葉で伝えることができているか ・日本で学ぶことの意義について自分の考えを持っているか ・共創デザイン学科の学びに意欲的か



2次募集について

出願登録期間*	書類送付締切日	1次結果発表日	試験日	合格発表日	入学手続締切日
1月25日(月) ↓ 2月3日(水)	2月4日(木) 必着	2月25日(木)	3月15日(月)	3月17日(水) 18:00	3月26日(金)

*出願登録の時間は初日 10:00～最終日 13:00 までです。

実施の有無については、2026年12月18日（金）以降に本学WEBサイトで発表します。

[出願に際しての注意]

- 実施の有無は専攻等により異なります。志望先の2次募集実施の有無を確認して出願してください。
- 実施する場合の選抜方針、選考方法、出願資格、提出書類、出願方法、検定料等は全て同様です。
- 合格発表日から入学手続締切日までの期間が短いため注意してください。
- 2027年4月1日までに本学で学ぶために支障のない在留資格を取得することができない場合、合格しても在籍できません。

2次募集では、合格発表後の「留学」の在留資格の新たな取得は4月1日までに間に合わないため、2次募集に出願する方は出願時に既に「留学」の在留資格を有している必要があります。

※「短期滞在」で日本に入国した場合、原則として日本国内で在留資格を変更することは認められません。

受験番号	※記入しないこと
------	----------

外国人留学生入学志願者調書

フリガナ				生 年 月 日 (西暦)	年 月 日 (歳)								
氏 名				国 籍									
Name													
日本での 現 住 所	日 本 語	〒 TEL E-mail											
本国の 住 所	英 語	TEL											
現 在 の 在 留 資 格			在留期間	年 月 日 ~ 年 月 日まで	※該当するものに丸をつけてください。 私 費 ・ 国 費								
保証人 (保護者等)	フリガナ				年 齢	歳							
	氏 名				国 籍								
	Name												
	住 所 (英 語)	※本国の住所と異なる場合のみ記入してください。 TEL											
日本語の 理解について	1. 日本語はどこで学びましたか a. 日本語学校 (学校名: 在籍中・修了) b. その他 ()												
	2. 日本語の「読む」「書く」「聞く」「話す」はどの程度できていると思いますか ※該当する箇所に丸をつけてください。												
		できない	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	できる
	a. 読む												
	b. 書く												
c. 聞く													
d. 話す													
3. 日本留学試験 (EJU) について a. 受験した (年 月) (科目:) b. 受験していない													
4. 日本語能力試験 (JLPT) について a. 受験した (年 月 レベル: N) 合格 ・ 不合格 b. 受験していない													

2027年度 大学 特別選抜（外国人留学生）

受験番号	※記入しないこと
------	----------

氏 名	
-----	--

来 日 前	学 歴	教育課程	学校名（正規の修業年限）		入学・卒業の年月（西暦）	
		初等教育 （小学校）	(年)		年	月入学
					年	月卒業
		中等教育 （中学校）	(年)		年	月入学
					年	月卒業
		中等教育 （高等学校）	(年)		年	月入学
					年	月卒業
			(年)		年	月入学
					年	月
					年	月入学
年	月					
			年	月入学		
			年	月		
			年	月入学		
			年	月		
職 歴 等	勤務先・研究機関等（職 名）		在職年数	在 職 期 間		
	()		年	自	年 月	
	()		年	至	年 月	
来 日 後	日本に来た年月		年	月	来日の目的 a. 留学 b. 就労 c. その他 ()	
	来日後入学した学校名				年	月 入学
					年	月 修了・在学中・()
					年	月 入学
					年	月 修了・在学中・()
				年	月 入学	
				年	月 修了・在学中・()	
	職 歴 等	勤務先・研究機関等（職 名）		在職年数	在 職 期 間	
		()		年	自	年 月
		()		年	至	年 月

上記の記載に虚偽があったときは、入学許可を取り消すことがあります。

- (注) 1. 学校名等は正式名称を記入してください。
2. アルバイトは、職歴に含めないでください。

受験番号	※記入しないこと
------	----------

経費支弁書

女子美術大学に留学する間の経費支弁方法について、該当する経費支弁者に[□]し、年間金額を明記してください。
学費を含む1年間の生活費を十分に賄える合計金額を記載してください。

※学費は、学生募集要項の「入学手続」項目内の学費一覧を参照してください。
※生活費については、本学webサイトにある「進学のための“お金”と“住まい”のガイドブック」等を参考にしてください。
(右QRコード参照) <https://joshibi.libra.jpn.com/#/content/92>



経 費 支 弁 方 法	該当する経費支弁者にチェック [□] （複数回答可）				金額（年額）	
	☐ 本人				_____ 万円/年	
	☐ 親族（志願者との関係：_____）				_____ 万円/年	
	フリガナ		年齢		_____ 万円/年	
	経費支弁者氏名		歳			
	Name		国籍			
	住 所 (英語)		TEL			
	☐ 政府または財団 (奨学金名称：_____)				_____ 万円/年	
	☐ その他 (詳細：_____)				_____ 万円/年	
	合計				_____ 万円/年	

※必要な生活費の額は、それぞれの生活スタイルによって異なりますが、合計金額は、300万円以上を目安に記入してください。

上記に記載した内容のとおり経費支弁することを誓約します。

年 月 日

受験者氏名（本人署名）：_____

※受験者氏名は、提出書類に記入の氏名もしくはパスポートの署名を記入してください。

受験番号	※記入しないこと
------	----------

志 願 調 書

※ A 4 サイズの用紙に片面印刷して使用し、本人の直筆で記入してください。

フリガナ		志 願 先	学科
氏 名			専攻・領域

下記の枠内に簡潔に書いてください。

● 本学を志望した理由は何ですか？

● 本学科（専攻・領域）を志望した理由は何ですか？

● 志願するにあたって、どのような勉強をしましたか？

● 入学後、学びたい専門分野（専攻・領域等）は何ですか？

● 卒業後に就きたいと思う職業、したいと思う活動等は何ですか？

受験番号	※記入しないこと
------	----------

作品資料またはレポート（表紙）

＊ホチキスなどで固定せず、左上部をゼムクリップで留めて提出してください。

フリガナ	
氏 名	

氏 名		受験番号	※記入しないこと
-----	--	------	----------

パスポート・在留カード コピー貼付用紙

以下から該当するもの1つに☑をしてください。⇒ の指示に従って、必要書類を提出してください。

☐ 日本国内に在住し、在留カードがある。 * 在留カードに記載された住所と出願登録の住所は同じであること	⇒	①②③を貼り付けて提出
☐ 日本国内に在住しているが、在留期間更新許可申請中である。 * 在留カードに記載された住所と出願登録の住所は同じであること	⇒	①を貼り付けて申請中であることが分かる書類のコピー(A 4)を添えて提出
☐ 短期滞在等で在留カードが無い。	⇒	①④を貼り付けて提出
☐ 日本国外在住で、出願時に日本に入国していない。	⇒	①を貼り付けて提出 * ④は試験当日に持参提出

①パスポート（顔写真ページ）のコピー



②在留カード（表面）のコピー



③在留カード（裏面）のコピー

④パスポートの入国査証・証印ページのコピー
(出願時に提出する場合は「 」枠内に貼り付けること)

2027 年度 大学 一般選抜（A日程）

出願登録期間*	書類送付締切日	試験日	合格発表日	入学手続締切日
1月5日(火) ↓ 1月15日(金)	1月15日(金) 消印有効※	2月1日(月) 2月2日(火)	2月12日(金) 13:00	2月24日(水)

*出願登録の時間は初日 10:00～最終日 13:00 までです。

※日本国外から提出書類を郵送する場合は、締切日必着とします。

入学者選抜方針

「基礎学力」と「学科・専攻・領域の求める専門的基礎技能」がともにバランスのとれた総合的に優秀な人材を求めます。

選考方法

学力試験2科目（国語・英語）および専門試験の合計得点で合否を判定します。ただし、試験科目のうち一定の基準に及ばない科目があるときは、合計得点に関わらず不合格となる場合があります。

出願

- 「出願手順」に従って出願登録を完了し、印刷した必要書類とその他の提出書類を定められた期間内に郵送してください。

出願資格 2027年3月31日までに、次の①～⑧のいずれかに該当もしくは該当する見込みで、美術・デザイン等に深い興味を持ち、本学入学を強く希望する女子に限ります。

- ①学校教育法第1条に定める高等学校（中等教育学校含む）を卒業した方
- ②通常の課程による12年の学校教育（特別支援学校の高等部または高等専門学校の3年次）を修了した方
- ③外国において学校教育における12年の課程を修了した方もしくはこれに準ずる方で文部科学大臣の指定した方
- ④文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した方
- ⑤文部科学大臣が指定した専修学校の高等課程を修了した方
- ⑥高等学校卒業程度認定試験（旧規定による大学入学資格検定含む）に合格した方で、2027年4月1日に満18歳に達している方
- ⑦国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEALレベル、国際Aレベル、欧州バカロレア資格のいずれかを保有する方
- ⑧上記①～⑦のいずれにも該当せず、本学において個別の審査により、高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方

※出願資格⑧については、事前に審査が必要ですので、8月末日までに女子美入試センターへご相談ください。

出願要件 (外国人留学生)

日本の高等学校卒業見込者を除く外国人留学生は、上記に加え以下の①または②のいずれかに該当すること。

- ①日本学生支援機構が運営する「日本留学試験（EJU）」の「日本語」で、読解（200点）＋ 聴解・聴読解（200点）計400点満点中320点以上、記述（50点）は40点以上を取得していること。
＊2025年6月・11月、2026年6月・11月実施のいずれかの試験を対象とします。
- ②国際交流基金・日本国際教育支援協会が運営する「日本語能力試験（JLPT）」において、N1に合格していること。
＊2024年12月、2025年7月・12月、2026年7月実施のいずれかの試験を対象とします。

出願上の注意

- A日程内や本学「一般選抜（共通テスト利用Ⅰ方式）」、「一般選抜（共通テスト利用Ⅱ方式 第Ⅰ期）」と併願することができます。
 - ① A日程内での併願は、専門試験の日時が重複しない専攻等と可能です。
 - ② 「一般選抜（共通テスト利用Ⅰ方式）」での併願は、A日程と同じ専攻等と可能です。また、専門試験の日時が重複しなければ、異なる専攻等とも可能です。
同じ専攻等と併願した場合、専門試験の得点は両方の制度で使用します。
 - ③ 「一般選抜（共通テスト利用Ⅱ方式 第Ⅰ期）」での併願は、実施するすべての専攻等で可能です。
※①、②については、「[併願確認一覧表](#)」にて併願可能な組み合わせを確認してください。
- 出願登録完了後の変更は認められませんので、入力の際は十分に確認してください。
- 一度納入された検定料および受理した提出書類は返還いたしません。
- 登録完了後、定められた期日までに必要書類の提出がなかった場合は失格となります。
失格となった場合も検定料の返金はできませんので、書類送付締切日に注意してください。
- 「出入国管理および難民認定法」による「留学」の在留資格にて本学に入学希望の方は、在学期間中に必要となる「学費」「生活費」などの経費支弁能力を有することが入学許可の要件になります。
経費支弁能力がないと判断された場合、合格しても入学を許可できません。
＊年間300万円以上の経費支弁能力が確認できること。
＊家計を支えている方（父・母等）が主として使っている銀行口座の残高が100万円程度以上であること。
- 既に「留学」の在留資格で日本国内の日本語教育機関等（日本語学校・専門学校等）に在籍している方は、当該機関での出席率が80%未満で、合理的理由（入院など）がない場合、合格しても入学を許可できない可能性があります。
- 出願資格を取得見込みの方で、2027年4月1日までに取得できなかった場合は、合格しても入学することはできません。
- 外国人留学生は、2027年4月1日までに本学で学ぶために支障のない在留資格を取得することができない場合、合格しても在籍できません。
- 受験番号（8桁）は受験票でお知らせします。受付番号とは異なります。
- 登録時に入力されたアドレスは、以後必要に応じて本学から連絡をする際にも使用しますので、ドメイン（@venus.joshibi.jp）を受信指定してください。
迷惑メール対策等により、通常の受信ボックスから確認ができない場合や、メール自体が届かない場合がありますので注意してください。

検定料

30,000 円

※「[検定料・減額制度](#)」をご参照ください。

提出書類

- * 書類を提出する前に「対象者」欄を確認し、左の確認欄で不足書類が無いかをチェックしてください。
- * 確認欄がグレーの書類は、該当する方のみが提出する書類です。
- * 記入が必要な提出書類には黒のボールペンを使用してください。（消せる筆記具は使用不可）

確認	No.	提出書類	対象者	詳細
☐	1	志願票	全員	登録完了後に印刷できます。 * 「出願手順」参照
☐	2	出願資格を証明する書類 および学業成績証明書 ※出願資格により異なります。	出願資格 ①②④ に該当する方 出願資格 ③ に該当する方 (右3種) 出願資格 ⑤ に該当する方 出願資格 ⑥ に該当する方 出願資格 ⑦ に該当する方	調査書（出身学校長作成、開封無効） 被災等の事情により提出が困難な方は、卒業証明書および成績証明書を提出してください。 成績証明書も提出困難な場合は、その事由を記した当該学校からの書類を提出してください。 2つ以上の高校に在籍していた場合、前籍校の調査書を同封もしくは、現在籍校にて前籍校での成績及び出席日数等を転記してください。 出身学校の卒業または修了（見込）証明書（日本語または英語） 日本の高等学校に相当する課程を卒業または修了（見込）であること、およびその在籍期間が確認できる証明書を提出してください。 学業成績証明書（日本語または英語） 日本の高等学校3年間にあたる就学期間と、その期間の成績が記載されているものが必要です。 上記3年間に複数の学校に在学していた場合は、在学した全学校の証明書を提出してください。 飛び級ないし繰り上げ卒業のある方で、上記書類にその事実や理由等の記載がない場合は、そのことを証明する出身学校の書類を添付してください。 学習歴に関する書類 帰国子女の方＝「志願者身上書」（本学所定） 外国人留学生の方＝「外国人留学生入学志願者調査書」（本学所定） 調査書に準ずる書類 提出が困難な場合は、修了（見込）証明書および成績証明書を提出してください。 合格（見込）成績証明書 高等学校で修得した単位による免除科目がある場合は、併せて当該学校の成績証明書を提出してください。英検等、技能審査の合格による免除科目がある場合は、併せて技能審査の合格を証明する書類のコピーを提出してください。 ディプロマおよび成績証明書
☐	3	受験上の配慮事項確認書	合理的配慮を希望される方	事前相談後に本学よりメール送付した確認書に署名し提出してください。 申込・詳細は「お問い合わせ先」を参照してください。
☐	4	在留資格等確認のための書類	日本国籍を有しない方	パスポート・在留カード コピー貼付用紙 （本学所定） 必要書類のコピーを貼り付けて提出してください。
☐	5	日本語能力を確認する書類	外国人留学生 (日本の高等学校等 卒業見込の方は不要)	日本留学試験(EJU)の場合＝ 成績確認書(用紙：A4 サイズ) * 成績が発表されていない場合は受験票のコピー(用紙：A4 サイズ) 日本語能力試験(JLPT)の場合＝ 認定結果及び成績に関する証明書(原本)
☐	6	経費支弁能力を確認する書類	外国人留学生 (「留学」の在留資格 にて入学希望の方)	経費支弁書（本学所定）
☐	7	経費支弁能力を確認する書類	外国人留学生 (「留学」の在留資格 にて入学希望の方)	銀行の残高証明書（日本語または英語） 家計を支えている方（父・母等）が主として使っている銀行のものを提出してください。
☐	8	出席率を確認する書類	外国人留学生 (日本国内の日本語教育 機関等に在籍中の方)	日本国内の日本語教育機関等の出席率証明書（要公印） 出席率が80%未満の場合は、合理的理由（入院など）を明記した証明書を提出してください。

提出書類に 関する注意

- 証明書類は発行後3ヶ月以内の原本を提出してください。ただし、提出書類「2」の証明書類については、卒業後に発行された原本であれば3ヶ月以内でなくても構いません。
- 証明書類が日本語または英語以外の言語で作成されている場合は、証明書の原本に大使館または国で認可された公証役場で公証を受けた翻訳文（日本語または英語）を添付してください。
- 提出書類に虚偽の記載があることが判明した時は、入学許可を取り消すことがあります。
- 提出された書類は原則返却いたしません。

書類送付上の 注意

- 提出書類は出願登録時に出力した「封筒貼付用宛名シート」を貼付した任意の角2封筒に入れて、必ず郵便局窓口から簡易書留（速達）で郵送してください。
- 併願（女子美術大学短期大学部含む）をする場合は、1つの封筒にまとめて送付できます。
 - ＊下記必ず確認すること
 - ・ 併願するものも含めて全ての志願票を同封
 - ・ 「封筒貼付用宛名シート」は1枚を封筒に貼り、他は同封
 - ・ 同一封筒にまとめて送付する場合に限り、提出書類「2」は1通で可
- 日本国外から提出書類を郵送する場合は、EMS（国際スピード郵便）など、ご自身で配達状況が追跡できるものを利用して、必ず定められた期日までに届くようにしてください。期日までに届かない場合は失格となります。
- 特別な事情により持参提出を希望する場合は、事前に女子美入試センターまでご相談ください。

書類送付先

〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台1900 女子美入試センター

※アート・デザイン表現学科、共創デザイン学科の試験場とは異なりますので注意してください。



受験

試験日 2027年2月1日(月)・2月2日(火)

()内は試験場

学 科	専攻・領域	2/1(月)		2/2(火)	
		午前	午後	午前	午後
美術学科	洋画専攻 日本画専攻 立体アート専攻	専門試験 (相模原)		A日程学力試験 (相模原)	
	美術教育専攻 国際芸術文化専攻			A日程学力試験 (相模原)	専門試験 (相模原)
デザイン・工芸学科	全専攻			A日程学力試験 (相模原)	専門試験 (相模原)
アート・デザイン表現学科	全領域			A日程学力試験 (杉並)	専門試験 (杉並)
共創デザイン学科				A日程学力試験 (杉並)	専門試験 (杉並)

試験場 学科により異なります

■美術学科、デザイン・工芸学科 相模原キャンパス(神奈川)

※アート・デザイン表現学科の領域、共創デザイン学科と併願する方は、学力試験を杉並キャンパス(東京)で受験してください。

■アート・デザイン表現学科、共創デザイン学科 杉並キャンパス(東京)

配点 全学科共通 【学力試験】英語 100点・国語 100点 + 【専門試験】300点 計 500点

受験上の注意

- 咳などの症状がある場合、大学構内では常時マスクを着用してください。
- 試験実施の前日はキャンパス内に入ることはできません。
- 試験当日は、A4サイズの用紙に印刷した受験票を必ず持参してください。
受験番号は出願先ごとに異なります。A日程内や、本学芸術学部「一般選抜(共通テスト利用Ⅰ方式)」と併願をした方は、すべての受験票を持参してください。
複数の受験票を印刷する場合は、別々の用紙(A4)に印刷してください。
- 本要項に記載している内容以外の伝達事項は、主として受験票と当日の配布プリントに記載します。
- 正門の開門時間は8:30です。遅くとも試験開始の30分前までには来校してください。
- 大学構内での移動、試験会場への入場・退場は係員の指示に従ってください。
- 試験開始に遅刻しても入場できますが、所定の試験終了時間を超えて受験することはできません。
- 学力試験は試験終了時間まで退場できません。
- 学力試験時間中、受験票のほかに机の上に置けるものは、黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴムのみです。
- 英語の試験室内では英単語・英文がプリントされている服等を着用しないでください。
- アート・デザイン表現学科の領域、共創デザイン学科を受験する方(併願を含む)は、学力試験を杉並キャンパス(東京)で受験してください。
- 併願する場合の学力試験は、受験番号の数字が大きい専攻等で受験してください。
- 洋画専攻・立体アート専攻の専門試験は、イーゼルを使用して行いますが、それ以外の専攻等は机上で試験です。
- 専門試験の用紙、画板、カルトン、イーゼル等は、大学で用意したものを使用してください。
- 1科目でも受験しない科目がある場合、また専門試験の選択科目を届け出た科目で受験しなかった場合は失格となります。
- 失格後の受験は一切認めません。
- キャンパス内および周辺には駐車できません。
- 試験当日、学生食堂は利用できません。昼食を持参してください。
- 特別な理由がない限り、付き添いの方の学内への立ち入りはできません。
- 出願後に怪我等の理由で、受験の際に何らかの配慮が緊急に必要な場合は、速やかに女子美入試センターまで連絡してください。
- 試験場に向かう途中で事故・事件に巻き込まれた場合など、やむを得ない事由により試験場への到着が遅れる場合は、入試当日の緊急連絡先まで連絡してください。

試験科目等 【学力試験】

■ **全学科共通** ※出題範囲は大学入学共通テストの出題範囲に準ずる。

実施日時	2/2 (火) 英語 9:30～10:30 (60分) 国語 11:10～12:10 (60分)
試験科目	英語 (英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、論理・表現Ⅰ) 国語 (現代の国語、言語文化 <古典を含む>)

【専門試験】

■ 美術学科

● 洋画専攻	
実施日時	2/1 (月) 9:30～12:30、13:30～16:30 (6時間)
試験科目	静物画 あらかじめ設置されているモチーフ (静物) を自由に描く ① アイデアスケッチ (下描き) ② 油彩、木炭、鉛筆のうちからいずれか1つを選択して描く ①+②を6時間以内に行う。双方を採点の対象とする。
持参用具	【アイデアスケッチ (下描き)】 鉛筆 (硬軟各種)、消具 【油 彩】 油彩用具一式 (アクリル絵の具の使用も可) 【木 炭】 木炭、消具、その他必要な用具 【鉛 筆】 鉛筆 (硬軟各種)、消具、その他必要な用具 ★ アイデアスケッチ (下描き) 用のB4ボード (画用紙)、油彩用F15号キャンバス、木炭紙 (50×65cm)、木炭用下敷き用紙、鉛筆用画用紙 (50×65 cm)、フィキサチーフ、カルトン、イーゼルは大学で用意します。
評価基準	・ アイデアスケッチ (下描き) での構想と作品への展開 ・ モチーフの魅力をとらえ、自己の表現と結びつける事ができているか ・ 画面構成のバランス、描画材料の特質を生かした表現力・描写力があるか

● 日本画専攻	
実施日時	2/1 (月) 9:30～12:30、13:30～16:30 (6時間)
試験科目	水彩画 個別に与えられたモチーフを自由に構成し水彩画を描く
持参用具	水彩用具一式 (透明・不透明は自由 アクリル絵の具も可)、鉛筆、消具 ★ F12号水彩用紙、画板は大学で用意します。
評価基準	・ 水彩画による表現力、描写力があるか ・ 画面構成、空間表現がバランス良く表現できているか ・ モチーフの形態、質感の相違、色彩などを的確に観察し表現できているか

● 立体アート専攻	
実施日時	2/1 (月) 10:00～12:00、13:00～16:00 (5時間)
試験科目	鉛筆デッサンまたは木炭デッサン 与えられたモチーフを条件に沿って鉛筆または木炭でデッサンする (試験当日選択)
持参用具	鉛筆 (硬軟各種) または木炭、消具、その他必要な用具 ★ 鉛筆デッサンは画用紙 (B3)、木炭デッサンは木炭紙 (厚口MBM・B3)、下描き用白色紙1枚、クリップ、イーゼル、カルトンは大学で用意します。
評価基準	・ 問題の内容を正しく理解しているか ・ ものをよく観察し、理解して表現できているか ・ 形のバランス、構図、量感、質感をとらえて表現できているか

●美術教育専攻

実施日時	2/2 (火) 13:30~16:30 (3時間)
試験科目	鉛筆デッサン 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置し、鉛筆でデッサンする
持参用具	鉛筆（硬軟各種）、消具、その他必要な用具 ★鉛筆デッサン用B3ボード（画用紙）は大学で用意します。
評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・よく観察し、素直に表現できているか ・形のバランス、構図、質感、量感をとらえて表現できているか

●国際芸術文化専攻

実施日時	2/2 (火) 13:30~15:30 (2時間)
試験科目	鉛筆デッサンまたは小論文 [鉛筆デッサン] 個別に与えられたモチーフを条件に沿って鉛筆デッサンし、それについてコメントする [小論文] 与えられた課題に関して文章で表現する*辞書は使用不可
持参用具	[鉛筆デッサン] 鉛筆（硬軟各種）、消具、その他鉛筆デッサンに必要な用具、コメント記述に必要な筆記具 ★鉛筆デッサン用B3ボード（画用紙）、コメント記述用原稿用紙、下書き用紙は大学で用意します。 [小論文] 筆記用具 ★小論文用原稿用紙、下書き用紙は大学で用意します。
評価基準	[鉛筆デッサン] ・問題の内容を正しく理解しているか ・基礎的な表現技術を持っているか ・観察力を有しているか [小論文] ・問題の内容を正しく理解しているか ・基礎的な表現技術を持っているか ・論理性を有しているか

■デザイン・工芸学科

●ヴィジュアルデザイン専攻

実施日時	2/2 (火) 13:30~17:30 (4時間)
試験科目	鉛筆デッサン 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に構成し、鉛筆デッサンする（想定を含む）
持参用具	鉛筆（硬軟各種）、消具、直定規、ティッシュ、デッサンスケール、カッター、鉛筆削り以外は使用不可。また、音の出るものなど周囲に影響を及ぼすものは使用不可。 ★B3ボード（画用紙）、下描き用白色紙1枚は大学で用意します。
評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・モチーフの形態、構造、質感、色彩等を的確に表現しているか ・よく観察し、空間の把握、構図等、バランス良く表現できているか ・想定部分がよく考えられているか

●プロダクトデザイン専攻

実施日時	2/2 (火) 13:30~17:30 (4時間)
試験科目	鉛筆デッサン 個別に与えられたモチーフを条件内で鉛筆デッサンする
持参用具	鉛筆（硬軟各種）、消具、はさみ、その他必要な用具 （パネル、カルトン、フィキサチーフ、クロッキー帳は使用不可） ★B3ボード（画用紙）、下描き用白色紙1枚は大学で用意します。
評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・モチーフの形態、構造、質感、色彩等を的確に表現しているか ・よく観察し、空間の把握、構図等、バランス良く表現できているか ・個性的で魅力的な画面構成になっているか

●環境デザイン専攻

実施日時	2/2 (火) 13:30~17:30 (4時間)
試験科目	鉛筆デッサン 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置し、鉛筆デッサンする
持参用具	鉛筆（硬軟各種）、消具、その他下書き用紙をボードに留めるためのクリップなどの必要な用具 （パネル、カルトン、フィキサチーフ、クロッキー帳は使用不可）
評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・モチーフの形態、構造、質感、色彩等を的確に表現しているか ・よく観察し、空間の把握、構図等、バランス良く表現できているか ・モチーフが空間上効果的に配置されているか

●工芸専攻

実施日時	2/2 (火) 13:30~17:00 (3時間30分)
試験科目	鉛筆デッサン 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に構成し、鉛筆デッサンする
持参用具	鉛筆（硬軟各種）、消具、その他必要な用具 （パネル、カルトン、フィキサチーフ、クロッキー帳は使用不可） ★B3ボード（画用紙）、下描き用白色紙1枚は大学で用意します。
評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・モチーフの形態、構造、質感、色彩等を的確に表現しているか ・よく観察し、空間の把握、構図等、バランス良く表現できているか

■アート・デザイン表現学科

●メディア表現領域	
実施日時	2/2 (火) 13:30～17:00 (3時間30分)
試験科目	鉛筆デッサン 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置、構成して、鉛筆デッサンする
持参用具	鉛筆（硬軟各種）、消具、その他必要な用具（パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可） ★B3ボード（シリウス紙）、下描き用白色紙1枚は大学で用意します。
評価基準	・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成等、バランス良く表現できているか

●ヒーリング表現領域	
実施日時	2/2 (火) 13:30～17:00 (3時間30分)
試験科目	鉛筆デッサン 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置、構成して、鉛筆デッサンする
持参用具	鉛筆（硬軟各種）、消具、その他必要な用具（パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可） ★B3ボード（シリウス紙）、下描き用白色紙1枚は大学で用意します。
評価基準	・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成等、バランス良く表現できているか

●ファッション表現領域	
実施日時	2/2 (火) 13:30～17:00 (3時間30分)
試験科目	鉛筆デッサン 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置、構成して、鉛筆デッサンする
持参用具	鉛筆（硬軟各種）、消具、その他必要な用具（パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可） ★B3ボード（シリウス紙）、下描き用白色紙1枚は大学で用意します。
評価基準	・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成等、バランス良く表現できているか

●スペース表現領域 ●クリエイティブ・プロデュース表現領域	
実施日時	2/2 (火) [鉛筆デッサン] 13:30～17:00 (3時間30分) [文章表現] 13:30～15:30 (2時間)
試験科目	鉛筆デッサンまたは文章表現 [鉛筆デッサン] 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置、構成して、鉛筆デッサンする [文章表現] 与えられたモチーフから連想することを文章で表現する
持参用具	[鉛筆デッサン] 鉛筆（硬軟各種）、消具、その他必要な用具（パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可） ★B3ボード（シリウス紙）、下描き用白色紙1枚は大学で用意します。 [文章表現] 筆記用具 ★原稿用紙、下書き用紙は大学で用意します。
評価基準	[鉛筆デッサン] ・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成等、バランス良く表現できているか [文章表現] ・伝えようとしている考えや思いが、読み手に興味をもって読まれるように表現されているか

■ 共創デザイン学科

実施日時	2/2 (火) 13 : 30～15 : 30 (2時間)
試験科目	伝達表現 与えられた環境課題に対し、所定用紙にその解決アイデアを可視化する ＊可視化の方法は、図、イラスト、キーワード（簡単な単語）、文章など自由。
持参用具	筆記用具（カラーペン、色鉛筆などの使用も可とし、色数は自由とする） ★所定用紙（A3サイズ）は大学で用意します。
評価基準	・ 出題内容の主旨を理解し、課題の抽出ができているか ・ 解決策への導き方が自分なりの視点になっているか ・ 自分なりの表現手法で、わかりやすく伝えることができているか

2027 年度 大学 一般選抜（共通テスト利用 I 方式）

出願登録期間*	書類送付締切日	試験日（専門試験）	合格発表日	入学手続締切日
1月5日(火) ↓ 1月15日(金)	1月15日(金) 消印有効※	2月1日（月） 2月2日（火）	2月12日(金) 13:00	2月24日(水)

*出願登録の時間は初日 10：00～最終日 13：00 までです。

※日本国外から提出書類を郵送する場合は、締切日必着とします。

入学者選抜方針

「基礎学力」と「学科・専攻・領域の求める専門的基礎技能」がともにバランスのとれた総合的に優秀な人材を求めます。

選考方法

令和9年度大学入学共通テストの成績および専門試験の合計得点で合否を判定します。
ただし、試験科目のうち一定の基準に及ばない科目があるときは、合計得点に関わらず不合格となる場合があります。

出願

- 「出願手順」に従って出願登録を完了し、印刷した必要書類とその他の提出書類を定められた期間内に郵送してください。

出願資格 2027年3月31日までに、次の①～⑧のいずれかに該当もしくは該当する見込みで、美術・デザイン等に深い興味を持ち、本学入学を強く希望する女子に限ります。

- ①学校教育法第1条に定める高等学校（中等教育学校含む）を卒業した方
- ②通常の課程による12年の学校教育（特別支援学校の高等部または高等専門学校の3年次）を修了した方
- ③外国において学校教育における12年の課程を修了した方もしくはこれに準ずる方で文部科学大臣の指定した方
- ④文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した方
- ⑤文部科学大臣が指定した専修学校の高等課程を修了した方
- ⑥高等学校卒業程度認定試験（旧規定による大学入学資格検定含む）に合格した方で、2027年4月1日に満18歳に達している方
- ⑦国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GC E Aレベル、国際Aレベル、欧州バカロレア資格のいずれかを保有する方
- ⑧上記①～⑦のいずれにも該当せず、本学において個別の審査により、高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方

※出願資格⑧については、事前に審査が必要ですので、8月5日までに女子美入試センターへご相談ください。

出願要件 (外国人留学生)

日本の高等学校卒業見込者を除く外国人留学生は、上記に加え以下の①または②のいずれかに該当すること。

- ①日本学生支援機構が運営する「日本留学試験（EJU）」の「日本語」で、読解（200点）＋ 聴解・聴読解（200点）計400点満点中320点以上、記述（50点）は40点以上を取得していること。
＊2025年6月・11月、2026年6月・11月実施のいずれかの試験を対象とします。
- ②国際交流基金・日本国際教育支援協会が運営する「日本語能力試験（JLPT）」において、N1に合格していること。
＊2024年12月、2025年7月・12月、2026年7月実施のいずれかの試験を対象とします。

出願上の注意

- 共通テスト利用Ⅰ方式内や本学「一般選抜（A日程）」、「一般選抜（共通テスト利用Ⅱ方式 第Ⅰ期）」と併願することができます。
 - ①共通テスト利用Ⅰ方式内での併願は、専門試験の日時が重複しない専攻等と可能です。
 - ②「一般選抜（A日程）」での併願は、共通テスト利用Ⅰ方式と同じ専攻等と可能です。また、専門試験の日時が重複しなければ、異なる専攻等とも可能です。
同じ専攻等と併願した場合、専門試験の得点は両方の制度で使用します。
 - ③「一般選抜（共通テスト利用Ⅱ方式 第Ⅰ期）」での併願は、実施するすべての専攻等で可能です。
※①、②については、「[併願確認一覧表](#)」にて併願可能な組み合わせを確認してください。
- 出願登録完了後の変更は認められませんので、入力の際は十分に確認してください。
- 一度納入された検定料および受理した提出書類は返還いたしません。
- 登録完了後、定められた期日までに必要書類の提出がなかった場合や、共通テストの結果が定められた条件を満たさなかった場合は失格となります。
失格となった場合も検定料の返金はありませんので、書類送付締切日や共通テストの指定科目等に注意してください。
- 「出入国管理および難民認定法」による「留学」の在留資格にて本学に入学希望の方は、在学期間中に必要となる「学費」「生活費」などの経費支弁能力を有することが入学許可の要件になります。
経費支弁能力がないと判断された場合、合格しても入学を許可できません。
＊年間300万円以上の経費支弁能力が確認できること。
＊家計を支えている方（父・母等）が主として使っている銀行口座の残高が100万円程度以上であること。
- 既に「留学」の在留資格で日本国内の日本語教育機関等（日本語学校・専門学校等）に在籍している方は、当該機関での出席率が80%未満で、合理的理由（入院など）がない場合、合格しても入学を許可できない可能性があります。
- 出願資格を取得見込みの方で、2027年4月1日までに取得できなかった場合は、合格しても入学することはできません。
- 外国人留学生は、2027年4月1日までに本学で学ぶために支障のない在留資格を取得することができない場合、合格しても在籍できません。
- 受験番号（8桁）は受験票でお知らせします。受付番号とは異なります。
- 登録時に入力されたアドレスは、以後必要に応じて本学から連絡をする際にも使用しますので、ドメイン（@venus.joshibi.jp）を受信指定してください。
迷惑メール対策等により、通常の受信ボックスから確認ができない場合や、メール自体が届かない場合がありますので注意してください。

検定料

15,000 円 ※共通テストの結果を利用する選抜制度は減額対象のため 15,000 円です。

提出書類

- * 書類を提出する前に「対象者」欄を確認し、左の確認欄で不足書類が無いかをチェックしてください。
- * 確認欄がグレーの書類は、該当する方のみが提出する書類です。
- * 記入が必要な提出書類には黒のボールペンを使用してください。（消せる筆記具は使用不可）

確認	No.	提出書類	対象者	詳細
☐	1	志願票	全員	登録完了後に印刷できます。 * 「出願手順」参照 共通テスト成績請求チケットを貼付してください。
☐	2	出願資格を証明する書類 および学業成績証明書 ※出願資格により異なります。	出願資格 ①②④ に該当する方 出願資格 ③ に該当する方 (右3種) 出願資格 ⑤ に該当する方 出願資格 ⑥ に該当する方 出願資格 ⑦ に該当する方	調査書（出身学校長作成、開封無効） 被災等の事情により提出が困難な方は、卒業証明書および成績証明書を提出してください。 成績証明書も提出困難な場合は、その事由を記した当該学校からの書類を提出してください。 2つ以上の高校に在籍していた場合、前籍校の調査書を同封もしくは、現在籍校にて前籍校での成績及び出席日数等を転記してください。 出身学校の卒業または修了（見込）証明書（日本語または英語） 日本の高等学校に相当する課程を卒業または修了（見込）であること、およびその在籍期間が確認できる証明書を提出してください。 学業成績証明書（日本語または英語） 日本の高等学校3年間にあたる就学期間と、その期間の成績が記載されているものがが必要です。 上記3年間に複数の学校に在学していた場合は、在学した全学校の証明書を提出してください。 飛び級ないし繰り上げ卒業のある方で、上記書類にその事実や理由等の記載がない場合は、そのことを証明する出身学校の書類を添付してください。 学習歴に関する書類 帰国子女の方＝「<u>志願者身上書</u>」（本学所定） 外国人留学生の方＝「<u>外国人留学生入学志願者調査</u>」（本学所定） 調査書に準ずる書類 提出が困難な場合は、修了（見込）証明書および成績証明書を提出してください。 合格（見込）成績証明書 高等学校で修得した単位による免除科目がある場合は、併せて当該学校の成績証明書を提出してください。英検等、技能審査の合格による免除科目がある場合は、併せて技能審査の合格を証明する書類のコピーを提出してください。 ディプロマおよび成績証明書
☐	3	受験上の配慮事項確認書	合理的配慮を希望される方	事前相談後に本学よりメール送付した確認書に署名し提出してください。 申込・詳細は「お問い合わせ先」を参照してください。
☐	4	在留資格等確認のための書類	日本国籍を有しない方	<u>パスポート・在留カード コピー貼付用紙</u> （本学所定） 必要書類のコピーを貼り付けて提出してください。
☐	5	日本語能力を確認する書類	外国人留学生 (日本の高等学校等 卒業見込の方は不要)	日本留学試験(EJU)の場合＝ 成績確認書(用紙：A4 サイズ) * 成績が発表されていない場合は受験票のコピー(用紙：A4 サイズ) 日本語能力試験(JLPT)の場合＝ 認定結果及び成績に関する証明書(原本)
☐	6	経費支弁能力を確認する書類	外国人留学生 (「留学」の在留資格 にて入学希望の方)	<u>経費支弁書（本学所定）</u>
☐	7	経費支弁能力を確認する書類	外国人留学生 (「留学」の在留資格 にて入学希望の方)	銀行の残高証明書（日本語または英語） 家計を支えている方（父・母等）が主として使っている銀行のものを提出してください。
☐	8	出席率を確認する書類	外国人留学生 (日本国内の日本語教育 機関等に在籍中の方)	日本国内の日本語教育機関等の出席率証明書（要公印） 出席率が80%未満の場合は、合理的理由（入院など）を明記した証明書を提出してください。

提出書類に 関する注意

- 証明書類は発行後3ヶ月以内の原本を提出してください。ただし、提出書類「2」の証明書類については、卒業後に発行された原本であれば3ヶ月以内でなくても構いません。
- 証明書類が日本語または英語以外の言語で作成されている場合は、証明書の原本に大使館または国で認可された公証役場で公証を受けた翻訳文（日本語または英語）を添付してください。
- 提出書類に虚偽の記載があることが判明した時は、入学許可を取り消すことがあります。
- 提出された書類は原則返却いたしません。

書類送付上の 注意

- 提出書類は出願登録時に出力した「封筒貼付用宛名シート」を貼付した任意の角2封筒に入れて、必ず郵便局窓口から簡易書留（速達）で郵送してください。
- 併願（女子美術大学短期大学部含む）をする場合は、1つの封筒にまとめて送付できます。
 - ＊下記必ず確認すること
 - ・ 併願するものも含めて全ての志願票を同封
 - ・ 「封筒貼付用宛名シート」は1枚を封筒に貼り、他は同封
 - ・ 同一封筒にまとめて送付する場合に限り、提出書類「2」は1通で可
- 日本国外から提出書類を郵送する場合は、EMS（国際スピード郵便）など、ご自身で配達状況が追跡できるものを利用して、必ず定められた期日までに届くようにしてください。
期日までに届かない場合は失格となります。
- 特別な事情により持参提出を希望する場合は、事前に女子美入試センターまでご相談ください。

書類送付先

〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台1900 女子美入試センター

※アート・デザイン表現学科、共創デザイン学科の試験場とは異なりますので注意してください。



受験

試験日 【学力試験】2027年1月16日(土)・1月17日(日) (令和9年度大学入学共通テスト)

【専門試験】2027年2月1日(月)・2月2日(火)

()内は試験場

学 科	専攻・領域	2/1 (月)		2/2 (火)	
		午前	午後	午前	午後
美術学科	洋画専攻 日本画専攻 立体アート専攻	専門試験 (相模原)			
	美術教育専攻 国際芸術文化専攻				専門試験 (相模原)
デザイン・工芸学科	全専攻				専門試験 (相模原)
アート・デザイン表現学科	全領域				専門試験 (杉並)
共創デザイン学科					専門試験 (杉並)

試験場 学科により異なります

■美術学科、デザイン・工芸学科

相模原キャンパス (神奈川)

■アート・デザイン表現学科、共創デザイン学科

杉並キャンパス (東京)

配点 全学科共通 【学力試験】令和9年度大学入学共通テスト結果 400点 + 【専門試験】300点 計700点

試験科目等 【学力試験】令和9年度大学入学共通テストの結果を利用

国語200点・英語200点 計400点

※国語は古典(古文、漢文)を含み、英語はリスニングを含みます。

受験上の注意

- 咳などの症状がある場合、大学構内では常時マスクを着用してください。
- 試験実施の前日はキャンパス内に入ることはできません。
- 試験当日は、A4サイズの用紙に印刷した受験票を必ず持参してください。
受験番号は出願先ごとに異なります。共通テスト利用I方式内や、本学芸術学部「一般選抜(A日程)」と併願をした方は、すべての受験票を持参してください。
複数の受験票を印刷する場合は、別々の用紙(A4)に印刷してください。
- 本要項に記載している内容以外の伝達事項は、主として受験票と当日の配布プリントに記載します。
- 正門の開門時間は**8:30**です。遅くとも試験開始の30分前までには来校してください。
- 大学構内での移動、試験会場への入場・退場は係員の指示に従ってください。
- 試験開始に遅刻しても入場できますが、所定の試験終了時間を超えて受験することはできません。
- 遅刻・退場については大学の指示に従ってください。
- 洋画専攻・立体アート専攻の専門試験は、イーゼルを使用して行いますが、それ以外の専攻等は机上での試験です。
- 専門試験の用紙、画板、カルトン、イーゼル等は大学で用意したものを使用してください。
- 大学入学共通テストの結果が定められた条件を充たさなかった場合、また専門試験の選択科目を届け出た科目で受験しなかった場合は失格となります。
- 失格後の受験は一切認めません。
- キャンパス内および周辺には駐車できません。
- 試験当日、学生食堂は利用できません。昼食を持参してください。
- 特別な理由がない限り、付き添いの方の学内への立ち入りはできません。
- 出願後に怪我等の理由で、受験の際に何らかの配慮が緊急に必要な場合は、速やかに女子美入試センターまで連絡してください。
- 試験場に向かう途中で事故・事件に巻き込まれた場合など、やむを得ない事由により試験場への到着が遅れる場合は、入試当日の緊急連絡先まで連絡してください。

【専門試験】

■ 美術学科

● 洋画専攻	
実施日時	2/1 (月) 9:30~12:30、13:30~16:30 (6時間)
試験科目	静物画 あらかじめ設置されているモチーフ（静物）を自由に描く ①アイデアスケッチ（下描き） ②油彩、木炭、鉛筆のうちからいずれか1つを選択して描く ①+②を6時間以内に行う。双方を採点の対象とする。
持参用具	【アイデアスケッチ（下描き）】 鉛筆（硬軟各種）、消具 【油 彩】 油彩用具一式（アクリル絵の具の使用も可） 【木 炭】 木炭、消具、その他必要な用具 【鉛 筆】 鉛筆（硬軟各種）、消具、その他必要な用具 ★アイデアスケッチ（下描き）用のB4ボード（画用紙）、油彩用F15号キャンバス、木炭紙（50×65cm）、木炭用下敷き用紙、鉛筆用画用紙（50×65cm）、フィキサチーフ、カルトン、イーゼルは大学で用意します。
評価基準	・アイデアスケッチ（下描き）での構想と作品への展開 ・モチーフの魅力をとらえ、自己の表現と結びつける事ができているか ・画面構成のバランス、描画材料の特質を生かした表現力・描写力があるか

● 日本画専攻	
実施日時	2/1 (月) 9:30~12:30、13:30~16:30 (6時間)
試験科目	水彩画 個別に与えられたモチーフを自由に構成し水彩画を描く
持参用具	水彩用具一式（透明・不透明は自由 アクリル絵の具も可）、鉛筆、消具 ★F12号水彩用紙、画板は大学で用意します。
評価基準	・水彩画による表現力、描写力があるか ・画面構成、空間表現がバランス良く表現できているか ・モチーフの形態、質感の相違、色彩などを的確に観察し表現できているか

● 立体アート専攻	
実施日時	2/1 (月) 10:00~12:00、13:00~16:00 (5時間)
試験科目	鉛筆デッサンまたは木炭デッサン 与えられたモチーフを条件に沿って鉛筆または木炭でデッサンする（試験当日選択）
持参用具	鉛筆（硬軟各種）または木炭、消具、その他必要な用具 ★鉛筆デッサンは画用紙（B3）、木炭デッサンは木炭紙（厚口MBM・B3）、下描き用白色紙1枚、クリップ、イーゼル、カルトンは大学で用意します。
評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・ものをよく観察し、理解して表現できているか ・形のバランス、構図、量感、質感をとらえて表現できているか

●美術教育専攻

実施日時	2/2（火） 13：30～16：30（3時間）
試験科目	鉛筆デッサン 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置し、鉛筆でデッサンする
持参用具	鉛筆（硬軟各種）、消具、その他必要な用具 ★鉛筆デッサン用B3ボード（画用紙）は大学で用意します。
評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・よく観察し、素直に表現できているか ・形のバランス、構図、質感、量感をとらえて表現できているか

●国際芸術文化専攻

実施日時	2/2（火） 13：30～15：30（2時間）
試験科目	鉛筆デッサンまたは小論文 【鉛筆デッサン】 個別に与えられたモチーフを条件に沿って鉛筆デッサンし、それについてコメントする 【小論文】 与えられた課題に関して文章で表現する *辞書は使用不可
持参用具	【鉛筆デッサン】 鉛筆（硬軟各種）、消具、その他鉛筆デッサンに必要な用具、コメント記述に必要な筆記具 ★鉛筆デッサン用B3ボード（画用紙）、コメント記述用原稿用紙、下書き用紙は大学で用意します。 【小論文】 筆記用具 ★小論文用原稿用紙、下書き用紙は大学で用意します。
評価基準	【鉛筆デッサン】 ・問題の内容を正しく理解しているか ・基礎的な表現技術を持っているか ・観察力を有しているか 【小論文】 ・問題の内容を正しく理解しているか ・基礎的な表現技術を持っているか ・論理性を有しているか

■デザイン・工芸学科

●ヴィジュアルデザイン専攻

実施日時	2/2 (火) 13:30~17:30 (4時間)
試験科目	鉛筆デッサン 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に構成し、鉛筆デッサンする(想定を含む)
持参用具	鉛筆(硬軟各種)、消具、直定規、ティッシュ、デッサンスケール、カッター、鉛筆削り以外は使用不可。また、音の出るものなど周囲に影響を及ぼすものは使用不可。 ★B3ボード(画用紙)、下描き用白色紙1枚は大学で用意します。
評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・モチーフの形態、構造、質感、色彩等を的確に表現しているか ・よく観察し、空間の把握、構図等、バランス良く表現できているか ・想定部分がよく考えられているか

●プロダクトデザイン専攻

実施日時	2/2 (火) 13:30~17:30 (4時間)
試験科目	鉛筆デッサン 個別に与えられたモチーフを条件内で鉛筆デッサンする
持参用具	鉛筆(硬軟各種)、消具、はさみ、その他必要な用具 (パネル、カルトン、フィキサチーフ、クロッキー帳は使用不可) ★B3ボード(画用紙)、下描き用白色紙1枚は大学で用意します。
評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・モチーフの形態、構造、質感、色彩等を的確に表現しているか ・よく観察し、空間の把握、構図等、バランス良く表現できているか ・個性的で魅力的な画面構成になっているか

●環境デザイン専攻

実施日時	2/2 (火) 13:30~17:30 (4時間)
試験科目	鉛筆デッサン 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置し、鉛筆デッサンする
持参用具	鉛筆(硬軟各種)、消具、その他下書き用紙をボードに留めるためのクリップなど必要な用具 (パネル、カルトン、フィキサチーフ、クロッキー帳は使用不可)
評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・モチーフの形態、構造、質感、色彩等を的確に表現しているか ・よく観察し、空間の把握、構図等、バランス良く表現できているか ・モチーフが空間上効果的に配置されているか

●工芸専攻

実施日時	2/2 (火) 13:30~17:00 (3時間30分)
試験科目	鉛筆デッサン 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に構成し、鉛筆デッサンする
持参用具	鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具 (パネル、カルトン、フィキサチーフ、クロッキー帳は使用不可) ★B3ボード(画用紙)、下描き用白色紙1枚は大学で用意します。
評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・モチーフの形態、構造、質感、色彩等を的確に表現しているか ・よく観察し、空間の把握、構図等、バランス良く表現できているか

■アート・デザイン表現学科

●メディア表現領域

実施日時	2/2 (火) 13:30~17:00 (3時間30分)
試験科目	鉛筆デッサン 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置、構成して、鉛筆デッサンする
持参用具	鉛筆（硬軟各種）、消具、その他必要な用具（パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可） ★B3ボード（シリウス紙）、下描き用白色紙1枚は大学で用意します。
評価基準	・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成等、バランス良く表現できているか

●ヒーリング表現領域

実施日時	2/2 (火) 13:30~17:00 (3時間30分)
試験科目	鉛筆デッサン 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置、構成して、鉛筆デッサンする
持参用具	鉛筆（硬軟各種）、消具、その他必要な用具（パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可） ★B3ボード（シリウス紙）、下描き用白色紙1枚は大学で用意します。
評価基準	・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成等、バランス良く表現できているか

●ファッション表現領域

実施日時	2/2 (火) 13:30~17:00 (3時間30分)
試験科目	鉛筆デッサン 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置、構成して、鉛筆デッサンする
持参用具	鉛筆（硬軟各種）、消具、その他必要な用具（パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可） ★B3ボード（シリウス紙）、下描き用白色紙1枚は大学で用意します。
評価基準	・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成等、バランス良く表現できているか

●スペース表現領域

●クリエイティブ・プロデュース表現領域

実施日時	2/2 (火) 【鉛筆デッサン】 13:30~17:00 (3時間30分) 【文章表現】 13:30~15:30 (2時間)
試験科目	鉛筆デッサンまたは文章表現 【鉛筆デッサン】 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置、構成して、鉛筆デッサンする 【文章表現】 与えられたモチーフから連想することを文章で表現する
持参用具	【鉛筆デッサン】 鉛筆（硬軟各種）、消具、その他必要な用具（パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可） ★B3ボード（シリウス紙）、下描き用白色紙1枚は大学で用意します。 【文章表現】 筆記用具 ★原稿用紙、下書き用紙は大学で用意します。
評価基準	【鉛筆デッサン】 ・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成等、バランス良く表現できているか 【文章表現】 ・伝えようとしている考えや思いが、読み手に興味をもって読まれるように表現されているか

■ 共創デザイン学科

実施日時	2/2 (火) 13 : 30～15 : 30 (2時間)
試験科目	伝達表現 与えられた環境課題に対し、所定用紙にその解決アイデアを可視化する ＊可視化の方法は、図、イラスト、キーワード（簡単な単語）、文章など自由。
持参用具	筆記用具（カラーペン、色鉛筆などの使用も可とし、色数は自由とする） ★所定用紙（A3サイズ）は大学で用意します。
評価基準	・ 出題内容の主旨を理解し、課題の抽出ができているか ・ 解決策への導き方が自分なりの視点になっているか ・ 自分なりの表現手法で、わかりやすく伝えることができているか

2027 年度 大学 一般選抜（共通テスト利用Ⅱ方式）

	出願登録期間*	書類送付締切日	試験日	合格発表日	入学手続締切日
一般選抜 (共通テスト利用Ⅱ方式 第Ⅰ期)	1月5日(火) ↓ 1月15日(金)	1月15日(金) 消印有効※	令和9年度 大学入学共通テスト	2月12日(金) 13:00	2月24日(水)
一般選抜 (共通テスト利用Ⅱ方式 第Ⅱ期)	2月20日(土) ↓ 3月2日(火)	3月3日(水) 17:00必着	令和9年度 大学入学共通テスト	3月17日(水) 18:00	3月26日(金)

*出願登録の時間は初日 10:00～最終日 13:00 までです。

※日本国外から提出書類を郵送する場合は、締切日必着とします。

入学者選抜方針

「基礎学力」の高い優秀な人材を求めます。

選考方法

令和9年度大学入学共通テストの成績および提出書類により総合的に合否を判定します。
ただし、試験科目のうち一定の基準に及ばない科目があるときは、合計得点に関わらず不合格となる場合があります。

評価基準

令和9年度大学入学共通テストにおける平均点に基づき基準点を設けます。

出願

- 「出願手順」に従って出願登録を完了し、印刷した必要書類とその他の提出書類を定められた期間内に郵送してください。

出願資格 2027年3月31日までに、次の①～⑧のいずれかに該当もしくは該当する見込みで、美術・デザイン等に深い興味を持ち、本学入学を強く希望する女子に限ります。

- ①学校教育法第1条に定める高等学校（中等教育学校含む）を卒業した方
- ②通常の課程による12年の学校教育（特別支援学校の高等部または高等専門学校の3年次）を修了した方
- ③外国において学校教育における12年の課程を修了した方もしくはこれに準ずる方で文部科学大臣の指定した方
- ④文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した方
- ⑤文部科学大臣が指定した専修学校の高等課程を修了した方
- ⑥高等学校卒業程度認定試験（旧規定による大学入学資格検定含む）に合格した方で、2027年4月1日に満18歳に達している方
- ⑦国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GC E Aレベル、国際Aレベル、欧州バカロレア資格のいずれかを保有する方
- ⑧上記①～⑦のいずれにも該当せず、本学において個別の審査により、高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方

※出願資格⑧については、事前に審査が必要ですので、8月5日までに女子美入試センターへご相談ください。

出願要件 (外国人留学生)

日本の高等学校卒業見込者を除く外国人留学生は、上記に加え以下の①または②のいずれかに該当すること。

- ①日本学生支援機構が運営する「日本留学試験（EJU）」の「日本語」で、読解（200点）＋ 聴解・聴読解（200点）計400点満点中320点以上、記述（50点）は40点以上を取得していること。
＊2025年6月・11月、2026年6月・11月実施のいずれかの試験を対象とします。
- ②国際交流基金・日本国際教育支援協会が運営する「日本語能力試験（JLPT）」において、N1に合格していること。
＊第Ⅰ期：2024年12月、2025年7月・12月、2026年7月実施のいずれかの試験を対象とします。
＊第Ⅱ期：2025年7月・12月、2026年7月・12月実施のいずれかの試験を対象とします。

出願上の注意

- 共通テスト利用Ⅱ方式内では、全専攻等との併願が可能です。
- 第Ⅰ期における本学「一般選抜（A日程）」、「一般選抜（共通テスト利用Ⅰ方式）」での併願、第Ⅱ期における本学「一般選抜（B日程）」での併願は、すべての専攻等と可能です。
- 出願登録完了後の変更は認められませんので、入力の際は十分に確認してください。
- 一度納入された検定料および受理した提出書類は返還いたしません。
- 登録完了後、定められた期日までに必要書類の提出がなかった場合や、共通テストの結果が定められた条件を満たさなかった場合は失格となります。
失格となった場合も検定料の返金はできませんので、書類送付締切日や共通テストの指定科目等に注意してください。
- 「出入国管理および難民認定法」による「留学」の在留資格にて本学に入学希望の方は、在学期間中に必要となる「学費」「生活費」などの経費支弁能力を有することが入学許可の要件になります。
経費支弁能力がないと判断された場合、合格しても入学を許可できません。
＊年間300万円以上の経費支弁能力が確認できること。
＊家計を支えている方（父・母等）が主として使っている銀行口座の残高が100万円程度以上であること。
- 既に「留学」の在留資格で日本国内の日本語教育機関等（日本語学校・専門学校等）に在籍している方は、当該機関での出席率が80%未満で、合理的理由（入院など）がない場合、合格しても入学を許可できない可能性があります。
- 出願資格を取得見込みの方で、2027年4月1日までに取得できなかった場合は、合格しても入学することはできません。
- 外国人留学生は、2027年4月1日までに本学で学ぶために支障のない在留資格を取得することができない場合、合格しても在籍できません。
- 受験番号（8桁）は受験票でお知らせします。受付番号とは異なります。
- 登録時に入力されたアドレスは、以後必要に応じて本学から連絡をする際にも使用しますので、ドメイン（@venus.joshibi.jp）を受信指定してください。
迷惑メール対策等により、通常の受信ボックスから確認ができない場合や、メール自体が届かない場合がありますので注意してください。

検定料 15,000 円 ※共通テストの結果を利用する選抜制度は減額対象のため 15,000 円です。

提出書類

* 書類を提出する前に「対象者」欄を確認し、左の確認欄で不足書類が無いかをチェックしてください。

* 確認欄がグレーの書類は、該当する方のみが提出する書類です。

* 記入が必要な提出書類には黒のボールペンを使用してください。（消せる筆記具は使用不可）

確認	No.	提出書類	対象者	詳細
☐	1	志願票	全員	登録完了後に印刷できます。 * 「出願手順」参照 共通テスト成績請求チケットを貼付してください。
☐	2	出願資格を証明する書類 および学業成績証明書 ※出願資格により異なります。	出願資格 ①②④ に該当する方 出願資格 ③ に該当する方 (右3種) 出願資格 ⑤ に該当する方 出願資格 ⑥ に該当する方 出願資格 ⑦ に該当する方	調査書（出身学校長作成、開封無効） 被災等の事情により提出が困難な方は、卒業証明書および成績証明書を提出してください。 成績証明書も提出困難な場合は、その事由を記した当該学校からの書類を提出してください。 2つ以上の高校に在籍していた場合、前籍校の調査書を同封もしくは、現在籍校にて前籍校での成績及び出席日数等を転記してください。 出身学校の卒業または修了（見込）証明書（日本語または英語） 日本の高等学校に相当する課程を卒業または修了（見込）であること、およびその在籍期間が確認できる証明書を提出してください。 学業成績証明書（日本語または英語） 日本の高等学校3年間にあたる就学期間と、その期間の成績が記載されているものがが必要です。 上記3年間に複数の学校に在学していた場合は、在学した全学校の証明書を提出してください。 飛び級ないし繰り上げ卒業のある方で、上記書類にその事実や理由等の記載がない場合は、そのことを証明する出身学校の書類を添付してください。 学習歴に関する書類 帰国子女の方＝「志願者身上書」（本学所定） 外国人留学生の方＝「外国人留学生入学志願者調査」（本学所定） 調査書に準ずる書類 提出が困難な場合は、修了（見込）証明書および成績証明書を提出してください。 合格（見込）成績証明書 高等学校で修得した単位による免除科目がある場合は、併せて当該学校の成績証明書を提出してください。英検等、技能審査の合格による免除科目がある場合は、併せて技能審査の合格を証明する書類のコピーを提出してください。 ディプロマおよび成績証明書
☐	3	受験上の配慮事項確認書	合理的配慮を希望される方	事前相談後に本学よりメール送付した確認書に署名し提出してください。 申込・詳細は「お問い合わせ先」を参照してください。
☐	4	在留資格等確認のための書類	日本国籍を有しない方	パスポート・在留カード コピー貼付用紙 （本学所定） 必要書類のコピーを貼り付けて提出してください。
☐	5	日本語能力を確認する書類	外国人留学生 (日本の高等学校等 卒業見込の方は不要)	日本留学試験(EJU)の場合＝ 成績確認書(用紙：A4 サイズ) * 成績が発表されていない場合は受験票のコピー(用紙：A4 サイズ) 日本語能力試験(JLPT)の場合＝ 認定結果及び成績に関する証明書(原本)
☐	6	経費支弁能力を確認する書類	外国人留学生 (「留学」の在留資格 にて入学希望の方)	経費支弁書（本学所定）
☐	7	経費支弁能力を確認する書類	外国人留学生 (「留学」の在留資格 にて入学希望の方)	銀行の残高証明書（日本語または英語） 家計を支えている方（父・母等）が主として使っている銀行のものを提出してください。
☐	8	出席率を確認する書類	外国人留学生 (日本国内の日本語教育 機関等に在籍中の方)	日本国内の日本語教育機関等の出席率証明書（要公印） 出席率が80%未満の場合は、合理的理由（入院など）を明記した証明書を提出してください。

提出書類に関する注意

- 証明書類は発行後3ヶ月以内の原本を提出してください。ただし、提出書類「2」の証明書類については、卒業後に発行された原本であれば3ヶ月以内でなくても構いません。
- 証明書類が日本語または英語以外の言語で作成されている場合は、証明書の原本に大使館または国で認可された公証役場で公証を受けた翻訳文（日本語または英語）を添付してください。
- 提出書類に虚偽の記載があることが判明した時は、入学許可を取り消すことがあります。
- 提出された書類は原則返却いたしません。

書類送付上の注意

- 提出書類は出願登録時に出力した「封筒貼付用宛名シート」を貼付した任意の角2封筒に入れて、必ず郵便局窓口から簡易書留（速達）で郵送してください。
- 併願（女子美術大学短期大学部含む）をする場合は、1つの封筒にまとめて送付できます。
＊下記必ず確認すること
 - ・ 併願するものも含めて全ての志願票を同封
 - ・ 「封筒貼付用宛名シート」は1枚を封筒に貼り、他は同封
 - ・ 同一封筒にまとめて送付する場合に限り、提出書類「2」は1通で可
- 日本国外から提出書類を郵送する場合は、EMS（国際スピード郵便）など、ご自身で配達状況が追跡できるものを利用して、必ず定められた期日までに届くようにしてください。
期日までに届かない場合は失格となります。
- 特別な事情により持参提出を希望する場合は、事前に女子美入試センターまでご相談ください。

書類送付先

〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台1900 女子美入試センター



受験

配点 指定科目（国語・英語） 400点 + 選択科目（1科目） 100点 計500点

試験科目等 令和9年度大学入学共通テストの結果を利用します。

	教科	課程科目
● 指定科目 2科目（各200点）	国語	『国語』 ＊古典を含む
	外国語	『英語』 ＊リスニングを含む
● 選択科目 1科目（100点） 右記の科目より最低1科目を受験してください。 2科目以上受験した場合は、得点の高い1科目を判定に使用します。 ※地理歴史・公民および理科の2科目受験者は、第1解答科目の得点を利用します。	地理歴史	『地理総合、地理探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』
	公民	『公共、倫理』 『公共、政治・経済』 『地理総合／歴史総合／公共』
	数学①	『数学Ⅰ、数学A』 『数学Ⅰ』
	数学②	『数学Ⅱ、数学B、数学C』
	理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』
	情報	『情報Ⅰ』

2027 年度 大学 一般選抜（B 日程）

出願登録期間*	書類送付締切日	試験日	合格発表日	入学手続締切日
2月20日(土) 3月2日(火)	3月3日(水) 17:00必着	3月15日(月)	3月17日(水) 18:00	3月26日(金)

*出願登録の時間は初日 10:00～最終日 13:00 までです。

入学者選抜方針

優秀な専門技能を有し、各学科の適性を兼ね備えた人材を求めます。

選考方法

面接と専門試験の合計得点により可否を判定します。

面接と専門試験の配点は学科により異なりますが、第2志望以降の申請ができる学科では、第1志望の可否については専攻・領域別に実施する試験科目の得点を重視し、第2志望以降の可否については、学科内の専攻・領域共通で実施する試験科目の得点を重視して判定します。

ただし、どちらか一方でも一定の基準に及ばない場合は、合計得点が高くても不合格となる場合があります。

出願

- 「出願手順」に従って出願登録を完了し、印刷した必要書類とその他の提出書類を定められた期間内に郵送してください。

出願資格 2027年3月31日までに、次の①～⑧のいずれかに該当もしくは該当する見込みで、美術・デザイン等に深い興味を持ち、本学入学を強く希望する女子に限ります。

- ①学校教育法第1条に定める高等学校（中等教育学校含む）を卒業した方
- ②通常の課程による12年の学校教育（特別支援学校の高等部または高等専門学校の3年次）を修了した方
- ③外国において学校教育における12年の課程を修了した方もしくはこれに準ずる方で文部科学大臣の指定した方
- ④文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した方
- ⑤文部科学大臣が指定した専修学校の高等課程を修了した方
- ⑥高等学校卒業程度認定試験（旧規定による大学入学資格検定含む）に合格した方で、2027年4月1日に満18歳に達している方
- ⑦国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCE Aレベル、国際Aレベル、欧州バカロレア資格のいずれかを保有する方
- ⑧上記①～⑦のいずれにも該当せず、本学において個別の審査により、高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方

※出願資格⑧については、事前に審査が必要ですので、8月末日までに女子美入試センターへご相談ください。

出願要件 (外国人留学生)

日本の高等学校卒業見込者を除く外国人留学生は、上記に加え以下の①または②のいずれかに該当すること。

- ①日本学生支援機構が運営する「日本留学試験（EJU）」の「日本語」で、読解（200点）＋ 聴解・聴読解（200点）計400点満点中320点以上、記述（50点）は40点以上を取得していること。
＊2025年6月・11月、2026年6月・11月実施のいずれかの試験を対象とします。
- ②国際交流基金・日本国際教育支援協会が運営する「日本語能力試験（JLPT）」において、N1に合格していること。
＊2025年7月・12月、2026年7月・12月実施のいずれかの試験を対象とします。

出願上の注意

- 専攻・領域のある学科は、同一学科内で第3志望の専攻・領域まで申請することができます。
（出願登録時に申請がない場合は、その権利を放棄したものとみなします。）
- 本学「一般選抜（共通テスト利用Ⅱ方式 第Ⅱ期）」での併願は、実施するすべての専攻等で可能です。
- 出願登録完了後の変更は認められませんので、入力の際は十分に確認してください。
- 一度納入された検定料および受理した提出書類は返還いたしません。
- 登録完了後、定められた期日までに必要書類の提出がなかった場合は失格となります。
失格となった場合も検定料の返金はできませんので、書類送付締切日に注意してください。
- 「出入国管理および難民認定法」による「留学」の在留資格にて本学に入学希望の方は、在学期間中に必要となる「学費」「生活費」などの経費支弁能力を有することが入学許可の要件になります。
経費支弁能力がないと判断された場合、合格しても入学を許可できません。
＊年間300万円以上の経費支弁能力が確認できること。
＊家計を支えている方（父・母等）が主として使っている銀行口座の残高が100万円程度以上であること。
- 既に「留学」の在留資格で日本国内の日本語教育機関等（日本語学校・専門学校等）に在籍している方は、当該機関での出席率が80%未満で、合理的理由（入院など）がない場合、合格しても入学を許可できない可能性があります。
- 出願資格を取得見込みの方で、2027年4月1日までに取得できなかった場合は、合格しても入学することはできません。
- 外国人留学生は、2027年4月1日までに本学で学ぶために支障のない在留資格を取得することができない場合、合格しても在籍できません。
- 受験番号（8桁）は受験票でお知らせします。受付番号とは異なります。
- 登録時に入力されたアドレスは、以後必要に応じて本学から連絡をする際にも使用しますので、ドメイン（@venus.joshibi.jp）を受信指定してください。
迷惑メール対策等により、通常の受信ボックスから確認ができない場合や、メール自体が届かない場合がありますので注意してください。

検定料

30,000 円

※「[検定料・減額制度](#)」をご参照ください。

提出書類

*書類を提出する前に「対象者」欄を確認し、左の確認欄で不足書類が無いかをチェックしてください。

*確認欄がグレーの書類は、該当する方のみが提出する書類です。

*記入が必要な提出書類には黒のボールペンを使用してください。（消せる筆記具は使用不可）

確認	No.	提出書類	対象者	詳細
☐	1	志願票	全員	登録完了後に印刷できます。 *「出願手順」参照 選択科目で「学力試験」を利用する場合、共通テスト成績請求チケットを貼付してください。
☐	2	出願資格を証明する書類 および学業成績証明書 ※出願資格により異なります。	出願資格 ①②④ に該当する方	調査書（出身学校長作成、開封無効） 被災等の事情により提出が困難な方は、卒業証明書および成績証明書を提出してください。 成績証明書も提出困難な場合は、その事由を記した当該学校からの書類を提出してください。 2つ以上の高校に在籍していた場合、前籍校の調査書を同封もしくは、現在籍校にて前籍校での成績及び出席日数等を転記してください。
			出願資格 ③ に該当する方 （右3種）	出身学校の卒業または修了（見込）証明書（日本語または英語） 日本の高等学校に相当する課程を卒業または修了（見込）であること、およびその在籍期間が確認できる証明書を提出してください。
				学業成績証明書（日本語または英語） 日本の高等学校3年間にあたる就学期間と、その期間の成績が記載されているものが必要です。 上記3年間に複数の学校に在学していた場合は、在学した全学校の証明書を提出してください。 飛び級ないし繰り上げ卒業のある方で、上記書類にその事実や理由等の記載がない場合は、そのことを証明する出身学校の書類を添付してください。
				学習歴に関する書類 帰国子女の方＝「志願者身上書」（本学所定） 外国人留学生の方＝「外国人留学生入学志願者調査」（本学所定）
				出願資格 ⑤ に該当する方
			出願資格 ⑥ に該当する方	合格（見込）成績証明書 高等学校で修得した単位による免除科目がある場合は、併せて当該学校の成績証明書を提出してください。英検等、技能審査の合格による免除科目がある場合は、併せて技能審査の合格を証明する書類のコピーを提出してください。
出願資格 ⑦ に該当する方	ディプロマおよび成績証明書			
☐	3	ポートフォリオ	全員	内容は学科により異なります。 *次ページ参照 出願先の学科が指定している内容を確認して提出してください。
☐	4	誓約書	全員	提出作品等は、全て自身が作成したものであることの誓約書 登録完了後に印刷できます。 *「出願手順」参照 印刷後内容を確認し、受験者氏名（本人署名）を必ず記入してください。
☐	5	受験上の配慮事項確認書	合理的配慮を希望される方	事前相談後に本学よりメール送付した確認書に署名し提出してください。 申込・詳細は「お問い合わせ先」を参照してください。
☐	6	在留資格等確認のための書類	日本国籍を有しない方	パスポート・在留カード コピー貼付用紙（本学所定） 必要書類のコピーを貼り付けて提出してください。
☐	7	日本語能力を確認する書類	外国人留学生 （日本の高等学校等 卒業見込の方は不要）	日本留学試験(EJU)の場合＝成績確認書(用紙：A4 サイズ) *成績が発表されていない場合は受験票のコピー(用紙：A4 サイズ) 日本語能力試験(JLPT)の場合＝認定結果及び成績に関する証明書(原本)
☐	8	経費支弁能力を確認する書類	外国人留学生 （「留学」の在留資格 にて入学希望の方）	経費支弁書（本学所定）
☐	9	経費支弁能力を確認する書類	外国人留学生 （「留学」の在留資格 にて入学希望の方）	銀行の残高証明書（日本語または英語） 家計を支えている方（父・母等）が主として使っている銀行のものを提出してください。
☐	10	出席率を確認する書類	外国人留学生 （日本国内の日本語教育 機関等に在籍中の方）	日本国内の日本語教育機関等の出席率証明書（要公印） 出席率が80%未満の場合は、合理的理由（入院など）を明記した証明書を提出してください。

ポートフォリオ

学科	内容
美術学科	A4サイズ of 用紙（片面）5～10枚で、表紙（本学所定）を付けてください（指定枚数に表紙は含まない）。 *ファイルには入れないこと。 *面接に持参する予定の作品や、専攻別試験の志望先試験科目に準ずる作品などの写真を含めること。 注）国際芸術文化専攻出願者は、専攻別試験の志望先試験科目に準ずる作品などの写真に代わるものとして、これまでの活動内容や志望理由を文章で記載してください。
デザイン・工芸学科	A4サイズ of 用紙（片面）3～10枚で、表紙（本学所定）を付けてください（指定枚数に表紙は含まない）。 *ファイルには入れないこと。 *面接に持参する予定の作品や、専攻別試験の志望先試験科目に準ずる作品などの写真を含めること。
アート・デザイン表現学科	A4サイズ of 用紙（片面）10枚程度で、表紙（本学所定）を付けてください（指定枚数に表紙は含まない）。 *ファイルには入れないこと。 *学科内共通試験（鉛筆デッサン）に準ずる作品などの写真を含めること。 注）スペース表現領域、クリエイティブ・プロデュース表現領域の文章表現選択者は、上記に代えて志望理由を400字程度で記載し、加えて学内外でのこれまでの活動について、文章や写真等で紹介する内容を5～10枚で作成してください。
共創デザイン学科	A4サイズ of 用紙（片面）3～10枚で、表紙（本学所定）を付けてください（指定枚数に表紙は含まない）。 *ファイルには入れないこと。 *自分自身の活動を説明できる内容をまとめた資料（デッサンやイラスト、アート作品、写真のほか、部活動、ボランティア活動、留学など自分が経験したことをまとめる）

提出書類に関する注意

- 証明書類は発行後3ヶ月以内の原本を提出してください。ただし、提出書類「2」の証明書類については、卒業後に発行された原本であれば3ヶ月以内でなくても構いません。
- 証明書類が日本語または英語以外の言語で作成されている場合は、証明書の原本に大使館または国で認可された公証役場で公証を受けた翻訳文（日本語または英語）を添付してください。
- 誓約書にて、提出する作品、ポートフォリオおよびそこに含まれる作品、自己アピールシート、論文、資料等について、全て自身が作成したものに相違ないこと等を誓約していただきます。
- 提出書類に虚偽の記載があることが判明した時は、入学許可を取り消すことがあります。
- 提出された書類は原則返却いたしません。

書類送付上の注意

- 提出書類は出願登録時に出力した「封筒貼付用宛名シート」を貼付した任意の角2封筒に入れて、必ず郵便局窓口から簡易書留（速達）で郵送してください。（締切日17：00必着）
- 本学「一般選抜（共通テスト利用Ⅱ方式 第Ⅱ期）」と併願する場合は、1つの封筒にまとめて送付できます。
*下記必ず確認すること
 - ・併願するものも含めて全ての志願票を同封
 - ・「封筒貼付用宛名シート」は1枚を封筒に貼り、他は同封
 - ・同一封筒にまとめて送付する場合に限り、提出書類「2」は1通で可
- 日本国外から提出書類を郵送する場合は、EMS（国際スピード郵便）など、ご自身で配達状況が追跡できるものを利用して、必ず定められた期日までに届くようにしてください。
期日までに届かない場合は失格となります。
- 特別な事情により持参提出を希望する場合は、事前に女子美入試センターまでご相談ください。

書類送付先

〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台1900 女子美入試センター

※アート・デザイン表現学科、共創デザイン学科の試験場とは異なりますので注意してください。



受験

試験場 学科により異なります

■美術学科、デザイン・工芸学科

■アート・デザイン表現学科、共創デザイン学科

[相模原キャンパス](#)（神奈川）

[杉並キャンパス](#)（東京）

配点 【専門試験】+【面接】 計300点

※学科により試験科目の配点が異なります。（下表参照）

	200点	100点
美術学科	専攻別 専門試験	学科内共通 面接
デザイン・工芸学科	専攻別 面接	学科内共通 専門試験
アート・デザイン表現学科	領域別 面接	学科内共通 専門試験
共創デザイン学科	面接	専門試験

※英語資格・検定試験の結果を提出された場合は、面接試験の評価の一部として判定に利用します。

詳しくは「[英語4技能資格・検定試験の結果利用について](#)」をご確認ください。

受験上の注意

- 咳などの症状がある場合、大学構内では常時マスクを着用してください。
- 試験実施の前日はキャンパス内に入ることはできません。
- 試験当日は、A4サイズの用紙に印刷した受験票を必ず持参してください。
- 本要項に記載している内容以外の伝達事項は、主として受験票と当日の配布プリントに記載します。
- 正門の開門時間は**8:30**です。受験票記載の集合時間を厳守してください。
- 大学構内での移動、試験会場への入場・退場は係員の指示に従ってください。
- 専門試験は、試験開始に遅刻しても入場できますが、所定の試験終了時間を超えて受験することはできません。
面接については、試験開始時刻に間に合わなかった場合は失格となります。
- 1科目でも受験しない科目がある場合、また専門試験の選択科目を届け出た科目で受験しなかった場合は失格となります。
- 失格後の受験は一切認めません。
- 洋画専攻・立体アート専攻の専門試験は、イーゼルを使用して行いますが、それ以外の専攻等は机上での試験です。
- 専門試験の用紙、画板、カルトン、イーゼル等は、大学で用意したものを使用してください。
- キャンパス内および周辺には駐車できません。
- 試験当日、学生食堂は利用できません。昼食を持参してください。
- 特別な理由がない限り、付き添いの方の学内への立ち入りはできません。
- 出願後に怪我等の理由で、受験の際に何らかの配慮が緊急に必要となった場合は、速やかに女子美入試センターまで連絡してください。
- 試験場に向かう途中で事故・事件に巻き込まれた場合など、やむを得ない事由により試験場への到着が遅れる場合は、入試当日の緊急連絡先まで連絡してください。

【専攻別 専門試験】 200 点

● 洋画専攻	
科目・時間	静物デッサン 9:30~12:30 (3時間) あらかじめ設置されたモチーフを木炭または鉛筆で自由にデッサンする
持参用具	【木炭デッサン】 木炭、消具、その他必要な用具 【鉛筆デッサン】 鉛筆（硬軟各種）、消具、その他必要な用具 ★B3木炭紙、木炭用下敷き用紙、B3画用紙、フィキサチーフ、カルトン、イーゼルは大学で用意します。
評価基準	・デッサンの基本としての観察による「もの」の把握ができているか ・空間表現・画面構成がバランス良く表現できているか ・描画材料の特質を生かした表現力・描写力があるか

● 日本画専攻	
科目・時間	水彩画 9:30~12:30 (3時間) 個別に与えられたモチーフを自由に構成し水彩画を描く
持参用具	水彩用具一式（透明・不透明は自由 アクリル絵の具も可）、鉛筆、消具 ★F10号水彩用紙、画板は大学で用意します。
評価基準	・水彩画による表現力、描写力があるか ・画面構成、空間表現がバランス良く表現できているか ・モチーフの形態、質感の相違、色彩などを的確に観察し表現できているか

● 立体アート専攻	
科目・時間	鉛筆デッサン 9:30~12:30 (3時間) 個別に与えられたモチーフを自由に配置し、鉛筆デッサンする
持参用具	鉛筆（硬軟各種）、消具、その他必要な用具 ★B3画用紙、下描き用白色紙、カルトン、イーゼルは大学で用意します。
評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・ものをよく観察し素直に表現できているか ・形のバランス、構図、質感、量感をとらえて表現できているか

●美術教育専攻	
科目・時間	鉛筆デッサンまたは学力試験（大学入学共通テストの結果1科目を利用） 【鉛筆デッサン】 9：30～12：30（3時間） 与えられたモチーフを自由に配置し、鉛筆でデッサンする。 【学力試験】 令和9年度大学入学共通テスト結果の中で、最も得点の高い1科目を判定に使用する。 ＊「外国語」は200点、他の科目は200点満点に換算する。 ＊「英語」はリスニングを含め、「国語」は近代以降の文章のみを対象とする。 ＊「地理歴史」「公民」および「理科」の2科目受験者は、第1解答科目の得点を利用する。
持参用具	【鉛筆デッサン】 鉛筆（硬軟各種）、消具、その他必要な用具 ★デッサン用B3ボード（画用紙）は大学で用意します。
評価基準	【鉛筆デッサン】 ・問題の内容を正しく理解しているか ・よく観察し、素直に表現できているか ・形のバランス、構図、質感、量感をとらえて表現できているか 【学力試験】 ・大学入学に必要な学力を有しているか

●国際芸術文化専攻	
科目・時間	小論文または学力試験（大学入学共通テストの結果1科目を利用） 【小論文】 9：30～11：30（2時間） 与えられた課題に関して文章で表現する。 ＊辞書の使用不可 【学力試験】 令和9年度大学入学共通テスト結果の中で、最も得点の高い1科目を判定に使用する。 ＊「外国語」は200点、他の科目は200点満点に換算する。 ＊「英語」はリスニングを含め、「国語」は近代以降の文章のみを対象とする。 ＊「地理歴史」「公民」および「理科」の2科目受験者は、第1解答科目の得点を利用する。
持参用具	【小論文】 筆記具 ★小論文用原稿用紙、下書き用紙は大学で用意します。
評価基準	【小論文】 ・問題の内容を正しく理解しているか ・基礎的な表現技術を持っているか ・論理性を有しているか 【学力試験】 ・大学入学に必要な学力を有しているか

【学科内共通 面接】100点

●全専攻共通	
科目・時間	面接（作品持参） 13：30～ 受験生1～3人程度、1組10分程度
持参作品	・必ず本人が制作した作品であること ・過去の入試問題に準じた作品でなくても良い ・見やすい形式（現物、写真）で持参すること ※国際芸術文化専攻の受験生は、作品の持参は不要です。ただし、第2志望以降の申請をしている場合は作品持参が必要です。
評価基準	・目的意識、創作意欲があるか ・質問に対して自分自身の言葉で表現できているか

■デザイン・工芸学科

【学科内共通 専門試験】100点

●全専攻共通	
科目・時間	鉛筆デッサン 9:30~12:00 (2時間30分) 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に構成し、鉛筆デッサンする
持参用具	鉛筆デッサン用具一式(パネル、カルトン、フィキサチーフ、クロッキー帳、鏡、音の出るものなど 周囲に影響を及ぼすものは使用不可) ★B3ボード(画用紙)、下描き用白色紙1枚は大学で用意します。
評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・ものをよく観察し、理解し、表現できているか ・構図等、バランス良く表現できているか

【専攻別 面接】200点

●ヴィジュアルデザイン専攻	
科目・時間	面接(作品持参) 13:00~ 作品持参によるグループ面接、受験生1~3人程度、1組15~20分程度
持参作品	・必ず本人が制作した作品であること ・過去の入試問題に準じた作品でなくても良い ・見やすい形式(現物、写真)で持参すること
評価基準	・志望理由が明確であるか ・目的意識や学習、創作意欲があるか ・質問を素直に受け止め、自分の意志を自分自身の言葉で表現できているか

●プロダクトデザイン専攻	
科目・時間	面接(作品持参) 13:00~ 作品持参による面接、受験生1~3人程度、1組15~20分程度
持参作品	・必ず本人が制作した作品であること ・過去の入試問題に準じた作品でなくても良い ・見やすい形式(現物、写真)で持参すること
評価基準	・志望理由が明確であるか ・目的意識や学習、創作意欲があるか ・質問を素直に受け止め、自分の意志を自分自身の言葉で表現できているか

●環境デザイン専攻	
科目・時間	面接(作品持参) 13:00~ 作品持参による面接、受験生1~3人程度、1組15~20分程度
持参作品	・必ず本人が制作した作品であること ・過去の入試問題に準じた作品でなくても良い ・見やすい形式(現物、写真)で持参すること
評価基準	・志望理由が明確であるか ・目的意識や学習、創作意欲があるか ・質問を素直に受け止め、自分の意志を自分自身の言葉で表現できているか

●工芸専攻	
科目・時間	面接(作品持参) 13:00~ 作品持参による面接、1人15~20分程度
持参作品	・必ず本人が制作した作品であること ・過去の入試問題に準じた作品でなくても良い ・見やすい形式(現物、写真)で持参すること
評価基準	・志望理由が明確であるか ・目的意識や学習、創作意欲があるか ・質問を素直に受け止め、自分の意志を自分自身の言葉で表現できているか

■アート・デザイン表現学科

【学科内共通 専門試験】100 点

●全領域共通	
科目・時間	鉛筆デッサンまたは文章表現 【鉛筆デッサン】 9:30～12:00 (2時間30分) 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置、構成して、鉛筆デッサンする 【文章表現】 9:30～11:30 (2時間) (スペース表現領域、クリエイティブ・プロデュース表現領域のみ選択可) 与えられたモチーフから連想することを文章で表現する
持参用具	【鉛筆デッサン】 鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具(パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可) ★B3ボード(シリウス紙)、下書き用白色紙1枚は大学で用意します。 【文章表現】 筆記用具 ★原稿用紙、下書き用白色紙1枚は大学で用意します。
評価基準	【鉛筆デッサン】 ・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成等、バランス良く表現できているか 【文章表現】 ・伝えようとしている考えや思いが、読み手に興味をもって読まれるように表現されているか

【領域別 面接】200 点

●メディア表現領域	
科目・時間	面接(作品持参) 13:00～ 作品持参によるグループ面接、受験生1～3人程度、1組15～20分程度
持参作品	本人が制作した作品1点(デッサン以外)
評価基準	・目的意識、創作意欲があるか ・質問に対して自分自身の言葉で表現できているか

●ヒーリング表現領域	
科目・時間	面接 13:00～ 1人10分程度
持参作品	なし
評価基準	・目的意識、創作意欲があるか ・質問に対して自分自身の言葉で表現できているか

●ファッション表現領域	
科目・時間	面接 13:00～ 1人10分程度
持参作品	なし
評価基準	・目的意識、創作意欲があるか ・質問に対して自分自身の言葉で表現できているか

●スペース表現領域	
科目・時間	面接 13:00～ 1人10分程度
持参作品	なし
評価基準	・目的意識、創作意欲があるか ・質問に対して自分自身の言葉で表現できているか

●クリエイティブ・プロデュース表現領域	
科目・時間	面接 13:00～ 1人10分程度
持参作品	なし
評価基準	・目的意識、創作意欲があるか ・質問に対して自分自身の言葉で表現できているか

■ 共創デザイン学科

【専門試験】 100 点

科目・時間	伝達表現 10:00～12:00 (2時間) 与えられた環境課題に対し、所定用紙にその解決アイデアを可視化する ＊可視化の方法は、図、イラスト、キーワード（簡単な単語）、文章など自由。
持参用具	筆記用具（カラーペン、色鉛筆などの使用も可とし、色数は自由とする） ★所定用紙（A3サイズ）は大学で用意します。
評価基準	・ 出題内容の主旨を理解し、複数の事柄を抽出し、分類ができているか ・ 自分なりの表現手法で、わかりやすく伝えることができているか ・ 自分なりのアイデアを文章で表現できているか

【面接】 200 点

科目・時間	面接 13:00～ 1人10分程度
持参作品	なし
評価基準	・ 志望理由が明確であるか ・ 質問の意図を理解し、自分の意志を自分自身の言葉で表現できているか ・ 共創デザイン学科の学びに意欲的か

受験番号	※記入しないこと
------	----------

ポートフォリオ（表紙）

＊ホチキスなどで固定せず、左上部をゼムクリップで留めて提出してください。

フリガナ	
氏 名	



合格発表

- 発表日時は「入学者選抜日程」で確認してください。
- 発表時間は状況により遅れる場合があります。
- 合格者全員に合格通知と入学書類一式を郵送します。不合格通知は発送しません。
- 日本国外への郵送は、定められた期日までに海外住所入力フォームへの入力が必要です。
- 合格発表時間より、インターネットによる「合否案内」システムでの簡易発表を行います。
- 合否について本学へ直接の電話によるお問い合わせには、お答えできません。
- 学内の掲示発表は行いません。
- 合格者で、入学書類が発表日の翌々日を過ぎても到着しない場合はお問い合わせください。
(ただし、それ以外のお問い合わせにはお答えできません。) ☎03-5340-4501

【注意】

総合型選抜および学校推薦型選抜の合格者は、他の選抜制度への出願はできません。

【補欠者について】※一般選抜（A日程）、一般選抜（共通テスト利用Ⅰ方式）、一般選抜（共通テスト利用Ⅱ方式 第Ⅰ期）のみ補欠者の発表がある場合は、該当者に順位を明記した「補欠通知」を郵送します。その他の発表方法で補欠順位は発表しません。

補欠者は、入学手続き締切後に欠員が生じた場合、発表した順位に従って繰上げ合格となります。繰上げ合格となった場合は、出願時に登録された連絡先に、随時電話またはメールにて連絡します。

発表以降連絡先が変更になった場合は、確実に連絡の取れる電話番号を補欠通知書に記載している補欠連絡係までご連絡ください。

欠員がない場合は連絡しません。

「合否案内」システムについて

「合否案内」は正式な合格通知の補助的な手段として、インターネット（パソコン・スマートフォン）で合否結果を確認できるサービスです。下記URLへアクセスしてください。

<https://www.gouhi.com/joshihi/>



（利用時間）

発表時間から翌日 24：00 まで

（利用上の注意）

- ・「合否案内」は合否確認の補助的な手段です。正式には本学からの合格通知をご確認ください。
- ・インターネットに接続したパソコンおよびスマートフォンから利用することができます。
ただし、パソコンのブラウザ、スマートフォンの機種によっては、表示できない場合があります。
- ・上記利用時間以外は利用できません。
合格発表日や利用方法をあらかじめ確認の上、ご利用ください。
- ・利用の際は、受験番号・生年月日が必要です。
- ・発表直後はつながりにくい場合があります。
つながらない場合は、しばらくしてから再度アクセスしてください。

入学手続

締切日までに所定の書類を提出し、入学手続時納入金（下表①）を指定銀行口座にお振込みください。
この手続きが完了した後に入学者選抜日程で確認してください。

*入学手続書類は合格通知に同封します。

*参考として前年度の学費を記載しますが、2027年度については若干の変更がある場合がありますので、合格通知に同封する「入学手続の手引き」で再度ご確認ください。

学費 初年度納入金（前年度参考）

（単位：円）

学科	専攻・領域	入学金	前期授業料・施設設備料等	①入学手続時納入金 (入学金+前期授業料等)	②後期授業料等 納入金	初年度納入金 (①+②)
美術学科	洋画	220,000	883,160	1,103,160	873,000	1,976,160
	日本画		876,660	1,096,660	866,500	1,963,160
	立体アート		884,760	1,104,760	874,600	1,979,360
	美術教育		871,160	1,091,160	861,000	1,952,160
	国際芸術文化		868,260	1,088,260	858,100	1,946,360
デザイン・工芸学科	ヴィジュアルデザイン	220,000	874,160	1,094,160	864,000	1,958,160
	プロダクトデザイン		878,160	1,098,160	868,000	1,966,160
	環境デザイン		876,160	1,096,160	866,000	1,962,160
	工芸		883,160	1,103,160	873,000	1,976,160
アート・デザイン表現学科 (全領域共通)		220,000	888,260	1,108,260	868,100	1,976,360
共創デザイン学科		220,000	884,160	1,104,160	864,000	1,968,160

※個人用の情報機器（アート・デザイン表現学科はノートPC、共創デザイン学科はiPad）代を4年間に分けてお支払いいただきます。初年度徴収する10,000円をそれぞれ含めて表記しています。なお、2～4年生で毎年度徴収する額は、アート・デザイン表現学科は49,000円、共創デザイン学科は33,000円です。

※後期納入金の納入期日は、入学年度の10月5日となります。

※次年度以降の学費については、社会経済情勢等に応じて改定されることがあります。

納入金の振替

学費を納入後、併願先の女子美術大学の他専攻等もしくは女子美術大学短期大学部に合格し、入学先を変更する際は、納入金の振替が可能です。

入学辞退

入学を許可された方が入学を辞退する場合は、下記期限までに「入学辞退届」を提出し、本学がこれを受理した場合に限り、入学金を除く他の納入金を返還します。

※学校推薦型選抜等、本学を第1志望として入学を希望することを条件とする選抜制度で合格した方は、原則入学辞退はできません。

入学辞退届提出期限 2027年3月31日（水） 17:10 必着

個人成績の開示

※一般選抜（A日程）、一般選抜（共通テスト利用I方式）のみ

不合格者で、開示を希望する本人に限り、成績を開示します。

*1科目でも受験していない科目があり、失格となった場合は開示できません。

*採点内容についての問い合わせにはお答えできません。

申込方法

住所、氏名、生年月日（西暦）を任意の用紙に明記の上、受験票と返信用封筒（定形長3）を同封して、下記住所宛に郵送にてお申し込みください。

*返信用封筒には、宛先（本人の住所・氏名）を記入し、110円切手を貼付してください。

〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台1900 女子美入試センター 成績開示係

受付期間

2027年4月8日（木）～ 4月22日（木）必着

送付予定

2027年5月7日（金）以降



その他

宿泊 本学では入試の際の宿泊施設等のご案内・受付は行っておりませんので、宿泊を必要とする方は、各自でご手配ください。

入学試験での作品について 入学試験での専門試験作品の所有権、著作権は、学校法人女子美術大学に帰属します。専門試験作品の返却はいたしません。なお合格者の作品は、本学の入試参考作品として公開することがあります。

入学後の住まい 遠方より入学され自宅通学が困難な方に対し、安心して学ぶことのできる居住空間の提供と経済的な負担軽減を目的として住まいのケアを行っております。申込手続等詳細については、入学手続書類に同封します。

個人情報保護について 「学校法人女子美術大学個人情報保護に関する基本方針」に基づき、資料請求および出願書類等への記入においてお知らせいただいた皆様の氏名、住所、電話番号、学校名、学年その他個人を特定できる情報（個人情報）については、適切に取り扱います。なお、ご提出いただいた個人情報は入学試験選考、可否の連絡、入学手続、統計・調査、およびこれらに付随する業務のために利用いたします。※本学における個人情報の保護に関する基本方針は本学WEBサイトにおいてご確認くださいこともできます。

寄付金等の募集について 本学では、寄付金等の募集については、入学前には一切行っておりません。従いまして、寄付金等の納入を条件とした入学許可は行っておりません。ご寄付は任意であり、本学の教育環境の充実等に向けた募金の趣旨にご賛同いただいた方にご協力を賜ることにしております。入学後にあらためてご依頼いたしますので、ご理解・ご協力のほどお願い申し上げます。

「ニケの会」
(在学生の父母等の会) 「女子美術大学 ニケの会」は、学生の父母等が中心となり、大学と協力して、学生生活の向上と大学の発展に寄与し、あわせて会員相互の親睦と教養を深めることを目的に活動しています。

授業料減免制度 高等教育の修学支援新制度による授業料等減免、大規模自然災害被災学生授業料等減免があります。

奨学金制度 奨学金制度には大きく分けて学内奨学金と学外奨学金の2種類があります。

1. 学内奨学金

本学では学生の学業継続を援助し、優秀な人材の育成に資するため、各種給付型奨学金により経済支援を行っています。

2. 学外奨学金

日本学生支援機構奨学金（給付型、貸与型）、地方公共団体、各種団体によるものがあります。日本学生支援機構奨学金は大学に入学してから申し込みできますが、あらかじめ高等学校3年次に申し込み、大学入学後奨学金が給付、貸与される「予約採用」制度もあります。「予約採用」を希望する場合は、在学中の高等学校にお問い合わせください。

※本学は高等教育の修学支援新制度（授業料等減免、給付型奨学金）の対象機関として認定されています。

提携教育ローン 奨学金制度のほかに、本学学生（入学予定者を含む）を対象とした金融機関提携の「女子美提携教育ローン制度」があり、市中金融機関の教育ローンより低金利となっています。

国の教育ローン 日本政策金融公庫が行っている公的融資制度です。

※奨学金・教育ローン等詳細については、本学WEBサイトに掲載の「[奨学金制度](#)」をご覧ください。



お問い合わせ先

■ 入学試験全般・募集要項について

女子美入試センター

TEL : 042-778-6123

本学 WEB サイト「入試に関するよくある質問項目」もご参照ください。

<https://www.joshibi.ac.jp/admission/faq>

■ 出願サイトの操作方法について

「学び・教育」出願・申込サービス サポートセンター

TEL : 0120-202079 (日本国内のみ 24 時間対応)

<https://e-apply.jp/ds/joshibi/public/inquiry>



■ 合理的配慮の申請について

受験時や入学後の修学における合理的配慮を希望する方は、本学 WEB サイトの案内を確認し、web フォームから申請してください。

希望者は、あらかじめオープンキャンパスや進学説明会を利用して、本学の授業形態やキャンパスの施設・設備等をご確認いただき、具体的な配慮内容について事前相談が必要です。

また、事前相談の内容により配慮の上で参考となる資料を別途添えていただく場合があります。申請が無かった場合、受験および入学後の修学において対応ができないことがありますので、あらかじめご了承ください。

事前相談についてはフォーム申請後、女子美入試センターよりご案内します。

<https://www.joshibi.ac.jp/admission/entrance-examination>



なお、この申請および事前相談は、障がい等のある入学志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験および修学にあたってより良い方法を相談するものであって、合否判定とは一切関係ありません。

※申請後 1 週間以内に連絡がない場合は、女子美入試センターにお問い合わせください。

なお、長期休業期間中は事務取扱をいたしませんので、ご注意ください。

■ 入試当日の緊急連絡先

TEL:03-5340-4500 (代表)